

関東信越厚生局長 殿

開設者名 学校法人 順 天  
理事長 小川 秀男

順天堂大学医学部附属順天堂医院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	92.5 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	481人	96.5人	577.5人	看護補助者	12人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	3人	2.5人	5.5人	理学療法士	21人	臨床検査技師	79人
薬 剤 師	82人	0.0人	82.0人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0.0人	0.0人	視能訓練士	11人	その他	0人
助 産 師	35人	0.0人	35.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	1,067人	0.0人	1,067.0人	臨床工学技士	23人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	0人	0.0人	0.0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	16人
歯科衛生士	3人	0.0人	0.0人	歯 科 技 工 士	0人	事 務 職 員	182人
管理栄養士	13人	0.0人	13.0人	診療放射線技師	47人	そ の 他 の 職 員	39人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	935人	0人	935人
1日当たり平均外来患者数	3,876人	42人	3,918人
1日当たり平均調剤数	6,559剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。





(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	153人	・膿疱性乾癬	5人
・多発性硬化症	232人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	188人	・原発性胆汁性肝硬変	58人
・全身性エリテマトーデス	1,088人	・重症急性膵炎	0人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	64人
・再生不良性貧血	40人	・混合性結合組織病	189人
・サルコイドーシス	183人	・原発性免疫不全症候群	12人
・筋萎縮性側索硬化症	24人	・特発性間質性肺炎	19人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	467人	・網膜色素変性症	152人
・特発性血小板減少性紫斑病	110人	・プリオン病	4人
・結節性動脈周囲炎	55人	・肺動脈性肺高血圧症	7人
・潰瘍性大腸炎	345人	・神経線維腫症	17人
・大動脈炎症候群	57人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	21人	・バッド・キアリ (Budd-Chiari) 症候群	2人
・天疱瘡	53人	・慢性血栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	70人	・ライソゾーム病	6人
・クローン病	93人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	79人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	1,166人	・球脊髄性筋萎縮症	6人
・アミロイドーシス	7人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	28人
・後縦靭帯骨化症	41人	・肥大型心筋症	9人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	32人	・ミトコンドリア病	6人
・ウェグナー肉芽腫症	25人	・リンパ管筋腫症(LAM)	110人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	44人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	57人	・黄色靭帯骨化症	3人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	20人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	93人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・眼底三次元画像解析	・
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	・
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に3~4回程度 1ヶ月に13~15回程度 開催
部 検 の 状 況	部検症例数 56例 / 部検率 10.0 %

## 1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
					補助	委託元
1	オートファジー破綻におけるシナプス機能不全のメカニズム	服部 信孝	神経学講座	5,850,000	補助	文部科学省
2	ATRAによるAPL細胞の分化誘導の分子メカニズム	小松 則夫	血液学講座	1,950,000	補助	文部科学省
3	オートファジーを焦点とした消化器難治性疾患の病態解明および治療開発	渡辺 純夫	消化器内科学講座	2,600,000	補助	文部科学省
4	パーキンソン病遺伝子改変モデルの解析及びモデル作成	服部 信孝	神経学講座	5,200,000	補助	文部科学省
5	アデニンレセプターを標的とした好中球機能の調節と急性肺障害に対する治療法の開発	井上 貴昭	救急・災害医学	3,510,000	補助	文部科学省
6	パールカンに着目した筋肥大を制御するメカニカルシグナル受容機構の研究	平澤 恵理	院・老研センター	5,590,000	補助	文部科学省
7	膵β細胞オートファジーの生理的基質の解明	綿田 裕孝	代謝内分泌学講座	6,760,000	補助	文部科学省
8	子宮体癌幹細胞を標的にした新規治療法の開発	加藤 聖子	院・産婦人科学	5,070,000	補助	文部科学省
9	「細胞内肥満仮説」の検証とその臨床応用	田村 好史	代謝内分泌学講座	11,050,000	補助	文部科学省
10	新規A2A受容体阻害薬による新たなオートファジー調節機構の解明とPD治療への応用	斉木 臣二	神経学講座	8,320,000	補助	文部科学省
11	新規血管炎症性マーカーPTX3の意義	井上 健司	循環器内科学講座(棟馬)	650,000	補助	文部科学省
12	慢性腎臓病における運動療法評価マーカー作製への試み	谷本 光生	腎臓内科学講座	650,000	補助	文部科学省
13	原発性胆汁性肝硬変の原因微生物とそのエピトープの特定	菊池 賢	細菌学(微生物学・感染制御科学室)	1,300,000	補助	文部科学省
14	自然免疫機構による肝臓の代謝機能モデュレーションと脂肪性肝炎の病態形成機序	池嶋 健一	消化器内科学講座	910,000	補助	文部科学省
15	運動療法の冠動脈粥腫に与える影響に関する研究	代田 浩之	循環器内科学講座	1,040,000	補助	文部科学省
16	CD44を標的とした中皮腫抗がん剤耐性機構の解明と治療戦略	高橋 和久	呼吸器内科学講座	1,300,000	補助	文部科学省
17	2型糖尿病モデルマウスを用いた糖尿病性腎症疾患感受性遺伝子座の同定	富野 康日己	腎臓内科学講座	1,300,000	補助	文部科学省
18	IgA腎症における責任細胞の臓器選択的移動に関わる制御機構の解明	堀越 哲	腎臓内科学講座	1,430,000	補助	文部科学省
19	常染色体優性遺伝性パーキンソン病における新規原因遺伝子単離に向けた遺伝子解析	富山 弘幸	神経学講座	1,040,000	補助	文部科学省
20	アルツハイマー病の発症、経過における閉塞型睡眠時無呼吸症候群の関与	塩田 智美	呼吸器内科学講座	650,000	補助	文部科学省
21	NK細胞リンパ腫におけるeIF4E高発現とアスパラギナーゼによる抑制機序の検討	杉本 耕一	血液学講座	1,170,000	補助	文部科学省
22	CXCR4に関連するCML前駆細胞の骨髄遊走、定着機構の解明とその治療的応用	田部 陽子	臨床検査医学講座	650,000	補助	文部科学省
23	ユビキチン-プロテアソーム系の自己抗体産生における意義の検討	高崎 芳成	膠原病内科学講座	780,000	補助	文部科学省
24	SLEにおける性染色体に発現するToll様受容体を介した免疫異常	天野 浩文	膠原病内科学講座	1,300,000	補助	文部科学省
25	未消化食物由来ペプチドによる食物アレルギーおよび炎症性腸疾患発症に関する検討	大塚 宜一	小児科学講座	1,300,000	補助	文部科学省
26	リン酸化H2AXを用いたヒト癌放射線感受性予測法の開発	笹井 啓資	放射線医学講座	1,820,000	補助	文部科学省

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
27	海馬神経細胞新生を促し生着させる遺伝子導入の効果	菅野 秀宣	脳神経外科学講座	1,170,000	補助 文部科学省
28	脳内神経ネットワークからみた吸入麻酔薬の情報伝達と作用機序に関する研究	西村 欣也	麻酔・ペインクリニック	1,040,000	補助 文部科学省
29	中耳真珠腫における骨破壊に関わる促進因子と抑制因子の研究	楠 威志	耳鼻咽喉科学講座	1,430,000	補助 文部科学省
30	ステロイド線内障発症におけるエピジェネティック因子の解析	松田 彰	眼科学講座	650,000	補助 文部科学省
31	短期的電気刺激による神経再生の促進と神経端側縫合への応用について	林 礼人	形成外科学講座	650,000	補助 文部科学省
32	パーキンソン病に対するリハビリテーションの効果を明らかにする	羽鳥 浩三	リハビリテーション医学	1,430,000	補助 文部科学省
33	骨格筋における「脂質耐性」のメカニズム解明に関する検討	金澤 昭雄	代謝内分泌学講座	1,690,000	補助 文部科学省
34	アポBリッチHDL亜分画の変動とHDLホモジニアス法の反応性との関係について	平山 哲	臨床検査医学講座	1,040,000	補助 文部科学省
35	甲状腺乳頭癌の予後予測因子の検討	清水 友章	代謝内分泌学講座	1,300,000	補助 文部科学省
36	ゲノム解析による円形脱毛症患者感受性遺伝子同定の試み	池田 志幸	皮膚科学講座	1,690,000	補助 文部科学省
37	特発性正常圧水頭症における白質障害:拡散テンソル、QSIを用いたMRI拡散解析	青木 茂樹	放射線医学講座	1,690,000	補助 文部科学省
38	子宮体癌細胞の転移能獲得機構の解明	寺尾 泰久	産婦人科学講座	910,000	補助 文部科学省
39	新規抑制レセプターSIGLEC-2および-6による扁桃炎の分子メカニズムの解明	横井 尚子	耳鼻咽喉科学講座	1,300,000	補助 文部科学省
40	Lymphatic chemotherapyによるリンパ節転移制御法の開発	横山 純吉	耳鼻咽喉科学講座	1,430,000	補助 文部科学省
41	新規T細胞特異的サイトカインIL-17による慢性扁桃炎発症の分子メカニズム	一針 幸子	耳鼻咽喉科学講座	1,430,000	補助 文部科学省
42	遺伝子多型が麻薬性鎮痛薬の鎮痛効果と副作用に及ぼす影響に関する臨床的研究	林田 眞和	麻酔・ペインクリニック	1,820,000	補助 文部科学省
43	骨格筋の炎症制御による新規抗動脈硬化運動プログラムの開発	島田 和典	院・循環器内科学	2,470,000	補助 文部科学省
44	非肥満の耐糖能障害における病態生理の解明	佐藤 文彦	代謝内分泌学講座	2,080,000	補助 文部科学省
45	若年性糖尿病患者における認知機能障害の発症・進展の原因解明	大村 千恵	代謝内分泌学講座	2,080,000	補助 文部科学省
46	炎症により影響を受けない栄養アセスメントのための脂質関連検査の検索	三井田 孝	臨床検査医学講座	2,340,000	補助 文部科学省
47	生体内オートファジー機能評価のための新規バイオマーカー開発	山科 俊平	消化器内科学講座	2,470,000	補助 文部科学省
48	分子生物学的手法を用いた大腸腫瘍内視鏡的切開剥離術の安全性の検討	長田 太郎	消化器内科学講座	2,340,000	補助 文部科学省
49	我が国における冠動脈疾患の治療戦略の確立	宮内 克己	循環器内科学講座	1,170,000	補助 文部科学省
50	非小細胞肺癌の病態における癌関連肺線維芽細胞の役割	十合 晋作	呼吸器内科学講座	2,860,000	補助 文部科学省
51	ポドサイトにターゲットを絞った腎障害メカニズムの解明と新規治療薬の開発	浅沼 克彦	腎臓内科学講座	2,210,000	補助 文部科学省
52	自家脂肪幹細胞を用いた傷害腹膜の修復治療の確立	濱田 千江子	腎臓内科学講座	2,600,000	補助 文部科学省



## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
53	脾島の炎症におけるメチル化酵素Set7/9の役割	荻原 健	代謝内分泌学講座	2,340,000	補助 文部科学省
54	PP2A-FOXO3Aの活性化を利用したATRA耐性APLの新規治療戦略の開発	小松 則夫	血液学講座	2,860,000	補助 文部科学省
55	サーカディアンリズムによる造血制御システムの解明	高久 智生	血液学講座	2,990,000	補助 文部科学省
56	補体制御因子の糖化より検討した被嚥性腹膜硬化症の病態解明と治療戦略	大澤 勲	腎臓内科学講座	2,730,000	補助 文部科学省
57	自然免疫および自己免疫の解析による小児の急性脳症の病態解明	奥村 彰久	小児科学講座	1,950,000	補助 文部科学省
58	短鎖脂肪酸とその受容体発現からみた低出生体重児におけるプロバイオティクスの有用性	清水 俊明	小児科学講座	2,470,000	補助 文部科学省
59	BTG2発現低下による乳癌悪性化および上皮間葉転換・幹細胞増加のメカニズムの検討	高橋 史行	循環器内科学講座	1,950,000	補助 文部科学省
60	てんかん原生を獲得する神経細胞を、活動を減弱させ細胞死へ誘導することができるか?	中島 円	脳神経外科学講座	2,210,000	補助 文部科学省
61	老化に伴う髄液のクリアランス低下により惹起される認知機能障害の病態解明と治療	宮嶋 雅一	脳神経外科学講座	2,860,000	補助 文部科学省
62	絨毛細胞障害のCD44細胞内シグナル伝達系を介した修復制御機構の検討	杉村 基	産婦人科学講座	2,860,000	補助 文部科学省
63	再生医療への応用を指向したほ乳類内耳発生におけるリン酸化シグナルの機能解析	村田 潤子	耳鼻咽喉科学講座	1,950,000	補助 文部科学省
64	細菌性中耳炎におけるJNKによる中耳粘膜肥厚の分子制御とその治療	古川 正幸	耳鼻咽喉科学講座	2,210,000	補助 文部科学省
65	脂肪組織由来幹細胞の有する創傷治癒促進と瘢痕減弱効果の機序解析	水野 博司	形成外科学講座	1,950,000	補助 文部科学省
66	リンパ脈管筋腫症(LAM)幹細胞の培養とLAMモデルマウス作成への応用	瀬山 邦明	呼吸器内科学講座	1,040,000	補助 文部科学省
67	子宮内膜症発生・発癌機構へのゲノム多様性の関与	加藤 聖子	院・産婦人科学	1,170,000	補助 文部科学省
68	アトピー性眼合併症におけるIFNG-PAI-1シグナル	村上 晶	眼科学講座	1,690,000	補助 文部科学省
69	有害異常血管閉塞用コラーゲンコイルの開発	稀代 雅彦	小児科学講座	1,300,000	補助 文部科学省
70	非妊娠時におけるセロトニンを介した膵β細胞増殖制御の可能性の探索	綿田 裕孝	代謝内分泌学講座	1,820,000	補助 文部科学省
71	難聴遺伝子変異マウスへの効率的iPS細胞導入法の開発	池田 勝久	耳鼻咽喉科学講座	1,950,000	補助 文部科学省
72	単球-マクロファージのインスリン抵抗性と動脈硬化	三田 智也	代謝内分泌学講座	1,170,000	補助 文部科学省
73	統合失調症の前駆状態、発症早期における脳の構造変化: MRI撮像の最適化	堀 正明	放射線医学講座	910,000	補助 文部科学省
74	老人性骨粗鬆症モデルマウスの作製と解析	斎田 良知	整形外科科学講座	1,170,000	補助 文部科学省
75	変形性関節疾患におけるWnt/beta-カテニンシグナルの機能解析	湯浅 崇仁	整形外科科学講座	1,430,000	補助 文部科学省
76	オピオイドおよび吸入麻酔薬が神経情報伝達制御に与える影響と作用機序に関する研究	工藤 治	麻酔・ペインクリニック	1,170,000	補助 文部科学省
77	便秘禁ゼロへの挑戦:古典的洗腸を用いた排便コントロール	宮野 剛	小児外科学講座	520,000	補助 文部科学省
78	NASH病態における炎症性マクロファージ/クッパー細胞と制御性T細胞の関与の解明	横川 順子	消化器内科学講座	1,300,000	補助 文部科学省

## 1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
79	喘息に特異的な肺泡マクロファージのポピュレーションにおける補助シグナル分子の役割	原田 紀宏	呼吸器内科学講座	1,170,000	補助 文部科学省
80	IgA腎症における免疫複合体形成機序の解明と新規治療法の開発	鈴木 仁	腎臓内科学講座	1,430,000	補助 文部科学省
81	近位尿管L型脂肪結合蛋白を介した腎内RASの調節機構並びに関連病態の解析	谷藤 千暁	腎臓内科学講座	1,820,000	補助 文部科学省
82	IgA腎症における捕体、特にMBLの関与の検討	田中 裕一	腎臓内科学講座	1,430,000	補助 文部科学省
83	パーキン遺伝子異常による病態と放出機構の関係の検討	江口 博人	神経学講座	1,560,000	補助 文部科学省
84	膵ベータ細胞の増殖機転におけるGabファミリーの役割	中山 志保	代謝内分泌学講座	1,820,000	補助 文部科学省
85	炎症性腸疾患の病態におけるガレクチンの免疫調節機能とその治療戦略	工藤 孝広	小児科学講座	1,300,000	補助 文部科学省
86	SGA児の高次脳機能発達の特徴とsomatotropin投与による影響の検討	田中 恭子	小児科学講座	650,000	補助 文部科学省
87	胎児期の低栄養が早産児の消化管機能に及ぼす影響の検討	東海林 宏道	小児科学講座	1,430,000	補助 文部科学省
88	慢性疼痛(線維筋痛症)における脳機能画像および睡眠に関する研究	臼井 千恵	精神医学講座	1,820,000	補助 文部科学省
89	タンパク質発現解析に基づいた骨軟部腫瘍バイオマーカーの大規模検証及び機能解析	末原 義之	整形外科科学講座	1,170,000	補助 文部科学省
90	ALDH1活性を指標にした子宮内膜・子宮体癌細胞の解析	須賀 新	産婦人科学講座	1,430,000	補助 文部科学省
91	ステロイドをファーマコゲノミクスマーカーとした好酸球性副鼻腔炎での標的分子の探索	川野 健二	耳鼻咽喉科学講座	1,430,000	補助 文部科学省
92	顔面神経不全麻痺の神経再生ネットワークに関する研究	吉澤 秀和	形成外科学講座	650,000	補助 文部科学省
93	DJ-1の膜輸送への役割に関する研究	波田野 琢	神経学講座	2,340,000	補助 文部科学省
94	新素材のハイドロゲルを用いた心筋梗塞に対する心筋幹細胞治療	松下 訓	心臓血管外科学講座	2,080,000	補助 文部科学省
95	換気チューブを利用した鼓膜直接加振型補聴器の開発	小宮 尚	耳鼻咽喉科学講座	2,600,000	補助 文部科学省
96	脂肪性肝炎の病態形成におけるリピドラフトの役割の解明	内山 明	消化器内科学講座	2,470,000	補助 文部科学省
97	骨髄由来細胞動員による動脈硬化進展と組織再生機構の解明	佐藤 弥生	循環器内科学講座	2,080,000	補助 文部科学省
98	慢性閉塞性肺疾患の病態におけるマイクロRNAの役割の解明と治療への応用	佐藤 匡	呼吸器内科学講座	1,820,000	補助 文部科学省
99	ポドサイト障害とオートファジーからみた糸球体硬化のメカニズムの解明	浅沼 悦子	腎臓内科学講座	1,820,000	補助 文部科学省
100	足細胞におけるポドシンのエンドサイトーシスを誘導する蛋白質と阻害物質の解明	日高 輝夫	腎臓内科学講座	2,080,000	補助 文部科学省
101	膵β細胞におけるオートファジー標的分子の同定・解析	内田 豊義	代謝内分泌学講座	2,470,000	補助 文部科学省
102	早産児に対する最適かつ効果的なプロバイオティクス投与方法の確立	久田 研	小児科学講座	1,690,000	補助 文部科学省
103	高齢者手術における術後せん妄発生と炎症の関連について	原 厚子	麻酔・ペインクリニック	1,560,000	補助 文部科学省
104	各種プロテアーゼ活性による炎症性腸疾患の病態制御機構の解明	小見山 博光	消外(下部消化管外科)	2,470,000	補助 文部科学省

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
105	頭頸部扁平上皮癌の多段階発癌におけるNiban遺伝子の発現	伊藤 伸	耳鼻咽喉科学講座	2,600,000	補助	文部科学省
106	角膜移植後における内皮細胞死とミトコンドリアの動態	舟木 俊成	眼科学講座	2,600,000	補助	文部科学省
107	新しいヒルシユスブルグ病モデルマウスを用いた基礎研究:神経細胞移植を目指して	田中 奈々	小児外科学講座	1,950,000	補助	文部科学省
108	皮弁、植皮術における知覚再生メカニズム及びタクロリムス外用の新たな可能性について	名取 悠平	形成外科学講座	3,380,000	補助	文部科学省

計 108 件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
1	Journal of Minimal Access Surgery 7: 109-111, 2011	Our ideas for introduction of single-port surgery	Kojima Y	消化器外科学講座 下部消化管外科学
2	Progress of Digestive Endoscopy 78:132-133, 2011	A case of tubular adenoma of the vermiform appendix resected by Single Incision Laparoscopic Surgery	Kamiyama H	消化器外科学講座 下部消化管外科学
3	Pathology & Oncology Research. 17:835-841, 2011	Entire-volume Serial Histological Examination for Detection of Micrometastases in Lymph Nodes of	Hata M	消化器外科学講座 下部消化管外科学
4	Endoscopy 43 Suppl 2:E250-1, 2011. Epub 2011 Aug 11	Colorectal endoscopic submucosal dissection by using latex-band traction	Tomiki Y	消化器外科学講座 下部消化管外科学
5	日本消化器外科学会雑誌 44:890-897, 2011	化学療法後の癒痕狭窄に手術を施行し寛解状態と診断した回腸濾胞性リンパ腫の1例	秦 政輝	消化器外科学講座 下部消化管外科学
6	日本腹部救急医学会雑誌31:19-27, 2011	大腸穿孔症例の予後および術後在院期間に関する予測因子の検討	杉本起一	消化器外科学講座 下部消化管外科学
7	外科 73 : 643-647, 2011	小腸内視鏡で確認し腹腔鏡補助下に切除した小腸 gastrointestinal stromal tumorの1例	田代良彦	消化器外科学講座 下部消化管外科学
8	手術73:72-75, 2011	単孔式腹腔鏡下手術を用いた人工肛門造設術	坂本一博	消化器外科学講座 下部消化管外科学
9	日本腹部救急医学会雑誌 31: 1097-1099, 2011	鼠径ヘルニア術後に絞扼性イレウスを発生した1例	岡澤 裕	消化器外科学講座 下部消化管外科学
10	日本臨床外科学会雑誌. 72: 2318-2323, 2011	特発性大腸穿孔を短期間に2回発症したSLEの1例	秦 政輝	消化器外科学講座 下部消化管外科学
11	日本消化器外科学会雑誌. 44: 944-954, 2011	同時性肝転移を有する大腸癌原発巣切除時における術後短期成績に関する検討	杉本 起一	消化器外科学講座 下部消化管外科学
12	日本腹部救急医学会雑誌. 31:807-810,2011	胆道閉鎖症手術の逆流防止弁が原因と考えられた小腸捻転症の1例	小野 誠吾	消化器外科学講座 下部消化管外科学
13	日本外科系連合学会誌. 36: 818-822, 2011	虫垂炎術後に診断された虫垂杯細胞カルチノイドの1例	永易希一	消化器外科学講座 下部消化管外科学
14	Hepatology 2011 Oct;54(4):1273-81.	Oxidative stress pathways in non-cancerous liver tissue to predict recurrence after curative hepatectomy for hepatocellular carcinoma: a prospective multi-center	Tanaka S	肝胆膵外科学講座
15	Liver Transpl.2011 Sep 19.	Left lobe adult-to-adult living donor liver transplantation:Should portal inflow modulation be added?	Ishizaki Y	肝胆膵外科学講座
16	European Journal of Radiology 80:310-315	Detection of hepatocellular carcinoma by Gd-EOB-DTPA-enhanced liver MRI: Comparison with triple phase 64 detector row helical CT	Akai H	肝胆膵外科学講座
17	European Journal of Radiology 77:325-329	MR imaging of the biliary tract with Gd-EOB-DTPA: Effect of liver function on signal intensity	Takao H	肝胆膵外科学講座
18	Journal of Gastrointestinal Surgery 15:1594-1601	Convergence process of volumetric liver regeneration after living-donor hepatectomy	Aoki T	肝胆膵外科学講座
19	World Journal of Surgery 35:2779-2787	Value of Visual Inspection, Bimanual Palpation, and Intraoperative Ultrasonography During Hepatic Resection for Liver Metastases of Colorectal Carcinoma	Hata S	肝胆膵外科学講座
20	Journal of Hepatology 55(6):1441-1451.	m-TOR Inhibitors: A Role in Liver Transplantation?	Toshiyasu Kawahara	肝胆膵外科学講座
21	American Journal of Transplantation 11(12):2700-2707.	Portal vein thrombosis is a potentially preventable complication in clinical islet transplantation	Toshiyasu Kawahara	肝胆膵外科学講座
22	American Journal of Transplantation 11(12):2708-2714.	Late cytomegalovirus transmission and impact of T-cell depleting induction therapy in clinical islet transplantation	Boris Gala-Lopez	肝胆膵外科学講座
23	Ann Surg Oncol 2012	Salvage hepatectomy for local recurrent hepatocellular carcinoma after ablation therapy	Sugo H	肝胆膵外科学講座
24	順天堂医学 57:525-529	順天堂医院における初の脳死肝移植の経験	須郷広之	肝胆膵外科学講座
25	外科 74巻1号 97-102 2012	下剤が誘引となって閉塞性大腸炎を発生した直腸癌の2例	市田洋文	肝胆膵外科学講座
26	Cornea, 2011; 30(6): 702-708	Effect of tacrolimus on chemokine production by corneal myofibroblasts via Toll-like receptors, compared with cyclosporine and dexamethasone.	Ebihara N	眼科学講座
27	Invest Ophthalmol Vis Sci, 2011; 52(12): 8549-8557	Role of the IL-6 classic- and trans-signaling pathways in corneal sterile inflammation and wound healing.	Ebihara N	眼科学講座
28	Jpn J Ophthalmol, 2011; 55(4): 333-342	Eye Care Comparative Effectiveness Research Team (ECCERT). Cost-effectiveness of cataract surgery in Japan.	Hiratsuka Y	眼科学講座
29	Arch Ophthalmol, 2011; 129(3): 317-321	Suppression of choroidal neovascularization by intravitreal injection of liposomal SU5416.	Honda M	眼科学講座
30	Invest Ophthalmol Vis Sci, 2011; 52(12): 8849-8861	Histopathology of the trabecular meshwork and schlemm's canal in primary angle-closure glaucoma.	Hamanaka T	眼科学講座
31	Infect Drug Resist, 2011; 4: 191-196	Effect of long-term treatment with eyedrops for glaucoma on conjunctival bacterial flora.	Honda R	眼科学講座
32	Invest Ophthalmol Vis Sci, 2011; 52(2): 678-684	Adhesion, migration, and proliferation of cultured human corneal endothelial cells by laminin-5.	Yamaguchi M	眼科学講座

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
33	Ophthalmic Genet, 2011; 32(1): 57-63	A novel nonsense mutation in rhodopsin gene in two Indonesian families with autosomal recessive retinitis pigmentosa.	Kartasasmita AS	眼科学講座
34	Jpn J Ophthalmol, 2011; 55(2): 169-171	Clinical findings in a choroideremia patient who underwent vitrectomy for retinal detachment associated with macular hole.	Shinoda H	眼科学講座
35	Jpn J Ophthalmol, 2011; 55(3): 190-195	Decrease in intraocular pressure following orthokeratology measured with a noncontact tonometer.	Ishida Y	眼科学講座
36	Arch Ophthalmol, 2011; 129(2): 152-157	Trabeculectomy with mitomycin for open-angle glaucoma in phakic vs pseudophakic eyes after phacoemulsification.	Takahara Y	眼科学講座
37	Immunol Lett, 2011; 136(1): 49-54	Adjuvants determine the contribution of basophils to antigen sensitization in vivo.	Ishida W	眼科学講座
38	Curr Eye Res, 2011; 36(4): 350-357	Retinal Degeneration and rd1 Mutation in NG/Tnd Mice—A Human Atopic Dermatitis Model.	Karasawa K	眼科学講座
39	J Cataract Refract Surg, 2011; 37(5): 894-900	Outbreak of Post-LASIK infectious Keratitis from Single Laser Center in Japan.	Yamaguchi T	眼科学講座
40	Invest Ophthalmol Vis Sci, 2011; 52(9): 6729-6736	Roles played by toll-like receptor-9 in corneal endothelial cells after herpes simplex virus type 1 infection.	Takeda S	眼科学講座
41	Allergol Int, 2011; 60(2): 191-203	Japanese Guideline for Allergic Conjunctival Diseases (ACD).	Takamura E	眼科学講座
42	Br J Ophthalmol, 2011; 95(1): 150-151	A novel mutation of the TGFB1 gene causing a lattice corneal dystrophy with deep stromal involvement.	Kawasaki S	眼科学講座
43	Mol Vis, 2011; 17: 965-970	Two novel mutations identified in three Japanese gelatinous drop-like corneal dystrophy families.	Nakatsukasa M	眼科学講座
44	Cont Lens Anterior Eye, 2011; 34(5): 223-228	An international analysis of contact lens compliance.	Morgan PB	眼科学講座
45	Jpn J Ophthalmol, 2011; 55(3): 268-276	The Strabismus Surgery Study Group. Quality of life and cost-utility assessment after strabismus surgery in adults.	Fujiiike K	眼科学講座
46	Invest Ophthalmol Vis Sci, 2011; 52(12), 8711-8717	Increased proliferation and replicative lifespan of isolated human corneal endothelial cells with L-Ascorbic acid 2-phosphate.	Shima N	眼科学講座
47	日コレ誌, 2011; 53(2): 331-332	【東日本大震災特集】日本コンタクトレンズ学会からの情報提供.	村上晶	眼科学講座
48	日コレ誌, 2011; 53(2): 113-121	シリコンハイドロゲルレンズ(nfb02)の無作為化比較臨床試験.	土至田宏	眼科学講座
49	眼科, 2011; 53(12): 1705-1708	眼球摘出・保存.	舟木俊成	眼科学講座
50	日コレ誌, 2011; 53(3): 209-214	コンタクトレンズ装用者に対する副腎皮質ステロイド薬点眼液の危険性.	岩竹彰	眼科学講座
51	日眼会誌, 2011; 115(8): 686-692	Humphrey自動視野計のvisual field indexとmean deviationの比較検討.	木村聡	眼科学講座
52	あたらしい眼科, 2011; 28(9): 1349-1353	脈絡膜肉芽腫のみを呈した眼サルコイドーシスの2症例.	高桑加苗	眼科学講座
53	あたらしい眼科, 2011; 28(12): 1777-1782	血管Behcet病によって両眼性の眼虚血症候群を呈した1症例.	濱知徹也	眼科学講座
54	臨眼, 2011; 65(6): 875-879	ガンシクロビルの点滴と点眼が奏効したサイトメガロウイルス角膜内皮炎の1例.	猪俣武範	眼科学講座
55	日眼会誌, 2011(6): 115: 516-522	若年者の増殖糖尿病網膜症に対する硝子体手術治療と術後合併症.	臼井亜由美	眼科学講座
56	眼臨紀, 2011; 4(4): 373-377	小児眼窩リンパ管腫の2例.	太田みずほ	眼科学講座
57	眼臨紀, 2011; 4(9): 863-867	眼窩先端症候群で発症した副鼻腔アスペルギルス症の2例.	太田みずほ	眼科学講座
58	眼臨紀, 2011; 4(7): 635-639	長野県佐久市における3歳児眼科健診.	國分孝道	眼科学講座
59	眼臨紀, 2011; 4(4): 340-347	近視性脈絡膜新生血管に対するpegaptanib sodium硝子体内注入の治療成績.	坂西良仁	眼科学講座
60	眼臨紀, 2011; 4(4): 383-387	ABCA4遺伝子解析を行ったStargardt病の1例.	志村由依	眼科学講座
61	眼臨紀, 2011; 4(5): 459-462	Stevens-Johnson症候群の小児例の検討.	堀寛爾	眼科学講座

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
62	臨眼, 2011; 65(6): 935-937	12年前の外傷が起因と思われる下眼瞼に生じた腫瘍の1例.	新井英介	眼科学講座
63	臨眼, 2011; 65(6): 885-890	早期治療で改善した急性外眼筋麻痺を伴った無疱疹性眼帯帯状疱疹の2例.	丸本達也	眼科学講座
64	日眼会誌, 2011; 115(6): 508-515	春季カタルに対するシクロスポリン点眼液0.1%の全例調査.	高村悦子	眼科学講座
65	臨眼, 2011; 65(6): 901-905	特発性黄斑上膜が経過中に自然剝離した小児の1例.	藤田太一	眼科学講座
66	眼臨紀, 2011; 4(1):68-70	斜視手術の評価におけるNewcastle Control Scoreの意義.	藤田由美子	眼科学講座
67	日眼会誌, 2011; 115(1): 13-19	糖尿病黄斑浮腫に対するマイクロパルス閾値下凝固後の網膜感度の短期的検討.	星川有子	眼科学講座
68	臨眼, 2011; 65(3): 381-386	加齢黄斑変性に対する光線力学療法12か月治療成績と予後関連因子.	稲垣圭司	眼科学講座
69	J Craniofac Surg, 2011; 22: 269-272	Whole cranial vault expansion by continual occipital and fronto-orbital distraction in syndromic craniosynostosis	Komuro Y	形成外科学講座
70	J Craniofac Surg, 2011;22:329-332	Influence of mixing blood with calcium phosphate bone paste on Hardening	Koizumi T and Komuro Y	形成外科学講座
71	Ann Vasc Dis, 2011; 4 24-31	Prediction of limb salvage after therapeutic angiogenesis by autologous bone marrow cell implantation in patients with critical limb ischemia	Tara S	形成外科学講座
72	J Tissue Eng Vol. 2011; 1-7, Article ID: 158105	Stimulatory effect of autologous adipose tissue-derived stromal cells in an atelocollagen matrix on wound healing in diabetic db/db mice	Nambu M	形成外科学講座
73	Histopathology. 2011; 58: 870-874	Lymphangiogenesis is a predictor of nodal metastasis in extramammary Paget's disease	Ueda A	形成外科学講座
74	Aesthet Plast Surg. 2011; 35: 756-763	Acellular dermal matrix seeded with adipose-derived stem cells as a subcutaneous implant	Orbay H	形成外科学講座
75	Cytherapy. 2011; 13: 675-685,	Comparison of mesenchymal stem cells from adipose tissue and bone marrow for ischemic stroke therapy	Ikegami Y	形成外科学講座
76	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2011; 64: 614-22	Mandible reconstruction using the calcium-sulphate three-dimensional model and rubber stick: A new method, 'mould	Katsuragi Y	形成外科学講座
77	Plast Reconstr Surg. 2011; 127:149e-51e	How long does the nipple projection last after reconstruction using the skate flap purse-string technique?	Katsuragi Y	形成外科学講座
78	Skin Cancer. 2011; 25: 331-338	鼻部腫瘍切除後の再建法 当院における32症例の検討	緒方 大	形成外科学講座
79	Skin Cancer. 2011; 26: 62-68	慢性創傷から発生したinvasive squamous cell carcinoma (SCC) の根治性と機能温存の検討	緒方 大	形成外科学講座
80	形成外科. 2011; 54: 521-531	320列MDCT血管造影による遊離皮弁移植床血管の術前評価	永松将吾	形成外科学講座
81	Haematologica, 2011;96(3)464-467	Identification of a novel fusion, SQSTM1-ALK, in ALK-positive large B-cell lymphoma.	Takeuchi K	内科学血液学講座
82	Internal Medicine, 2011;50(8):899-904	CD5-Positive Follicular Lymphoma: A Case Report and Literature Review	Sekiguchi Y	内科学血液学講座
83	Histopathology, 2011;60(3):519-522	CD4+CD8- T-cell large granular lymphocytic leukemia with CNS involvement.	Ichikawa K	内科学血液学講座
84	Int J Hematol. 2011;93(5): 667-672	A case of T cell polymphocytic leukemia involving blast transformation.	Ichikawa K	内科学血液学講座
85	Intern Med. 2011; 50(5):501-502	Chronic myelogenous leukemia with mild basophilia as the predominant manifestation at presentation.	Yasuda H	内科学血液学講座
86	Clin Chem Lab Med. 2011;49(5): 809-815	Identification of Bcl-2/IgH fusion sequences using real-time PCR and chip-based microcapillary electrophoresis.	Taba Y	内科学血液学講座
87	J Neurooncol. 2011;99(2):295-296	Early CNS relapse in a good-risk primary mediastinal large B-cell lymphoma after combined chemo- and radio-therapy.	Sasaki M	内科学血液学講座
88	Blood. 2011; 118(26):6881-6892	miR-135b mediates NPM-ALK-driven oncogenicity and renders IL-17-producing immunophenotype to anaplastic large cell lymphoma.	Matsuyama H	内科学血液学講座
89	Geriatr Gerontol Int. 2011;11(4):537-538	<sup>18</sup> F-Fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography revealed the presence of simultaneous colon cancer in mucosa-	Ichikawa K	内科学血液学講座
90	Bone Marrow Transplant. 2011; 47(5):742-3	Non-myeloablative allogeneic BMT for myelodysplastic syndrome successfully controlled accompanying relapsing polycondritis.	Tomomatsu J	内科学血液学講座

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
91	Leuk Res. 2011;35(12):1632-1636	Alternately binding probe competitive PCR as a simple, cost-effective, and accurate quantification method for JAK2V617F allele burden in myeloproliferative	Morishita S	内科学血液学講座
92	Mol Cell, 2011, 44(3):424-436	MCPIP1 ribonuclease antagonizes Dicer and terminates microRNA biogenesis through precursor microRNA degradation.	Suzuki HI	内科学血液学講座
93	内科, 2011;108(2):355-357	化学療法にサイトメガロウイルス網膜炎を併発した Angioimmunoblastic T-cell lymphoma (AITL)	小池道明	内科学血液学講座
94	臨床血液, 2011;52(1):8-13	大動脈弓部人工血管置換術後に腹直筋血腫および骨盤内血腫を併発した後天性血友病	牛木真理子	内科学血液学講座
95	臨床眼科, 2011;65:875-879	ガンシクロビル点滴と点眼が奏効したサイトメガロウイルス角膜炎内皮炎の1例	猪俣武範	内科学血液学講座
96	Rinsho Ketsueki, 2011;52(5):282-286	[Hemorrhagic colitis caused by dasatinib following cytomegalovirus enterocolitis in a patient with chronic myelogenous leukemia in the second chronic phase].	Sunami Y	内科学血液学講座
97	Rinsho Ketsueki, 2011;52(11):1751-1758	Risk-benefit assessment in management of adult idiopathic thrombocytopenic purpura.	Takagi S	内科学血液学講座
98	The Japanese Journal of Antibiotics, 2011;64(1):49-50	治療抵抗性extranodal NK/T cell lymphoma、nasal type に合併した肺アスペルギルス症	佐藤恵理子	内科学血液学講座
99	J Thorac Oncol 2011;6:751-756	A prospective radiological study of thin-section computed tomography to predict pathological non-invasiveness in peripheral clinical IA lung cancer	Suzuki K	呼吸器外科学講座
100	Interact Cardiovasc Thorac Surg; 2011; 12: 739-743	Risk factors for morbidity after pulmonary resection for lung cancer in younger and elderly patients.	Takamochi K	呼吸器外科学講座
101	Lung Cancer; 2011; Dec 28. [Epub ahead of print]	Clonality status of multifocal lung adenocarcinomas based on the mutation patterns of EGFR and K-ras.	Takamochi K	呼吸器外科学講座
102	Interact Cardiovasc Thorac Surg; 2011; 12:426-429	ostoperative Complications and Respiratory Function following Segmentectomy of the Lung - Comparison of the Methods of Making an Inter-segmental Plane.	Miyasaka Y	呼吸器外科学講座
103	Pathol Int. 2011 Jul; 61(7): 423-9	Clinicopathological characteristics of primary lung adenocarcinoma predominantly composed of goblet cells in surgically resected cases.	Ichinokawa H	呼吸器外科学講座
104	Lung Cancer. Jul; 2011; 73(1) : 45-50	The usefulness of mutation-specific antibodies in detecting epidermal growth factor receptor mutations and in predicting response to tyrosine kinase inhibitor therapy in lung adenocarcinoma.	Kozu Y	呼吸器外科学講座
105	Experience from a single institution Journal of Cardiothoracic Surgery: (in press)	Surgical treatment for pulmonary metastases from esophageal carcinoma after definitive chemoradiotherapy: Experience from a single institution Journal of Cardiothoracic Surgery	Kozu Y	呼吸器外科学講座
106	Gen Thorac Cardiovasc Surg; 2011; Oct; 59(10): 699-704	Prognosis of surgically resected lung cancer with extremely high preoperative serum carcinoembryonic	Takahashi N	呼吸器外科学講座
107	日本呼吸器外科学会雑誌(0919-0945)25巻6号 Page626-629(2011.09)	妊娠第25週に発症し、12週間の保存的治療を続けた自然気胸の1例(原著論文/症例報告)	今清水恒太	呼吸器外科学講座
108	Am J Respir Cell Mol Biol, 2011; 44(1): 99-107	Prostaglandin E2 Inhibits Human Lung Fibroblast Chemotaxis through Disparate Actions on Different E-Prostanoid Receptors.	Li YJ	呼吸器内科学講座
109	Am J Respir Cell Mol Biol, 2011; 46(2): 217-223	PGE2 Stimulates VEGF Production through the EP2 Receptor in Cultured Human Lung Fibroblasts.	Nakanishi M	呼吸器内科学講座
110	Am J Surg Pathol., 2011; 35(12): 1776-85	Prevalence of uterine and adnexal involvement in pulmonary lymphangioleiomyomatosis: a clinicopathologic study of 10 patients.	Hayashi T	呼吸器内科学講座
111	Am J Transl Res., 2011; 3: 468-78	LAT1 expression is closely associated with hypoxic markers and mTOR in resected non-small cell lung cancer.	Kaira K	呼吸器内科学講座
112	Anticancer Res., 2011; 31: 3775-82	Relationship between LAT1 expression and response to platinum-based chemotherapy in non-small cell lung cancer patients with postoperative recurrence.	Kaira K	呼吸器内科学講座
113	Anticancer Res., 2011; 31: 4075-82	L-type amino acid transporter 1 (LAT1) expression in malignant pleural mesothelioma.	Kaira K	呼吸器内科学講座
114	Anticancer Res., 2011; 31: 4519-23	Continuous administration of EGFR-TKIs following radiotherapy after disease progression in bone lesions for non-small-cell lung cancer.	Inomata M	呼吸器内科学講座
115	Anticancer Research, 2011; 31(4): 1427-1430	Impact of renal failure on the tumor markers of mesothelioma, N-ERC/mesothelin and osteopontin.	Shiomi K	呼吸器内科学講座
116	Biochem Biophys Res Commun, 2011; 406: 223-228	Tim-1 signaling in b cells regulates antibody production.	Ma J	呼吸器内科学講座
117	Biochemical and Biophysical Research Communications, 2011; 412: 109-114	Wound-induced TGF-β1 and TGF-β2 enhance airway epithelial repair via HB-EGF and TGF-α.	Ito J	呼吸器内科学講座
118	Breast Care 2011; 6: 471-473	Parotid Gland Metastasis of Breast Cancer: Case Report and Review of the Literature.	Ando K	呼吸器内科学講座
119	Cancer Cell., 2011; 19(3): 387-400	CD44 variant regulates redox status in cancer cells by stabilizing the xCT subunit of system xc(-) and thereby promotes tumor growth.	Ishimoto T	呼吸器内科学講座

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
120	Cancer Sci., 2011; 102(5): 1032-1037	Efficacy of gefitinib for non-adenocarcinoma non-small-cell lung cancer patients harboring epidermal growth factor receptor mutations: a pooled analysis of	Shukuya T	呼吸器内科学講座
121	Carcinogenesis., 2011; 32(11): 1597-606	Transient depletion of p53 followed by transduction of c-Myc and K-Ras converts ovarian stem-like cells into tumor-initiating cells.	Motohara T	呼吸器内科学講座
122	Eur J Radiol., 2011 Nov 3. [Epub ahead of print]	F-FDG uptake on PET in primary mediastinal non-thymic neoplasm: A clinicopathological study.	Kaira K	呼吸器内科学講座
123	Experimental and Therapeutic Medicine, 2011; 2: 619-623	Bronchial reversibility with a short-acting $\beta_2$ -agonist predicts the FEV1 response to administration of a long-acting $\beta_2$ -agonist with inhaled corticosteroids in	Ohwada A	呼吸器内科学講座
124	FASEB J., 2011; 25(8): 2615-25	Proteolytic processing of vascular endothelial growth factor-D is essential for its capacity to promote the growth and spread of cancer.	Harris NC	呼吸器内科学講座
125	In Vitro Cell. Dev. Biol. Anim., 2011; 47(2): 114-124	Differentiation of embryonic stem cells into fibroblast-like cells in three-dimensional type I collagen gel cultures.	Togo S	呼吸器内科学講座
126	Inflamm Res., 2011; 61(3): 233-244	The p38 mitogen-activated protein kinases modulate endothelial cell survival and tissue repair.	Kanaji N	呼吸器内科学講座
127	J Allergy Clin Immun., 2011; 127(6): 1595-1603	Interleukin-4 induces differentiation of human embryonic stem cells into "fibrogenic" fibroblast-like cells.	Sato T	呼吸器内科学講座
128	J Hosp Infect., 2011; 78(4): 317-22	Genotypes and infection sites in an outbreak of multidrug-resistant Pseudomonas aeruginosa	Tsutsui A	呼吸器内科学講座
129	J Inflamm Res., 2011; 4: 127-138	Inflammatory Cytokines Regulate Endothelial Cell Survival and Tissue Repair Functions via NF- $\kappa$ B Signaling.	Kanaji N	呼吸器内科学講座
130	J Med Case Rep., 2011; 14(5): 61	Benign giant mediastinal schwannoma presenting as cardiac tamponade in a woman: a case report.	Kato M	呼吸器内科学講座
131	J Thorac Oncol., 2011; 6(7): 1242-6	The Risk of Cytotoxic chemotherapy-related exacerbation of interstitial lung disease with lung cancer.	Kenmotsu H	呼吸器内科学講座
132	Lung Cancer, 2011; 74(3): 457-61	Continuous EGFR-TKI administration following radiotherapy for non-small cell lung cancer patients with isolated CNS failure.	Shukuya T	呼吸器内科学講座
133	Med. Mycol. J., 2011; 52(1): 33-38	Breakthrough lung scedosporium proliferans infection with multiple cavity lesions in a patient receiving voriconazole for probable invasive aspergillosis	Ohashi R	呼吸器内科学講座
134	Oncogene., 2011; 30(27): 3084-95	Breast tumor progression induced by loss of BTG2 expression is inhibited by targeted therapy with the ErbB/HER inhibitor lapatinib.	Takahashi F	呼吸器内科学講座
135	Proc Natl Acad Sci USA 2011; 109(8): 2760-5.	Homeobox B9 induces epithelial-to-mesenchymal transition-associated radioresistance by accelerating DNA damage responses.	Chiba N	呼吸器内科学講座
136	Respiration, 2011; 81(6): 491-498	Sex hormones alter Th1 responses and enhance granuloma formation in the lung.	Tajima K	呼吸器内科学講座
137	Respiratory Medicine CME, 2011; 4: 81-84	Pulmonary erdheim-chester disease: A response to prednisolone.	Nagahama K	呼吸器内科学講座
138	Tumori, 2011; 97(5): 568-572	A feasibility study of zoledronic acid combined with carboplatin/nedaplatin plus paclitaxel in patients with non-small cell lung cancer with bone metastases.	Ishiwata T	呼吸器内科学講座
139	東京都医師会雑誌, 2011; 64(5): 25-30	進行非小細胞肺癌治療の最前線	高橋和久	呼吸器内科学講座
140	日本内科学会雑誌, 2011; 100(3): 763-771	3.肺がんの診断と内科的治療—進行非小細胞肺癌の化学療法を中心に—	高橋和久	呼吸器内科学講座
141	日本呼吸器学会雑誌, 2011; 49(9): 623-628	肺膿瘍の起炎菌および臨床背景の検討	長島修	呼吸器内科学講座
142	日本呼吸器学会雑誌, 2011; 49(9): 733-737	巨大声帯結節による上気道閉塞が原因と考えられた肺胞出血の1例	星加義人	呼吸器内科学講座
143	日本胸部臨床, 2011; 70(1): 40-47	在宅呼吸ケアにおける医療行政の現状と課題	高橋和久	呼吸器内科学講座
144	日本胸部臨床, 2011; 70(2): 165-169	比較的まれな肺疾患の画像診断—症例2	長濱久美	呼吸器内科学講座
145	日本胸部臨床, 2011; 70: 192-197	片側性多発脳神経障害(Garcin症候群)を契機に発見され肺癌を強く疑った例	長島修	呼吸器内科学講座
146	肺癌, 2011; 51: 94-98	脈絡膜転移に伴う眼症状を契機に発見された肺小細胞癌の1例—視力予後影響因子の検討—	安藤克利	呼吸器内科学講座
147	アレルギー, 2011; 60: 604-609	Omalizumabの投与間隔短縮が有効であった重症持続型気管支喘息の1例	安藤克利	呼吸器内科学講座
148	日本呼吸器学会雑誌, 2011; 49: 723-728	PS不良患者に対する胸膜癒着術の治療実態	安藤克利	呼吸器内科学講座



## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
149	日本呼吸器学会雑誌, 2011; 49: 800-809	併存疾患が間質性肺炎の予後に与える影響	安藤克利	呼吸器内科学講座
150	Orthod Waves, 2011; 70: 59-64	Craniofacial morphology and pharyngeal airway space in children with UCLP and habitual snoring	Hiraike M	歯科・口腔外科学研究室
151	Journal of Plastic and Reconstructive Surgery and Hand Surgery, 2011; 45: 136-142	Videofluorographic evaluation of dysphagia before and after surgical flap and scar modification in patients with oral cancer.-Surgical procedure for dysphagia	Namaki S	歯科・口腔外科学研究室
152	J Plast Surg hand Surg, 2011;45: 136-142	Videofluorographic evaluation of dysphagia before and after modification of the flap and scar in patients with oral cancer.	Namaki S	歯科・口腔外科学研究室
153	Orthod waves Japanese Edition, 2011; 70: 165-172	習慣性いびきを有する片側性唇顎口蓋裂児の顎顔面形態と気道形態との関連	吉川紀之	歯科・口腔外科学研究室
154	順天堂医学, 2011; 57: 674-676	-症例に学ぶ- 顎顔面外傷により生じた歯牙脱臼・歯槽骨折	上田浩一朗	歯科・口腔外科学研究室
155	日本口腔インプラント学会誌, 2011; 24: 93	上顎前歯欠損部に対しインプラント補綴処置を行った1症例	篠原光代	歯科・口腔外科学研究室
156	J Atheroscler Thromb. 2011; 18: 231-9	Higher Baseline LDL-C Levels Amplify the Short-Term Benefit of Early Intensive Statin Treatment in Acute Coronary Syndrome	Dohi T	循環器内科学講座
157	Circ J. 2011; 75: 1098-1106	Candesartan With Pioglitazone Protects Against Endothelial Dysfunction and Inflammatory Responses in Porcine Coronary Arteries Implanted With Sirolimus-	Dohi T	循環器内科学講座
158	Circ J 2011; 75: 2840-2846.	Gender Differences in Age-related Changes in Left and Right Ventricular Geometries and Functions. An Echocardiographic Study in a Healthy Population.	Daimon M	循環器内科学講座
159	Echocardiography 2011; 28: 703-708	Global Longitudinal Strain in Relation to the Severity of Aortic Stenosis: A Two-dimensional Speckle-tracking Study.	Miyazaki S	循環器内科学講座
160	Heart Vessels 2011 Aug6 [Epub ahead of print]	Association between deteriorated renal function and long-term clinical outcomes after percutaneous coronary intervention.	Ogita M	循環器内科学講座
161	Circ J. 2011 Jul 15	Association of Low Glomerular Filtration Rate With the Incidence of Stroke in Patients Following Complete Coronary Revascularization	Konishi H	循環器内科学講座
162	Circ J 75, No.5: 1071-1079, 2011	Azelinidipine and Amlodipine Anti-Coronary Atherosclerosis Trial in Hypertensive Patients Undergoing Coronary Intervention by Serial Volumetric	Takahiko Kojima	循環器内科学講座
163	Circ J. 2011; 75: 2566-72	Clinical Impact of Angiographic Restenosis After Bare-Metal Stent Implantation on Long-Term Outcomes in Patients With Coronary Artery Disease	Ogita M	循環器内科学講座
164	J Cardiol 2011; 57: 303-310	Clinical significance of the measurements of plasma N-terminal pro-B-type natriuretic peptide levels in patients with coronary artery disease who have	Masaki Y	循環器内科学講座
165	Atherosclerosis. 2011 Aug 22	Clinically evident polyvascular disease and regression of coronary atherosclerosis after intensive statin therapy in patients with acute coronary syndrome: Serial	Hibi K	循環器内科学講座
166	Intern Med. 2011;50(9):961-8, Epub 2011 May 1. Review. PubMed PMID: 21532217.	Comparison between Japanese and non-Japanese features of lupus cystitis based on case reports including novel therapy and a literature review.	Nishizaki Y	循環器内科学講座
167	Atherosclerosis. 2011; 219: 907-12	Decreased circulating lipoprotein-associated phospholipase A2 levels are associated with coronary plaque regression in patients with acute coronary	Dohi T	循環器内科学講座
168	Human Mutation 32:1481-1491,2011.	Dilated Cardiomyopathy-Associated BAG3 Mutations Impair Z-Disc Assembly and Enhance Sensitivity to Apoptosis in Cardiomyocytes.	Arimura T	循環器内科学講座
169	Int Heart J 2011;52(5):270-273	Distal reference segment luminal gain following percutaneous coronary intervention for chronic total occlusion.	Ogita M	循環器内科学講座
170	J Cardiol. 2011; 57: 181-6	Effect of preoperative hemoglobin A1c levels on long-term outcomes for diabetic patients after off-pump coronary artery bypass grafting.	Tsuruta R	循環器内科学講座
171	Heart Vessels. 2011 Nov;26(6):603-8	Effects of olmesartan on blood pressure and insulin resistance in hypertensive patients with sleep-disordered breathing	Dohi T	循環器内科学講座
172	Int Heart J. 2011; 52: 348-52	Gender-based outcomes among patients with diabetes mellitus after percutaneous coronary intervention in the drug-eluting stent era	Ogita M	循環器内科学講座
173	Circulation Journal 75(3):734-743,2011.	Guidelines for diagnosis and treatment of myocarditis (JCS2009) -Digest Version-	Izumi T	循環器内科学講座
174	Circ J 75, No.12: 2813-2820, 2011	Heart Fatty Acid-Binding Protein Offers Similar Diagnostic Performance to High-Sensitivity Troponin T in Emergency Room Patients Presenting With Chest	Kenji Inoue	循環器内科学講座
175	Circ J 75, No.7: 1616-1625, 2011	Impact of Diabetes on Cardiovascular Outcomes in Hemodialysis Patients Undergoing Coronary Revascularization	Masahiro Natsuki	循環器内科学講座
176	J Cardiol 2011; 58: 173-180	Impact of diabetes on muscle mass, muscle strength, and exercise tolerance in patients after coronary artery bypass grafting	Nishitani M	循環器内科学講座
177	Glin Chim Acta. 2011 Sep 29	Increased circulating plasma lysophosphatidic acid in patients with acute coronary syndrome.	Dohi T	循環器内科学講座

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
178	Circ J. 2011; 75: 2062-70	Intensively Lowering Both Low-Density Lipoprotein Cholesterol and Blood Pressure Does Not Reduce Cardiovascular Risk in Japanese Coronary Artery	Kohro T	循環器内科学講座
179	Circ J. 2011; 75: 2283	Intravascular Ultrasound Parameters in Non-Inferiority Trial.	Miyauchi K	循環器内科学講座
180	Clin Cardiol. 2011; 34: 610-6.	Long-term effect of metabolic syndrome with and without diabetes mellitus on coronary revascularization in Japanese patients undergoing percutaneous coronary	Nishino A	循環器内科学講座
181	Nephrol Dial Transplant. 2011 Feb 7	Long-term impact of mild chronic kidney disease in patients with acute coronary syndrome undergoing percutaneous coronary interventions	Dohi T	循環器内科学講座
182	J Cardiol. 2011; 58: 158-64	Long-term outcomes of women with coronary artery disease following complete coronary revascularization	Sato H	循環器内科学講座
183	J Taiwan Soc Echocardiog 2011 5:81-89.	Myocardial cell death in microscopic infarction	Oigawa T	循環器内科学講座
184	Atherosclerosis. 2011 Dec 27	Non-high-density lipoprotein cholesterol is a practical predictor of long-term cardiac death after coronary artery bypass grafting.	Fukushima Y	循環器内科学講座
185	2011 ISRN Vascular Medicine (in press)	Pentraxin 3 (PTX 3) Released from Neutrophils Increases Plasma PTX3 levels in Patients with Acute Coronary Syndrome	Inoue K	循環器内科学講座
186	J Atheroscler Thromb. 2011; 18: 231-9	Plaque Regression Determined by Intravascular Ultrasound Predicts Long-Term Outcomes of Patients with Acute Coronary Syndrome	Dohi T	循環器内科学講座
187	Am J Hypertens. 2011 24(4):401-7	Plasma Pentraxin3 and Arterial Stiffness in Men With Obstructive Sleep Apnea.	Kasai T	循環器内科学講座
188	Atherosclerosis. 2011 Oct 6.	Probul therapy improves long-term (>10-year) survival after complete revascularization: A propensity analysis	Kasai T	循環器内科学講座
189	Hypertens Res. 2011; 34: 378-83.	Prognostic significance of glomerular filtration rate estimated by the Japanese equation among patients who underwent complete coronary revascularization.	Kasai T	循環器内科学講座
190	Int Heart J. 2011; 52: 372-6	Propensity Score Analysis of 10-Year Long-term Outcome After Bypass Surgery or Plain Old Balloon Angioplasty in Patients With Metabolic Syndrome	Yaginuma K	循環器内科学講座
191	Clin Chim Acta. 2011; 412: 1423-7	Small dense LDL cholesterol is a robust therapeutic marker of statin treatment in patients with acute coronary syndrome and metabolic syndrome	Fukushima Y	循環器内科学講座
192	Int Heart J. 2011; 52: 84-7	String-sign in left internal thoracic artery is associated with regression in left main trunk stenosis after coronary artery bypass.	Yokoyama K	循環器内科学講座
193	Int J Angiol 20 : 103-106, 2011	Acute myocardial infarction with severe ST segment elevation treated with percutaneous coronary intervention more than two days after onset: A case	Sone M	循環器内科学講座
194	Int J Angiol 20 : 185-187, 2011	Massive pericardial effusion in a case of acute pericarditis with slight ST-segment elevation of short duration.	Sone M	循環器内科学講座
195	J Cardiol. 2011; 58:173-80.	Impact of diabetes on muscle mass, muscle strength, and exercise tolerance in patients after coronary artery bypass grafting.	Miho Nishitani	循環器内科学講座
196	J Cardiol. 2012 in press	Clinical significance of the measurements of urinary liver-type fatty acid binding protein levels in patients with acute coronary syndrome.	Matsumori R	循環器内科学講座
197	1. Inaugural International Academy of Sportology Proceeding. 105-110;2012	Effects of Voluntary Exercise on the Progression of Atherosclerotic Lesions in Apolipoprotein E-Deficient Mice: Protective Role against Vascular Inflammation.	Fukao K	循環器内科学講座
198	1. World J Cardiovasc Dis. 2012 in press	Clinical Significance of Monocyte-derived Dendritic Cell Activation in Patients with Acute Coronary Syndrome.	Takahashi Y	循環器内科学講座
199	World J Cardiovasc Dis. 2:1-7;2012	Clinical and prognostic features in asymptomatic and symptomatic patients with arteriosclerosis obliterans.	Ohsaka h	循環器内科学講座
200	1. Clin Chim Acta. 413:207-212;2012	Increased circulating plasma lysophosphatidic acid in patients with acute coronary syndrome	Dohi T	循環器内科学講座
201	Cardiovasc Diabetol. 79:10;2011	Effects of calcium channel blockers on glucose tolerance, inflammatory state, and circulating progenitor cells in non-diabetic patients with essential	Fukao K	循環器内科学講座
202	1. J Cardiol. 58:173-180;2011.	Impact of diabetes on muscle mass, muscle strength, and exercise tolerance in patients after coronary artery bypass grafting.	Nishitani M	循環器内科学講座
203	J Immunol. 186:5323-5332;2011.	The novel neutrophil differentiation marker phosphatidylglucoside mediates neutrophil apoptosis.	Kina K	循環器内科学講座
204	J Cardiol. 57:303-310;2011.	Clinical significance of the measurements of plasma N-terminal pro-B-type natriuretic peptide levels in patients with coronary artery disease who have	Masaki Y	循環器内科学講座
205	1. Atherosclerosis. 215:60-69;2011.	Involvement of Cholesterol-enriched Microdomains in Class A Scavenger Receptor-mediated Responses in Human Macrophages.	Kiyonagi T	循環器内科学講座
206	1. Lipids Health Dis. 10:1;2011.	Different responses to oxidized low-density lipoproteins in human polarized macrophages.	Hirose K	循環器内科学講座

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
207	日本心臓財団発行「心臓」 2011.vol 43, p.1359-1364	「パルボウイルスB19(PVB19)が心筋ポリメラーゼ連鎖反応(PCR)法で検出された劇症型心筋炎の一例」	丸山 園美	循環器内科学講座
208	ランニング学研究, 22(2):13-20,2011.	男子学生中長距離選手の中学校・高等学校期のトレーニングに関する研究	高嶋 哲	循環器内科学講座
209	水と健康医学研究会誌14 巻1号 21-32,(2011)	ドライスーツ潜水における血圧の変化	宮坂 裕也	循環器内科学講座
210	水と健康医学研究会誌14 巻1号 33-37,(2011)	水中連続血圧計の開発と水中歩行における血圧動態測定	河合 祥雄	循環器内科学講座
211	心臓 2011; 44: 161-164	アミオダロンが原因と考えられる末梢神経障害をきたした拡張型心筋症の1症例	和田英樹	循環器内科学講座
212	心臓 2011; 43: 1565-1569	全身性強皮症に心疾患(myocardial fibrosis)を合併しニフェジピンが有効であった1例	西崎祐史	循環器内科学講座
213	心臓 2011; 43: 803-810	左房浸潤した心臓傍神経節腫の1手術例	平野景子	循環器内科学講座
214	順天堂医学, 2012;58:44-48.	拡張型心筋症モデルマウス左室心筋における催不整脈性に関する検討-交感神経と副交感神経刺激に対する反応の違いに注目して-	鈴木 剛	循環器内科学講座
215	心臓, 2011 ; 43 :385-386	感染性大動脈瘤を救命し得た1例	和田 英樹	循環器内科学講座
216	1. 心臓リハビリテーション16: 40-43;2011.	心臓リハビリテーション 最新の方法とエビデンス 動脈硬化と心臓リハビリテーション	島田和典	循環器内科学講座
217	1. 水と健康医学研究会誌 14:33-37;2011.	水中連続血圧計の開発と水中歩行における血圧調体測定.	河合祥雄	循環器内科学講座
218	1. Ther Res 32:704-709;2011.	高齢冠動脈疾患患者における維持期心臓リハビリテーションの臨床的有用性.	島田和典	循環器内科学講座
219	J Pediatr Gastroenterol Nutr, 2011; 53: 34-39.	Leukocytapheresis in Pediatric Patients With Ulcerative Colitis.	Tomomasa T	小児思春期発達・病態学
220	J Pediatr Surg, 2011; 46: 489-495.	$\omega$ -3 fatty acids attenuate mucosal inflammation in premature rat pups.	Ohtsuka Y	小児思春期発達・病態学
221	J Allergy Clin Immunol,2011; 127: 685-688,e1-8.	Four distinct subtypes of non-IgE-mediated gastrointestinal food allergies in neonates and infants, distinguished by their initial symptoms.	Nomura I	小児思春期発達・病態学
222	Brain Dev, 2011; 33: 77-82.	Amplitude-integrated electroencephalography in patients with acute encephalopathy with refractory, repetitive partial seizures.	Okumura A	小児思春期発達・病態学
223	Emerg Infect Dis,2011; 17: 1993-2000.	Deaths associated with pandemic (H1N1) 2009 among children, Japan, 2009-2010.	Okumura A	小児思春期発達・病態学
224	Epilepsia,2011; 52: e66-69.	Refractory neonatal epilepsy with a de novo duplication of chromosome 2q24.2q24.3.	Okumura A	小児思春期発達・病態学
225	J Pediatr Infect Dis, 2011; 6: 51-53.	Transiently restricted diffusion in the corpus callosum in bacterial meningitis.	Okumura A	小児思春期発達・病態学
226	Pediatr Infect Dis J, 2011; 30: 92.	Acute encephalopathy in a child with secondary carnitine deficiency due to pvalate-conjugated antibiotics.	Okumura A	小児思春期発達・病態学
227	Brain Dev, 2011; 33: 120-124.	Clinical trial of minimal treatment for clustering seizures in cases of convulsions with mild gastroenteritis.	Tanabe T	小児思春期発達・病態学
228	Clin Neurophysiol, 2011; 122: 1967-1972.	Evaluation of brain maturation in pre-term infants using conventional and amplitude-integrated electroencephalograms.	Kato T	小児思春期発達・病態学
229	Early Hum Dev, 2011; 87: 217-221.	Amplitude-integrated electroencephalography in preterm infants with cystic periventricular leukomalacia.	Kato T	小児思春期発達・病態学
230	Neuropediatrics, 2011; 42: 183-187.	Transient and Mild Reduction of Consciousness during Febrile Illness in Children.	Kato T	小児思春期発達・病態学
231	Brain Dev, 2011; 33: 91.	Reply comments to 'Efficacy of a diazepam at preventing febrile seizure recurrence after febrile illness'.	Hirabayashi Y	小児思春期発達・病態学
232	Neuropediatrics, 2011; 42: 78-81.	Acute encephalopathy in a patient with Dravet syndrome.	Tsuji M	小児思春期発達・病態学
233	Brain Dev, 2011; 33: 21-27.	Chronological diffusion-weighted imaging changes and mutism in the course of rotavirus-associated acute cerebellitis/cerebellopathy concurrent with	Kubota T	小児思春期発達・病態学
234	Epilepsia, 2011; 52: 1835-1842.	CDKL5 alterations lead to early epileptic encephalopathy in both genders.	Liang JS	小児思春期発達・病態学
235	Rinsho Ketsueki, 2011; 52: 1759-1764.	Impact of influenza A(H1N1) in pediatric patients with cancer and hematologic disorders: establishment of information	Ota S	小児思春期発達・病態学

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
236	Am J Transplant, 2011; 11: 394-398.	Living-related transplantation for siblings with familial intrahepatic cholestasis 2 with novel genetic findings.	Shimizu H	小児思春期発達・病態学
237	Pediatr Surg Int, 2011; 27: 847-850.	Pulmonary artery size has prognostic value in low birth weight infants with congenital diaphragmatic hernia.	Takahashi T	小児思春期発達・病態学
238	Blood, 2011; 117: 2211-2222.	Critical role of transcription factor PU.1 in the expression of CD80 and CD86 on dendritic cells.	Kanada S	小児思春期発達・病態学
239	Biosci Biotechnol Biochem, 2011; 75: 1570-1575.	B-Transferase with a Pro234Ser Substitution Acquires AB-Transferase Activity.	Nishida C	小児思春期発達・病態学
240	J Allergy Clin Immunol 127:1038-1045 e1-3.	Circadian clock gene Period2 regulates a time-of-day-dependent variation in cutaneous anaphylactic reaction.	Nakamura Y	小児思春期発達・病態学
241	Pediatr Int, 2011; 53: 497-500.	Urinary sulfated bile acid analysis for the early detection of biliary atresia in infants.	Suzuki M	小児思春期発達・病態学
242	Liver Transpl, 2011; 17: 1059-1065.	Successful heterozygous living donor liver transplantation for an oxysterol 7 $\alpha$ -hydroxylase deficiency in a Japanese patient.	Mizuochi T	小児思春期発達・病態学
243	Steroids, 2011; 76: 1609-1614.	Identification of S-acyl glutathione conjugates of bile acids in human bile by means of LC/ESI-MS.	Mitamura K	小児思春期発達・病態学
244	J Obstet Gynaecol Can, 2011; 33: 460-467.	Pregnant Women's Perception of Risk With Use of the H1N1 Vaccine.	Sakaguchi S	小児思春期発達・病態学
245	Clin Pediatr, 2011; 50: 666-668.	Late-onset sensorineural hearing loss due to asymptomatic congenital cytomegalovirus infection retrospectively diagnosed by polymerase chain reaction	Ikeno M	小児思春期発達・病態学
246	J Hum Genet, 2011; 56: 707-715.	HRAS mutants identified in Costello syndrome patients can induce cellular senescence; possible implications for the pathogenesis of Costello syndrome.	Niihori T	小児思春期発達・病態学
247	J Med Genet, 2011; 48: 467-472	Genome-wide linkage and association mapping identify susceptibility alleles in ABCO4 for Kawasaki disease.	Khor CC	小児思春期発達・病態学
248	Br J Nutr, 2011; 106: 549-556.	Effect of the continuous intake of probiotic fermented milk containing Lactobacillus casei strain Shirota on fever in a mass outbreak of norovirus gastroenteritis	Nagata S	小児思春期発達・病態学
249	O J Ped, 2011; 1: 27-29.	Antimicrobial therapy using sulfamethoxazole trimethoprim for Kawasaki disease patients unresponsive to intravenous immunoglobulin.	Nagata S	小児思春期発達・病態学
250	International Journal of Probiotics & Prebiotics, 2011; 6: 123-132.	Effects of continuous intake of Lactobacillus casei strain Shirota-fermented milk containing on risk management of long-term inpatients at health service	Bian L	小児思春期発達・病態学
251	J Pediatr Gastroenterol Nutr, 2011; 52: 227-229.	Evaluations of psychological preparation for children undergoing endoscopy.	Tanaka K	小児思春期発達・病態学
252	Pediatr Int, 2011; 53: 974-979.	Pulse steroids as induction therapy for children with ulcerative colitis.	Kudo T	小児思春期発達・病態学
253	Acta Paediatr, 2011; 100: 972-976.	Effects of parenteral soybean oil lipid emulsion on the long-chain polyunsaturated fatty acid profile in very-low-birth-weight infants.	Shoji H	小児思春期発達・病態学
254	J Pediatr Surg, 2011; 46: 2254-2259.	Increase in fetal pulmonary artery diameters during late gestation is a predictor of outcome in congenital diaphragmatic hernia with liver herniation.	Okazaki T	小児思春期発達・病態学
255	Pediatr Surg Int, 2011; 27: 35-38.	Indications for thoracosopic repair of congenital diaphragmatic hernia in neonates.	Okazaki T	小児思春期発達・病態学
256	Clin Nephrol, 2011; 76: 504-506.	Transition of severe diffuse mesangial hypercellularity to minimal change disease in a child with steroid-resistant nephrotic syndrome.	Fujinaga S	小児思春期発達・病態学
257	Infect Chemother, 2011; 17: 609-621.	Dissemination of multiple MRSA clones among community-associated methicillin-resistant Staphylococcus aureus infections from Japanese	Hisata K	小児思春期発達・病態学
258	Brain Dev, 2011; 33: 28-34.	Early infantile manifestations of incontinentia pigmenti mimicking acute encephalopathy.	Abe S	小児思春期発達・病態学
259	Neuropediatrics, 2011; 42: 135-137.	SCN1B is not related to benign partial epilepsy in infancy or convulsions with gastroenteritis.	Yamashita S	小児思春期発達・病態学
260	Pediatr Int, 2011; 53: 980-984.	Non-invasive assessment of liver fibrosis in patients after the Fontan operation.	Furukawa T	小児思春期発達・病態学
261	Echocardiography, 2011; 28: 720-729.	Left ventricular torsion and strain in patients with repaired tetralogy of fallot assessed by speckle tracking imaging.	Takayasu H	小児思春期発達・病態学
262	Pediatr Int, 2011; 53: 600-603.	Contralateral pleural recurrence of adrenocortical carcinoma after surgical resection.	Inage E	小児思春期発達・病態学
263	日本小児皮膚科学会誌, 2011; 30: 39-41.	BCGリンパ節炎の1例.	佐藤英里	小児思春期発達・病態学
264	日本小児皮膚科学会誌, 2011; 30: 43-46.	乳児に生じた色素性尋麻疹の2例.	今泰子	小児思春期発達・病態学

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
265	日本小児科学会雑誌, 2011; 115: 820-822.	小児炎症性腸疾患におけるQOLの評価ー日本語版IMPACT-Ⅲアンケート調査.	新井勝大	小児思春期発達・病態学
266	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌, 2011; 25: 6-12.	PFIC1型および2型における肝機能検査値と尿中胆汁酸分析.	入戸野博	小児思春期発達・病態学
267	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌, 2011; 25: 75-81.	新生児ヘモクロマトーシス8例における尿中胆汁酸分析値.	咲野篤	小児思春期発達・病態学
268	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌, 2011; 25: 82-87.	胎便中胆汁酸分析における検体採取法の検討.	佐藤洋明	小児思春期発達・病態学
269	順天堂医学, 2011; 57: 297-304.	基礎・臨床研究の発展を目指す新たな卒前・卒業教育改革 第36回成田医学教育ワークショップ・第10回成田卒業教育ワークショップ報告.	檀原高	小児思春期発達・病態学
270	順天堂医学, 2011; 57: 521-524.	CBTを用いて試験問題作成の基本ー平成23年度 順天堂大学医学教育ミニワークショップ報告ー.	富木裕一	小児思春期発達・病態学
271	順天堂医学, 2011; 57: 638-643.	研修医が進路を決める時期ー初期研修修了時のアンケート調査からー.	富木裕一	小児思春期発達・病態学
272	日本小児科学会雑誌, 2011; 115: 820-822.	小児炎症性腸疾患におけるQuality of Lifeの評価: 日本語版IMPACT-Ⅲアンケート調査票の作成.	新井勝大	小児思春期発達・病態学
273	小児科, 2011; 52: 1-2.	目で見える小児科 学童期に下血を契機に見えられたMeckel憩室の1例.	垣内俊彦	小児思春期発達・病態学
274	小児科診療, 2011; 74: 149-151.	バンコマイシンとセフトラジム使用中に発症した偽膜性腸炎の1例.	垣内俊彦	小児思春期発達・病態学
275	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌, 2011; 25: 63-68.	自己免疫性肝炎の要素を有した原発性硬化性胆管炎の1例.	垣内俊彦	小児思春期発達・病態学
276	特殊ミルク情報, 2011; 46: 14-18.	新生児期に血液浄化療法を用いて救命し得たイソ吉草酸血症の1男児例.	畚名英典	小児思春期発達・病態学
277	胆膵の病態生理, 2011; 27: 23-27.	液体クロマトグラフィー/質量分析法によるヒト胆汁中グルタチオン抱合型胆汁酸の同定.	池川繁男	小児思春期発達・病態学
278	日本小児科学会雑誌, 2011; 115: 623-628.	発症早期からMRI拡散強調画像異常を認めたインフルエンザ菌髄膜炎の1例.	鎌田彩子	小児思春期発達・病態学
279	日本未熟児新生児学会雑誌, 2011; 23: 113-117.	ABCC8遺伝子異常を認め新生児一過性糖尿病と診断した超低出生体重児の1例.	大関一裕	小児思春期発達・病態学
280	日本小児科学雑誌, 2011; 115: 1067-1072.	劇症肝不全として発症したミトコンドリアDNA枯渇症候群の新生児例.	菅沼宏樹	小児思春期発達・病態学
281	日本周産期・新生児医学会雑誌, 2011; 47: 119-124.	早産・超低出生体重で出生し13歳時に糸球体サイズの増大と糸球体硬化像を呈した一例ーDOHaD概念に基づく慢性糸球体疾患発症例.	西崎直人	小児思春期発達・病態学
282	日本小児科学会雑誌, 2011; 115: 56-61.	溶血性尿毒症症候群患児から単離した腸管出血性大腸菌O165 HNMMの病原性遺伝子解析.	西崎直人	小児思春期発達・病態学
283	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌, 2011; 25: 1-5.	B型肝炎母子感染防止対策もれと感染例の検討.	遠藤周	小児思春期発達・病態学
284	日本小児腎不全学会雑誌, 2011; 31: 205-207.	Rasburicase投与後にもかかわらず腫瘍崩壊症候群を発症した1例.	遠藤周	小児思春期発達・病態学
285	日本小児腎臓病学会雑誌, 2011; 24: 8-12.	急性期DMSAシンチグラフィと腹部超音波を組み合わせたことにより、不必要なVCUGを回避することが可能か?.	井上由香	小児思春期発達・病態学
286	心臓, 2011; 43: 710-711.	川崎病遠隔期において冠動脈バイパス術にいたった症例.	原田真菜	小児思春期発達・病態学
287	日本小児難治喘息アレルギー疾患雑誌, 2011; 9: 265-270.	気管支喘息入院患者の検討ー初回入院率増加とその要因ー.	稲毛美介	小児思春期発達・病態学
288	日本小児科学会雑誌, 2011; 115: 69-73.	過去9年間に経験した早発型敗血症10例の検討.	田中登	小児思春期発達・病態学
289	日本小児救急医学会雑誌, 2011; 10: 86-90.	急性脳症を呈した溶血性尿毒症症候群の一例.	村野弥生	小児思春期発達・病態学
290	日本小児腎不全学会雑誌, 2011; 31: 327-328.	開心術後の敗血症性ショックによる多臓器不全から慢性腎不全に至った1新生児例.	村野弥生	小児思春期発達・病態学
291	心臓, 2011; 43: 708.	当院における川崎病症例の後方視的検討 開院から5年経過して.	大島華倫	小児思春期発達・病態学
292	Hepatology Reserch., 41, 955-964, 2011	Cancer preventive effect of pegylated interferon $\alpha$ -2b plus ribavirin in a real-life clinical setting in Japan: PERFECT interim analysis.	Watanabe S	消化器内科学講座
293	World Journal of Gastroenterology, 17, 35: 4017-4022, 2011	Corticotropin releasing factor secretion by dendritic cells in response to stimulation by commensal bacteria.	Hajo M	消化器内科学講座
294	Hepatology Reserch., 41, 3: 209-216, 2011	Pharmacological therapy of nonalcoholic steatohepatitis.	Hajo M	消化器内科学講座

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
295	INTERNAL MEDICINE,50,7:713-717,2011	Use of selective serotonin reuptake inhibitors and upper gastrointestinal disease.	Itatsu T	消化器内科学講座
296	World Journal of Gastroenterology,,17,46:5110-6,2011	Autofluorescence imaging endoscopy for identification and assessment of inflammatory ulcerative colitis.	Osada T	消化器内科学講座
297	Scand J Gastroenterol,,46,8:10-817,2011	Colonic mucosal lesions associated with low-dose aspirin: a case control study.	Shibuya T	消化器内科学講座
298	Dig Dis Sci,56,;1299-1308,2011	Establishment of a reflux esophago-laryngitis model in rats.	Asaoka D	消化器内科学講座
299	INTERNAL MEDICINE,50,3:219-222,2011	Intestinal involvement in Wegener's granulomatosis diagnosed and followed up by double balloon enteroscopy.	Beppu K	消化器内科学講座
300	INTERNAL MEDICINE,,50,;2263-2267,2011	Relationship between endoscopic finding and clinical severity in ischemic colitis.	Beppu K	消化器内科学講座
301	Endoscopy,,43,Suppl.2:67-68,2011	A new traction device for facilitating endoscopic submucosal dissection(ESD) for early gastric cancer:the "medical ring".	Matsumoto K	消化器内科学講座
302	Journal of Gastroenterology,,46,1:31-38,2011	Evaluation of new subclassification of type V(I) pit pattern for determining the depth and type of invasion of colorectal neoplasm.	Matsumoto K	消化器内科学講座
303	Dig Endosc,,23,(4):330-331,2011	The 'Loop Clip' is useful for closing large mucosal defects after colorectal endoscopic submucosal dissection: a preliminary clinical study.	Mori H	消化器内科学講座
304	Journal of Gastroenterol,,46,;629-638,2011	Dissociation and dispersion of claudin-3 from the tight junction could be one of the most sensitive indicators of reflux esophagitis in a rat model of the disease.	Oguro M	消化器内科学講座
305	Journal of Gastroenterology,,,2011	Loss of autophagy promotes murine acetaminophen hepatotoxicity.	Igusa Y	消化器内科学講座
306	Journal of Gastroenterology and Hepatology ,,26,1:68-72,2011	Usefulness of endoscopic ultrasound for the prediction of intraoperative bleeding of endoscopic submucosal dissection for gastric neoplasms.	Kikuchi D	消化器内科学講座
307	J Cell Biol,,18,193:275-84,2011	Persistent activation of Nrf2 through p62 in hepatocellular carcinoma cells.	Inami Y	消化器内科学講座
308	Biochem Biophys Res Commun,,412,;618-625,2011	Hepatic steatosis inhibits autophagic proteolysis via impairment of autophagosomal acidification and cathepsin expression.	Inami Y	消化器内科学講座
309	Endoscopy,43 ,Suppl 2:E298-299,2011	Successful endoscopic mucosal resection of a solitary extramedullary plasmacytoma in the sigmoid colon.	Kodani T	消化器内科学講座
310	Dig Dis Sci,,56,;1954-1961,2011	Evidence for enhanced cytoprotective function of HSP90-overexpressing small intestinal epithelial cells.	Tamaki K	消化器内科学講座
311	Journal of Hepatology ,,54,;1195-1204,2011	CD1d-restricted natural killer T cells contribute to hepatic inflammation and fibrogenesis in mice.	Ishikawa S	消化器内科学講座
312	Health,,3,11:677-783,2011	Quit smoking improves gastroesophageal reflux symptoms and quality of life.	Nakajima K	消化器内科学講座
313	Dig Endosc,,23,(4):329,2011	Advanced colorectal cancer with double-hump camel-like appearance.	Ritsuno H	消化器内科学講座
314	Clinical Jpurnal of Gastroenterology,4,(6):371-373,2011	Asymptomatic anisakiasis of the colon incidentally found by colonoscopy.	Taniguchi G	消化器内科学講座
315	Med Sci Monit,17,2:15-17,2011	Metastatic renal cell carcinoma diagnosed by capsule endoscopy and double balloon endoscopy.	Takeda T	消化器内科学講座
316	Rad Fan,9,6:42-43,2011	【肝疾患における最新の超音波診断】胆道・消化管・尿管 造影超音波が有用であった胆嚢病変の二例	竹田 努	消化器内科学講座
317	World J Gastrointest Endosc,,3,1:20-22,2011	Endoscopic retrieval of a gastric trichobezoar.	Konuma H	消化器内科学講座
318	World J Gastrointest Endosc,,3,;151-153,2011	Mallory-Weiss tear during gastric endoscopic submucosal dissection.	Hongou H	消化器内科学講座
319	JOURNAL OF HEPATOLOGY,55,2:379-387,2011	Ursolic acid ameliorates hepatic fibrosis in the rat by specific induction of apoptosis in hepatic stellate cells.	Wang X	消化器内科学講座
320	肝臓,,52,9:18-35,2011	原発性胆汁性肝硬変に対するウルソデオキシコール酸長期服用と臨床経過-ウルソ-PBC特別調査研究会-	戸田剛太郎	消化器内科学講座
321	Gastrointest Endosc,74,(4):922,2011	Aortoesophageal fistula fistula after radiation therapy for esophageal cancer (with video)	Kawaguchi Y	消化器内科学講座
322	Surg Endosc,25(9):3016-21,2011	Magnifying gastroscopy using a soft black hood for difficult colonoscopy.	Nakamura H	消化器内科学講座
323	Endoscopy,43,Suppl 2:201-2,2011	Inverted sessile serrated polyp diagnosed by magnifying image-enhanced colonoscopy.	Muramoto T	消化器内科学講座

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
324	World J Gastrointest Endosc.3(7):151-3,2011	Mallory-Weiss tear during gastric endoscopic submucosal dissection.	Hongou H	消化器内科学講座
325	JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY,47,2:118-126,2011	Long-term Administration of PPI reduces treatment failures after esophageal variceal band ligation: a randomized, controlled trial.	Hisashi Hidaka	消化器内科学講座
326	Oncology,81(Suppl 1)158-164,2011	Asian consensus workshop report:expert consensus guideline for the management of intermediate and advanced hepatocellular carcinoma in Asia.	Han KH	消化器内科学講座
327	Hepato Res.41(12):1208-1215,2011	the Liver Cancer Study Group of Japan. Demonstration of quality of care measurement using the Japanese liver cancer registry.	Higashi T	消化器内科学講座
328	Med Mol Morphol.44(3):117-124,2011	Hepatocellular carcinoma and liver transplantation: clinical perspective on molecular targeted strategies.	Matsuda Y	消化器内科学講座
329	Hepato Res.41(9):805-8012,2011	Diagnostic criteria of acute liver failure: A report by the Intractable Hepato-Biliary Diseases Study Group of Japan.	Mochida S	消化器内科学講座
330	Liver Transpl.Suppl 2:S72-80,2011	Markers for microvascular invasion in hepatocellular carcinoma: where do we stand?	Gouw AS	消化器内科学講座
331	Human Path,42(9):1329-36,2011	Frequent overlap of active hepatitis in recurrent primary sclerosing cholangitis after living-donor liver transplantation relates to its rapidly progressive course.	Miyagawa-Hayashino A	消化器内科学講座
332	Am J Transplant.11(3):518-527,2011	Risk factors for recurrence of primary sclerosing cholangitis after living donor liver transplantation in Japanese registry.	Egawa H	消化器内科学講座
333	MoMed,17(1-2):70-78,2011	Identification of treatment efficacy-related host factors in chronic hepatitis C by ProteinChip serum analysis.	Watanabe S	消化器内科学講座
334	Histol Histopathol. 2011; 26: 315-22	Inhibition of connexin43 dephosphorylation is involved in protective effects of diltiazem on cardiac function during hypoxic injury	Matsushita S	心臓血管外科学講座
335	Biomaterials. 2011; 32: 3220-32	Differentiation of cardiosphere-derived cells into a mature cardiac lineage using biodegradable poly(N-isopropylacrylamide) hydrogels	Li Z	心臓血管外科学講座
336	J Am Coll Cardiol. 2011; 57: 455-65	Intramyocardial injection of autologous cardiospheres or cardiosphere-derived cells preserves function and minimizes adverse ventricular remodeling in pigs with	Lee ST	心臓血管外科学講座
337	Eur Heart J. 2011	Intrinsic cardiac origin of human cardiosphere-derived cells	White AJ	心臓血管外科学講座
338	J Cardiol, 2011; 57: 181-6	Effect of preoperative hemoglobin A1c levels on long-term outcomes for diabetic patients after off-pump coronary artery bypass grafting	Tsuruta R	心臓血管外科学講座
339	J Thorac Cardiovasc Surg. 2011; 141: 1259-64	Role of biofilm in Staphylococcus aureus and Staphylococcus epidermidis ventricular assist device driveline infections	A	心臓血管外科学講座
340	Circ Heart Fail. 2011; 4 : 546-53	Effects of continuous-flow versus pulsatile-flow left ventricular assist devices on myocardial unloading and remodeling	Kato TS	心臓血管外科学講座
341	Open Cardiovasc Med J. 2011; 5 : 148-152	Rigid sternal fixation improves postoperative recovery	Hirose H	心臓血管外科学講座
342	Circ J, 2011; 75: 2692-8	Conventional aortic valve replacement for elderly patients in the current era	Yamana K	心臓血管外科学講座
343	Jpn Vasc Surg. 2011; 20: 829-34	Surgical subspecialty training in the United States -Is it good for Japanese surgeons?	Hirose H	心臓血管外科学講座
344	Arch Surg. 2011; 146: 1253-60	Cardiothoracic surgeon management of postoperative cardiac critical care	Whitman GJR	心臓血管外科学講座
345	Circ J, 2011; 75: 2372-8	Association of low glomerular filtration rate with the incidence of stroke in patient following complete coronary revascularization	Konishi H	心臓血管外科学講座
346	Intl Heart J ,2011; 52: 372-6	Propensity score analysis of 10 year long term outcome after bypass surgery or plain old balloon angioplasty in patient with metabolic syndrome	Yaginuma K	心臓血管外科学講座
347	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2011; 17: 356-362	Mid-term results for the Maze procedure in patients with non-mitral valvular atrial fibrillation	Iwamura T	心臓血管外科学講座
348	Int Heart J. 2011; 52: 84-87	String-sign in left internal thoracic artery is associated with regression in left main trunk stenosis after coronary artery bypass	Yokoyama K	心臓血管外科学講座
349	Hypertens Res. 2011; 34: 378-383	Prognostic significance of glomerular filtration rate estimated by the Japanese equation among patients who underwent complete coronary revascularization	Kasai T	心臓血管外科学講座
350	J Cardiol. 2011; 58: 158-164	Long-term outcomes of women with coronary artery disease following complete coronary revascularization	Sato H	心臓血管外科学講座
351	冠疾患誌. 2011; 17: 8-15	低左心機能症例における冠動脈バイパス術、術直後および中期遠隔期成績、予後因子の検討	山崎元成	心臓血管外科学講座
352	日本静脈学会. 2011; 22: 341-349	下肢静脈瘤レーザー治療の医工学的背景	榊原直樹	心臓血管外科学講座

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
353	体外循環技術 38(4):500-502,2011	小児無輸血開心術におけるMUFシステムの検討	若松植人	心臓血管外科学講座
354	Kidney Int 80: 79-87, 2011	Aberrant Glycosylation of IgA1 is Inherited in Pediatric IgA Nephropathy and Henoch-Schlein Purpura Nephritis	Kirylyuk K	腎臓内科学講座
355	Clin J Am Soc Nephrol 6: 1903-11, 2011	Oxidative stress and galactose-deficient IgA1 as markers of progression in IgA nephropathy.	Camila R	腎臓内科学講座
356	Nephrol Dial Transplant,26: 3451-3457, 2011	IgA1 immune complexes from pediatric patients with IgA nephropathy activate cultured human mesangial cells.	Novak J	腎臓内科学講座
357	Adv Otorhinolaryngol 72: 60-3, 2011	Aberrant glycosylation of IgA1 and anti-glycan antibodies in IgA nephropathy: role of mucosal immune system.	Novak J	腎臓内科学講座
358	Dial Transpl, 2011; doi:10.1016/j.dialis.2011.07.001	Concomitant use of clopidogrel and proton pump inhibitors may attenuate the prognosis of coronary heart disease in hemodialysis patients.	Shimizu Y	腎臓内科学講座
359	Clin Nephrol 2011; 75 Suppl 1: S47-S55	Severe erosive lesions in the digestive tract of patients with Henoch-Schönlein Purpura (HSP) and its impact on prognosis; Presentation of 2 cases and statistical	Tobino K	腎臓内科学講座
360	Nephrol Dial Transplant (2012) 27: 1090-1097 Advance Access publication 21 July 2011	Tonsillar TLR9 expression and efficacy of tonsillectomy with steroid pulse therapy in IgA nephropathy patients	Daisuke Sato	腎臓内科学講座
361	Clin Dev Immunol. 2011;2011;819646. Epub 2011 Jun 30.	Different Pathological Roles of Toll-Like Receptor 9 on Mucosal B Cells and Dendritic Cells in Murine IgA Nephropathy	Tadahiro Kajiyama	腎臓内科学講座
362	Nephrology Frontier(1346-9630)10巻1号 Page93-98(2011.03)	Efficacy of educational short-term hospitalization in patients with chronic kidney disease(CKD): Second report	Kobayashi Takashi	腎臓内科学講座
363	Clinical & Experimental Immunology Volume 166, Issue 2, pages 235-	Negative regulation of inflammatory responses by immunoglobulin A receptor (FcαRI) inhibits the development of Toll-like receptor-9 signaling-	T	腎臓内科学講座
364	J Nephrol. 24:246-9, 2011	Marked improvement by high-dose chemotherapy and autologous stem cell transplantation in a case of light chain deposition disease.	Matsuzaki K	腎臓内科学講座
365	Nephrol Dial Transplant. 26: 3465-3473,2011	Protective effects of L-type fatty acid-binding protein (L-FABP) in proximal tubular cells against glomerular injury in anti-GBM antibody-mediated	Kanaguchi Y	腎臓内科学講座
366	J Nephrol. 24:756-763, 2011	One-year results of an open-label study on antiproteinuric effect of benidipine in patients with chronic kidney disease	Tomino Y	腎臓内科学講座
367	Adv Otorhinolaryngol 72: 64-67, 2011	Reevaluation of the mucosa-bone marrow axis in IgA nephropathy with animal models	Suzuki Y	腎臓内科学講座
368	Nephrol Dial Transplant. 26: 2127-2137,2011	Protective effects of tubular liver-type fatty acid-binding protein against glomerular damage in murine IgA nephropathy	Zuo N	腎臓内科学講座
369	Am J Nephrol., 2011; 35: 58-68	Effects of 22-oxa-calcitriol on podocyte injury in adriamycin-induced nephrosis.	Lydia A	腎臓内科学講座
370	Am J Physiol Renal Physiol., 2011; 302: F380-389	Doxorubicin-induced glomerulosclerosis with proteinuria in GFP-GABARAP transgenic mice.	Takagi-Akiba M	腎臓内科学講座
371	Lab Invest., 2011; 91: 1584-1595	mTORC1 activation triggers the unfold protein response in podocytes and leads to nephritic syndrome.	Ito N	腎臓内科学講座
372	Am J Nephrol., 2011; 23: 537-549	Dendrin location in podocytes is associated with the disease progression in animal and human glomerulopathy.	Asanuma K	腎臓内科学講座
373	Rheumatol Int. 2011 Nov 12.	Effects of dialysis on the pharmacokinetics of salazosulfapyridine.	Inami Y	腎臓内科学講座
374	J Cell Mol Med. 2011 Nov 28. doi: 10.1111/j.1582-4934.2011.01493.x. [Epub ahead	Rapamycin inhibits transforming growth factor β induced peritoneal angiogenesis by blocking the secondary hypoxic response.	Sekiguchi Y	腎臓内科学講座
375	Nephrol Dial Transplant. 26: 2153-2160, 2011	Mindin: a novel marker for podocyte injury in diabetic nephropathy.	Murakoshi M	腎臓内科学講座
376	Nephron Exp Nephrol 2011; 117: 124-132	Effect of Combination Therapy with Angiotensin Receptor Blocker and 1,25-Dihydroxyvitamin D 3 in Type 2 Diabetic Nephropathy in KK-Ay/Ta Mice	Ohara I	腎臓内科学講座
377	Am J Physiol Renal Physiol. 300: F1271-82, 2011	Attenuating effect of angiotensin-(1-7) on angiotensin II-mediated NAD(P)H oxidase activation in type 2 diabetic nephropathy of KK-Ay/Ta mice	Moon JY	腎臓内科学講座
378	J Nephrol, Vol 24, p246-249, 2011	Marked improvement by high-dose chemotherapy and autologous stem cell transplantation in a case of light chain deposition disease	Matuszaki K	腎臓内科学講座
379	Lupus, Vol. 20, No. 13, p1378-1386, 2011	Significance of glomerular activation of the alternative pathway and lectin pathway in lupus nephritis	Sato N	腎臓内科学講座
380	Case Rep Nephrol Urol, Vol.1:7-14, 2011	Immune complex mediated complement activation in a patient with IgG4-related tubulointerstitial nephritis	Nagamachi S	腎臓内科学講座
381	Modern Rheumatol, Vol.21: 536-541, 2011	Three cases of PR3-ANCA positive subacute endocarditis caused by attenuated bacteria (Propionibacterium, Gemella, and Bartonella)	Matuszaki K	腎臓内科学講座



(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
382	BMC Nephrol, Vol.12 p64, 2011 doi:10.1186/1471-2369-12-64	Excretion of complement proteins and its activation marker C5b-9 in IgA nephropathy in relation to renal function	Onda K	腎臓内科学講座
383	Ther Apher Dial. 15:441-447	Serum concentration of complement components of the lectin pathway in maintenance hemodialysis patients, and relatively higher levels of L-Ficolin and MASP-2 in	Ishii M	腎臓内科学講座
384	順天堂医学、2011、57(2):133-143	腹膜硬化モデルラットにおけるエリスロポエチンの抗線維化作用についての検討(Preventive Effects of Erythropoietin on Peritoneal Hypoxia and Fibrosis in	井沼治朗	腎臓内科学講座
385	腎と透析(0385-2156)69巻別冊 腹膜透析2010 Page377-378(2010.09)	腹膜炎・カテーテル感染症 血液透析移行後に無症候性腹膜炎による腹水が遷延した腹膜透析の1症例	谷藤千咲	腎臓内科学講座
386	日本透析医学会雑誌(1340-3451)44巻2号 Page163-167(2011.02)	62歳で血液透析を施行している糖尿病型(von Gierke病)腎不全の1例	小林則善	腎臓内科学講座
387	順天堂医学、2011、57: 610-616	慢性腎臓病を伴う高血圧患者に対する塩酸ベニジピンの尿蛋白改善効果作用並びに抗酸化作用-未治療高血圧患者における層別解析研究-	高良勝彦	腎臓内科学講座
388	順天堂医学 57: 387-394, 2011	5/6腎摘腎不全モデルにおける生薬オウギの腎一酸化窒素合成酵素(NOS)発現抑制効果	豊田一恵	腎臓内科学講座
389	Pharma Medica, Vol 29, p109-118, 2011	遺伝性血管性浮腫(hereditary angioedema: HAE)-疾患概要と疾患認知度全国調査-Hereditary angioedema recognition survey in Japan	大澤 勲	腎臓内科学講座
390	腎と透析、Vol 70, p415-422, 2011	IgA腎症と慢性活動性EBV感染症による末梢性T細胞リンパ腫を併発した一例	長濱莉莉	腎臓内科学講座
391	成人病と生活習慣病、Vol.41, No.5, p612-613, 2011	血管性浮腫5症例の検討	大澤 勲	腎臓内科学講座
392	順天堂医学、Vol57, No3, p263-267, 2011	洗面後に突然のめまいを呈した一症例	表 敬介	腎臓内科学講座
393	日本集中治療医学会雑誌、Vol.18:561-564, 2011	今月のハイライト4 遺伝性血管性浮腫をめぐる問題	大澤 勲	腎臓内科学講座
394	順天堂医学、Vol57, No3, p263-267, 2011	急性腹症を呈した腸管浮腫の一例	大澤 勲	腎臓内科学講座
395	A case report. Arch Orthop Trauma Surg 131: 11-14, 2011	Pathological fractures due to vertebral osteonecrosis associated with pancreatitis. A case report.	Baba T	整形外科科学講座
396	Clin J Sport Med 21: 362-364, 2011	Premature osteoarthritis of the hip in unicyclists. 2 case reports.	Baba T	整形外科科学講座
397	Eur Orthop Trauma 2: 121-125, 2011	Osteogenesis imperfecta associated with atlantoaxial rotatory fixation.	Baba T	整形外科科学講座
398	Clin Orthop Relat Res, Dec 2011	Does Primary or Secondary Chondrocalcinosis Influence Long-term Survivorship of Unicompartamental Arthroplasty?	Hernigou P	整形外科科学講座
399	Arthritis Res Ther 13: R22, 2011	Relationships between biomarkers of cartilage, bone, synovial metabolism and knee pain provide insights into the origins of pain in early knee osteoarthritis.	Ishijima M	整形外科科学講座
400	J Orthop Res 29: 861-866, 2011	Molecular mechanism of fatty degeneration in rotator cuff muscle with tendon rupture.	Itoigawa Y	整形外科科学講座
401	Eur J Orthop Surg Traumatol 21: 489-492, 2011	Division on the median nerve at the carpal tunnel caused by a high-pressure injection injury of the hand: a case report.	Kanda A	整形外科科学講座
402	J proteomics 75: 1089-98, 2011	Clinical proteomics identified ATP-dependent RNA helicase DDX39 as a novel biomarker to predict poor prognosis of patients with gastrointestinal stromal	Kikuta K	整形外科科学講座
403	Spine 36: E513-8, 2011	Intervertebral Disc Development Is Regulated by Wnt/ $\beta$ -catenin Signaling.	Kondo N	整形外科科学講座
404	J Science and Medicine in Sports 14: 95-99, 2011	Blood flow restriction by low compressive force prevents disuse muscular weakness.	Kubota A	整形外科科学講座
405	Jpn J Clin Oncol 10: 1194-1202, 2011	Pfetin as a prognostic biomarker for gastrointestinal stromal tumor: validation study in multiple clinical facilities.	Kubota D	整形外科科学講座
406	Tissue Cell, 2011	Osteopontin deficiency enhances parathyroid hormone/parathyroid hormone related peptide receptor (PPR) signaling-induced alteration in tooth formation and	Morishita M	整形外科科学講座
407	Journal of Physical Therapy Science 23: 317-322, 2011	Comparison of changes in the transverse abdominal muscle and neighboring fascia in subjects with and without a history of low back pain using ultrasound	Murakami T	整形外科科学講座
408	Proc Natl Acad Sci USA 108: 17767-17772, 2011	Sympathetic control of bone mass regulated by osteopontin.	Nagao M	整形外科科学講座
409	Eur J Orthop Surg Traumatol 21: 281-284, 2011	Traumatic occipito-atlantal dislocation caused by motorcycle accident while wearing a full-face helmet.	Naito K	整形外科科学講座
410	Spine 36: E482-485, 2011	Magnetic resonance imaging evaluation of patients with idiopathic scoliosis: a prospective study of four hundred seventy-two outpatients-	Nakahara D	整形外科科学講座

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
411	Int Orthop 35: 831-838, 2011	Correlations between both the expression levels of inflammatory mediators and growth factor in medial perimeniscal synovial tissue and the severity of medial	Ning L	整形外科科学講座
412	J Bone Miner Res 26: 2682-2694, 2011	Cytoplasmic superoxide causes bone fragility owing to low-turnover osteoporosis and impaired collagen cross-linking.	Nojiri H	整形外科科学講座
413	J Ceramic Society of Japan 119,1386: 101-104, 2011	Behavior of $\beta$ -tricalcium phosphate granules composed of rod-shaped particles in the rat tibia.	Okumura T	整形外科科学講座
414	Orthop Rev (Pavia) 3 (1): e1, 2011	Septic arthritis of the hip in adults with sickle cell anemia.	Poignard A	整形外科科学講座
415	Orthop Rev (Pavia) 3 (1): e2, 2011	Enlarged transacromial superior approach with reverse shoulder arthroplasty for fractures.	Poignard A	整形外科科学講座
416	Biomaterials 32: 2797-2811, 2011	nergistic effects of the dual release of stromal cell-derived factor-1 and bone morphogenetic protein-2 from hydrogels on bone regeneration.	Ratanavaraporn J	整形外科科学講座
417	Hum Pathology 42: 727-733, 2011	A case of secondary malignant giant-cell tumor of bone with p53 mutation after long-term follow-up.	Saito T	整形外科科学講座
418	Pathology Research and Practice 207: 664-669, 2011	A case of de novo secondary malignant giant-cell tumor of bone with loss of heterozygosity of p53 gene that transformed within a short-term follow-up.	Saito T	整形外科科学講座
419	Ann Chir Plast Esthet 56: 512-517, 2011	A trick to improve the technique of the IntraVascular Stent (IVaS): "Clip Stent".	Schohn T	整形外科科学講座
420	Inter J Clin Oncology 16: 727-733, 2011	Proteomic analysis of soft tissue sarcoma.	Suehara Y	整形外科科学講座
421	J Proteomics, 6: 829-842, 2011	Secernin-1 as a novel prognostic biomarker candidate of synovial sarcoma revealed by proteomics.	Suehara Y	整形外科科学講座
422	Surgical Science 2: 228-231, 2011	The surgical treatment and outcome of pathological fracture in patients with giant cell tumor of bone.	Torigoe T	整形外科科学講座
423	J Cancer Therapy 2: 746-751, 2011	Metastatic soft issue tumors.	Torigoe T	整形外科科学講座
424	Experimental and Therapeutic Medicine 2: 245-250, 2011	Evaluation of the effect of oxidative stress on articular cartilage in spontaneously osteoarthritic STR/OrtCrlj mice by measuring the biomarkers for oxidative stress	Watari T	整形外科科学講座
425	Lab Invest 91: 1739-52, 2011	Roles of $\beta$ -catenin signaling in phenotypic expression and proliferation of articular cartilage superficial zone cells.	Yasuhara R	整形外科科学講座
426	順天堂スポーツ健康科学研究2: 161-166, 2011	高校柔道大会の外傷実態調査.	市毛雅之	整形外科科学講座
427	日本整形外科雑誌85: 426-431, 2011	低酸素は骨格筋の脂肪分化に関与する.	糸魚川善昭	整形外科科学講座
428	日本脊椎関節炎学会誌3: 29-34, 2011	我が国の強直性脊椎炎(AS)患者の実態 第3回患者アンケート調査より.	井上 久:	整形外科科学講座
429	整形外科62: 554-558, 2011	初回手術から22年の経過で悪性転化した骨巨細胞腫の1例.	大久保武人	整形外科科学講座
430	骨折 33: 476-480, 2011	内固定の困難な脛骨遠位部骨折に対するLocking Plateを用いた新しいMIPO法.	小川健一	整形外科科学講座
431	整スポ会誌31: 74-78, 2011	足関節捻挫経験者における足関節機能評価. Evaluation of ankle joint function in athletes with previous ankle sprain.	門屋悠香	整形外科科学講座
432	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌36: 234-239, 2011	膝半月板損傷に対する鏡視下縫合術の中期成績.	金澤博明	整形外科科学講座
433	日本人工関節学会誌41: 102-103, 2011	診断後約20年経過観察中に人工指関節・膝関節全置換術を含め複数回の手術を必要とした多中心性細胞網織球症(Multicentric Reticulohistiocytosis)の1例.	金澤博明	整形外科科学講座
434	日本臨床スポーツ医学会誌19: 120-126, 2011	前十字靭帯損傷メカニズムの検討 -下肢アライメントが片脚着地動作と筋活動に及ぼす影響-	金子雅明	整形外科科学講座
435	順天堂スポーツ健康科学研究 3: 53-57, 2011	大学剣道選手の傷害についての基礎的検討.	上岡尚代	整形外科科学講座
436	臨床スポーツ医学28: 431-437, 2011	ラグビーにおける予防の取り組み 肩関節脱臼制動術の後療法を中心に.	川崎隆之	整形外科科学講座
437	総合リハビリテーション39: 831-833, 2011	特集 スポーツ障害のリハビリテーション; 国内外の動向.	久保田光昭	整形外科科学講座
438	日本臨床スポーツ医学会誌19: 10-19, 2011	日本フットサルリーグ所属の選手に対するアンケート調査 -2007年開幕1年目の傷害および環境・意識要因に注目して-	熊崎敏真	整形外科科学講座
439	東日本整災会誌 23: 162-166, 2011	腰椎変性疾患の再手術に対するTLIFの治療成績.	河野 裕	整形外科科学講座

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
440	J Spine Res 2: 1479-1484, 2011	骨粗鬆症性椎体骨折の予後は初期MRI像から予測できるか.	河野 裕	整形外科学講座
441	順天堂医学57: 308-311, 2011	女子サッカー海外遠征帯同時に経験した急性腹症.	齋田良知	整形外科学講座
442	J Spine Res 2: 1333-1337, 2011	内視鏡下椎間板ヘルニア摘出術における術後再発危険因子の検討.	佐久間吉雄	整形外科学講座
443	肩関節35: 291-294, 2011	烏口肩峰アーチの上腕骨頭に対する被覆度は腱板断裂と関連する.	迫間巧将	整形外科学講座
444	山梨医学 39: 90-93, 2011	開放性骨折に対するconversion手術成績の検討.	嶋村之利	整形外科学講座
445	山梨県立中央病院年報 37: 69-71, 2011年	動的足底板が姿勢および歩行に及ぼす影響 動的足底板導入に向けて.	諏訪さちこ	整形外科学講座
446	山梨県立中央病院年報 37: 91, 2011	人工関節置換術症例の深部静脈血栓症検索における可溶性フィブリン(SF)の有用性について(第2報).	千野孔三	整形外科学講座
447	心と社会42, 日本精神衛生会: 117-120, 2011	サッカーとコミュニケーション.	妻木充法	整形外科学講座
448	順天堂医学57: 638-643, 2011	研修医が進路を決める時期 -初期研修修了時のアンケート調査から-.	冨木裕一	整形外科学講座
449	整形外科 62: 316-319, 2011	四肢長管骨骨幹部の転移性骨腫瘍に対して有茎液体窒素処理自家骨(pedicle freezing)を用いた3例.	名倉奈々	整形外科学講座
450	整スポ会誌31: 41-46, 2011	足部内在屈筋の筋カトレーニングについて -筋力・足アーチ・動的検査項目への効果検証-. Strength training for the intrinsic flexor muscle of the foot.	橋本貴幸	整形外科学講座
451	整形外科62: 643-646, 2011	脳動静脈奇形術後に発症した成人両側化膿性股関節炎の1例.	馬場智規	整形外科学講座
452	骨折33: 873-877, 2011	人工股関節置換術における大腿骨ステム周囲骨折の治療経験.	馬場智規	整形外科学講座
453	日本人工関節学会誌44: 626-627, 2011	強直性脊椎炎の人工股関節再置換術.	馬場智規	整形外科学講座
454	Hip Joint 37, 219-223, 2011	人工股関節全置換術後のFDP D-dimer値の推移 -各種予防法の比較-.	前澤克彦	整形外科学講座
455	関東整災誌42: 249-252, 2011	ロッキングコンプレッションプレートおよびチタンテープにて骨接合術を施行した大腿骨ステム周囲再骨折の1例.	武藤 治	整形外科学講座
456	日本臨床スポーツ医学会誌19: 102-107, 2011	腹横筋の収縮による胸腰筋膜の変化 ~筋膜を含めた腹横筋の超音波画像に着目して~.	村上幸士	整形外科学講座
457	順天堂スポーツ健康科学研究2: 171-175, 2011	投球動作における肩関節水平外転動作と投球肩障害の関連について.	村上彰宏	整形外科学講座
458	順天堂スポーツ健康科学研究3: 42-47, 2011	整形外科術後の浮腫・腫脹に対する複合的理学療法の有用性 ~フェルディー式リンパドレナージュ手法を中心に介入~.	森 陵	整形外科学講座
459	J Spine Res 2: 1896-1899, 2011	Lenke type1およびtype2側弯症に対する後方矯正固定術後の肩バランス.	米澤郁穂	整形外科学講座
460	日本運動障害研究会機関誌21: 15-21, 2011	痙性対麻痺の歩行障害に振動刺激が有効であった Neuromyelitis Opticaの一例.	林 欣寛	整形外科学講座
461	山梨医学 39: 94-96, 2011	臼蓋再建プレートを用いた人工股関節再置換術の治療成績.	分島智子	整形外科学講座
462	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. Mar 30;35(2):636-9.	Association study between Disrupted-in-Schizophrenia-1 (DISC1) and Japanese patients with treatment-resistant schizophrenia (TRS).	Hotta Y	精神医学講座
463	J Affect Disord. Dec;135(1-3):332-5.	Correlations between brain-derived neurotrophic factor and clinical symptoms in medicated patients with major depression.	Satomura E	精神医学講座
464	Psychogeriatrics. Mar;11(1):34-9.	Effect of Rikkunshi-to on appetite loss found in elderly dementia patients: a preliminary study.	Utumi Y	精神医学講座
465	Neuropsychobiology. 2011;64(4):231-8. Epub 2011 Sep 9.	Event-related potential study of illusory contour perception in schizophrenia.	Ikeda C	精神医学講座
466	Int J Alzheimers Dis. 2011;762471. Epub 2011 Jul 14.	Genetic Association between Akt1 Polymorphisms and Alzheimer's Disease in a Japanese Population.	Shibata N	精神医学講座
467	Psychogeriatrics. Mar;11(1):14-8.	Genetic association between clusterin polymorphisms and Alzheimer's disease in a Japanese population.	Komatsu M	精神医学講座
468	Dement Geriatr Cogn Disord. 2011;32(3):178-81.	Genetic association between ghrelin polymorphisms and Alzheimer's disease in a Japanese population.	Shibata N	精神医学講座

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
469	J Neuropathol Exp Neurol. Apr;70(4):264-80.	Localization of MAP1-LC3 in vulnerable neurons and Lewy bodies in brains of patients with dementia with Lewy bodies.	Higashi S	精神医学講座
470	Schizophr Res. 2011 May;128(1-3):127-35. Epub 2011 Mar 21.	Difference in early prediction of antipsychotic non-response between risperidone and olanzapine in the treatment of acute-phase schizophrenia.	Hatta K	精神医学講座
471	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. 2011 Dec 1;35(8):1965-8. Epub 2011 Aug	No genetic association between SLC7A10 and Japanese patients with schizophrenia.	Takebayashi Y	精神医学講座
472	Psychogeriatrics. 2011 Dec;11(4):244-6.	Recurrent cholecystitis in an elderly mentally retarded patient with pica.	Miyakawa K	精神医学講座
473	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. Jan 15;35(1):29-39.	Significance of NMDA receptor-related glutamatergic amino acid levels in peripheral blood of patients with schizophrenia.	Ohnuma T	精神医学講座
474	Psychosomatics. 2011 Sep-Oct;52(5):486-7.	Vitamin K deficiency due to prolongation of antibiotic treatment and decrease in food intake in a catatonia patient.	Nomoto H	精神医学講座
475	Neuropsychiatr Dis Treat. 2011;7:723-8. Epub 2011 Dec 14.	Rapid improvement of depressive symptoms in suicide attempters following treatment with milnacipran and tricyclic antidepressants - a case series.	Kirino E	精神医学講座
476	J Clin Psychiatry. 2012 Jan;73(1):115-20. Epub 2011 Nov 15.	Metabolism of amyloid- $\beta$ protein may be affected in depression.	Baba H	精神医学講座
477	Psychogeriatrics. 2011 Mar;11(1):14-8.	Genetic association between ghrelin polymorphisms and Alzheimer's disease in a Japanese population.	Shibata N	精神医学講座
478	Neuropsychobiology. 2011;64(4):231-8.	Event-related potential study of illusory contour perception in schizophrenia.	Ikeda C	精神医学講座
479	Psychosomatics. Sep-Oct;52(5):486-7.	Vitamin K deficiency due to prolongation of antibiotic treatment and decrease in food intake in a catatonia patient.	Nomoto H	精神医学講座
480	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. 2011 Aug 15;35(7):1704-8. Epub 2011 May	Improvements in both psychosis and motor signs in Parkinson's disease, and changes in regional cerebral blood flow after electroconvulsive therapy.	Usui C	精神医学講座
481	Mod Rheumatol. 2012 Feb;22(1):40-4. Epub 2011 May 10.	The Japanese version of the 2010 American College of Rheumatology Preliminary Diagnostic Criteria for Fibromyalgia and the Fibromyalgia Symptom Scale.	Usui C	精神医学講座
482	臨床精神薬理. 2011. Vol.14, No.2, Page.275-281.	Risperidone持効性注射剤の有効性に差異をみたアドヒアランス不良の統合失調症の2症例	竹林佑人	精神医学講座
483	精神医学. 2011. 53巻9号 Page845-853.	レビー小体型認知症患者の幻視に対する心理的介入の有用性--2症例での検討(原著論文/症例報告)	太田一実	精神医学講座
484	国内外の精神科医療における疾病分類に関する研究 平成20-22年度 総合研究報告	国内外の精神科医療における疾病分類に関する研究-F0領域における検討-[原著]	新井平伊	精神医学講座
485	月刊精神科. 2011. Vol.19, No.3, Page.319-32.	前頭葉萎縮を伴う緊張病候群を呈した1症例-診断学的検討:遅発緊張病の観点から-	内海雄思	精神医学講座
486	精神医学. 2011. 53(11) 1093-1101.	統合失調症圏と感情障害圏の外來患者における自殺の特徴と比較(原著論文)	内海雄思	精神医学講座
487	精神医学. 2011. 53(1) 7-13.	特発性レム睡眠行動障害の長期経過の後に場所依存性に幻視が出現したレビー小体型認知症の1例(原著論文/症例報告)	藤城弘樹	精神医学講座
488	新薬と臨床. 2011. 60巻4号. Page794-797.	認知症の行動的・心理的症候のハロペリドールデカン酸エステルによる治療 非精神科病棟において経口薬服用を拒否した症例(Treatment of Behavioral and	Kumagai Ryo	精神医学講座
489	精神医学. 2011. 53(1) 43-48.	変性性認知症の一般的な知名度・理解度 大学生を対象にした調査(原著論文)	村山憲男	精神医学講座
490	Internal Medicine (In Press)	High Body Mass Index is an Important Risk Factor of Developing Type 2 Diabetes.	Sanada H	総合診療科学
491	J Atheroscler Thromb (In pres)	The associations between healthy lifestyle behaviors and proteinuria and the estimated glomerular filtration rate (eGFR)	Fujibayashi K	総合診療科学
492	Internal Medicine 50:1149-1156, 2011.	Achievement status toward goal blood pressure levels and healthy lifestyles among Japanese hypertensive patients; Cross sectional survey results from Fukushima Research of Hypertension (FRESH).	Yokokawa H	総合診療科学
493	Hepato Res. 41:641-646, 2011	Risk factors associated with relapse of type 1 autoimmune hepatitis in Japan.	Yokokawa J	総合診療科学
494	J Atheroscler Thromb 18:89-98, 2011	Serum low-density lipoprotein to high-density lipoprotein ratio as a predictor of future acute myocardial infarction among men in a 2.7-year cohort study of a Japanese northern rural population.	Yokokawa H	総合診療科学
495	Internal medicine 50: 713-717, 2011	Use of selective serotonin reuptake inhibitors and upper gastrointestinal disease	Tomoko Itatsu	総合診療科学
496	General Med 12: 79-83, 2011	A case of <i>Paragonimus westermani</i> infection diagnosed by serological test.	Inui A	総合診療科学
497	J Med Case Reports 5: 356-359, 2011	Infective endocarditis with <i>Lactococcus garvisae</i> in Japan: a case report.	Watanabe Y	総合診療科学

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
498	Health 3: 300-303, 2011	The efficacy of ma-huang-tang (maoto) against	Saita M	総合診療科学
499	J UOEH(産業医大誌),2011; 33(1):23-34	Effect of a Group Health Education Program in the Workplace at the Age of 35: A Population Approach	Norihide Nishinoue	総合診療科学
500	Modern Rheumatology, 2011; 21:43-50	Antineutrophil cytoplasmic antibodies against myeloperoxidase, proteinase-3, elastase, cathepsin G and lactoferrin in Japanese patients with rheumatoid	Issei Kida	総合診療科学
501	Mod Rheumatol. 2011 Dec 29 [Epub ahead of print]	A multicenter, open-label, efficacy, pharmacokinetic, and safety study of adalimumab in Japanese patients with ankylosing spondylitis.	Kobayashi S	総合診療科学
502	Adv Otorhinolaryngol. 2011;72:79-82. Epub 2011 Aug 18.	Reactive arthritis induced by tonsillitis: a type of 'focal infection'.	Kobayashi S	総合診療科学
503	Mod Rheumatol. 2011 Feb;21(1):43-50. Epub 2010 Sep 28.	Antineutrophil cytoplasmic antibodies against myeloperoxidase, proteinase 3, elastase, cathepsin G and lactoferrin in Japanese patients with rheumatoid	Kida I	総合診療科学
504	Mod Rheumatol 2011 2154-65.	Clinicoepidemiological manifestations of RPGN and ANCA-associated vasculitides: an 11-year retrospective hospital-based study in Japan.	Suzuki Y	総合診療科学
505	Rheumatology 2011 50: 1916-20	Comparison of the epidemiology of anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis between Japan and the U.K	Fujimoto S	総合診療科学
506	Clin Nucl Med 2011;36(2):121-3.	F-18 FDP PET/CT provides the earliest findings of enthesitis in reactive arthritis	Taniguchi Y	総合診療科学
507	J Clin Invest 2011; 121(7): 2583-2598.	The LRF transcription factor regulates mature B cell development and the germinal center response in mice.	Nagisa Sakurai	総合診療科学
508	Journal of Infection and Chemotherapy,2012;18:17-21	Correlation between HIV disease and lipid metabolism in antiretroviral-naïve HIV-infected patients in Japan	Fukuko Oka	総合診療科学
509	日本老年医学会雑誌,2011;48(3):282-288	高齢者肺炎死亡症例の臨床的検討	池田啓浩	総合診療科学
510	順天堂医学, 2011, 57巻(1号): 38-42	入院後に診断された活動性結核40症例の検討:急性期高齢者専門病院よりの報告	岩瀬彰彦	総合診療科学
511	日本病院総合診療医学会誌 1: 36-37, 2011	インフルエンザに対する麻糞湯無作為化投与試験の報告	斎田瑞恵	総合診療科学
512	日本臨床内科医会誌 26(3): 348-348, 2011.	III-7 MHLW Respiratory Virus Cartridge(RVNATSP)を用いたインフルエンザ感染症診断検査の臨床的有用性の検討	朴宗晋	総合診療科学
513	診断と治療,2011; 99(2):381-385	HbA1cによる糖尿病新診断基準と血糖による糖尿病旧診断基準との関係について	藤林和俊	総合診療科学
514	順天堂大学医療看護学部医療看護研究,2011; 7(1): 1-9	派遣労働者の労働災害発生状況の推移について	渡部幹夫	総合診療科学
515	順天堂医学, 2011, 57(3):251-256	順天堂医院総合診療科入院患者における鼻腔内メチリン耐性コアグラールゼ陰性ブドウ球菌検出率についての分析	鈴木麻衣	総合診療科学
516	日本脊椎関節炎学会誌3巻1号 Page51-56(2011.09)	脊椎関節炎の疾患活動性モニタリングにおけるFDG-PET/CT有用性の検討	有井薫	総合診療科学
517	Pharma Medica(0289-5803)29巻 12号 Page159-165(2011.12)	順天堂大学医学部附属病院6施設におけるトシリズマブ投与例のレトロスペクティブ解析	小笠原倫大	総合診療科学
518	日本脊椎関節炎学会誌3巻1号 Page43-49(2011.09)	若年発症および高齢発症脊椎関節炎の臨床的特徴の検討	谷口義典	総合診療科学
519	日本脊椎関節炎学会誌3巻1号 Page51-56(2011.09)	脊椎関節炎の疾患活動性モニタリングにおけるFDG-PET/CT有用性の検討	有井薫	総合診療科学
520	日本脊椎関節炎学会誌3巻1号 Page35-41(2011.09)	強直性脊椎炎における骨リモデリング	田村直人	総合診療科学
521	日本脊椎関節炎学会誌3巻1号 Page17-20(2011.09)	扁桃炎に伴う反応性関節炎と扁桃摘出術の効果	小林茂人	総合診療科学
522	Acta Diabetol, 2011;48:15-20	Efficacy of combined use of miglitol in Type 2 diabetes patients receiving insulin therapy-placebo-controlled double-blind comparative study.	Nemoto M	代謝内分科学講座
523	Am J Hypertens, 2011;25:165-170	Masked hypertension, endothelial dysfunction, and arterial stiffness in type 2 diabetes mellitus: a pilot study.	Takeno K	代謝内分科学講座
524	Biochem Biophys Res Commun, 2011;405:79-84	Exendin-4, a glucagon-like peptide-1 receptor agonist, reduces intimal thickening after vascular injury.	Goto H	代謝内分科学講座
525	Biochem Biophys Res Commun, 2011;415:545-550	IRS-2 deficiency in macrophages promotes their accumulation in the vascular wall.	Mita T	代謝内分科学講座
526	Clin Exp Nephrol, 2011;15:64-72	Effects of renal dysfunction on cardiovascular events in diabetic patients with hypertension: challenge-DM Study subgroup analysis.	Umamura S	代謝内分科学講座
527	Clin Ther, 2011;33:973-989	Pharmacokinetic, pharmacodynamic, and tolerability profiles of the dipeptidyl peptidase-4 inhibitor linagliptin: a 4-week multicenter, randomized, double-blind,	Horie Y	代謝内分科学講座

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
528	Diabetes Care, 2011;35:178-180	Combination of framingham risk score and carotid intima-media thickness improves the prediction of cardiovascular events in patients with type 2 diabetes.	Yoshida M	代謝内分泌学講座
529	Diabetes Care, 2011;34:596-597	Glucose monitoring after fruit peeling: pseudohyperglycemia when neglecting hand washing before fingertip blood sampling; wash your hands with	Hirose T	代謝内分泌学講座
530	Diabetes Obes Metab, 2011;8 DEC 2011:1-31	Linagliptin monotherapy provides superior glycaemic control versus placebo or voglibose with comparable safety in Japanese patients with type 2 diabetes: a	Kawamori R	代謝内分泌学講座
531	Diabetes Res Clin Pract, 2011;94:57-60	Transforming growth factor beta1 T868C gene polymorphism is associated with cerebral infarction in Japanese patients with type 2 diabetes.	Katakami N	代謝内分泌学講座
532	Diabetes Res Clin Pract, 2011;92:57-60	Aldose reductase C-106T gene polymorphism is associated with diabetic retinopathy in Japanese patients with type 2 diabetes.	Katakami N	代謝内分泌学講座
533	Diabetologia, 2011;54:3071-3077	Genetic variants at CDC123/CAMK1D and SPRY2 are associated with susceptibility to type 2 diabetes in the Japanese population.	Imamura M	代謝内分泌学講座
534	Diabetologia, 2011;54:1921-1929	Repetitive hypoglycaemia increases serum adrenaline and induces monocyte adhesion to the endothelium in rat thoracic aorta.	Jin WL	代謝内分泌学講座
535	Journal of Diabetes Investigation, 2011;3:302-308	Efficacy and Safety of repaglinide vs nateglinide for treatment of Japanese patients with type 2 diabetes mellitus.	Kawamori R	代謝内分泌学講座
536	Journal of Diabetes Investigation, 2011;2:310-317	Determinants of intramyocellular lipid accumulation after dietary fat loading in non-obese men.	Sakurai Y	代謝内分泌学講座
537	Journal of Diabetes Investigation, 2011;2:356-358	Association of T2 relaxation time determined by magnetic resonance imaging and intramyocellular lipid content of the soleus muscle in healthy subjects.	Sakurai Y	代謝内分泌学講座
538	Journal of Diabetes Investigation, 2011;2:132-139	Superiority of duloxetine to placebo in improving diabetic neuropathic pain: Results of a randomized controlled trial in Japan.	Yasuda H	代謝内分泌学講座
539	Journal of Diabetes Investigation, 2011;2:56-62	Efficacy of pioglitazone on glycaemic control and carotid intima-media thickness in type 2 diabetes patients with inadequate insulin therapy.	Yasunari E	代謝内分泌学講座
540	Journal of Diabetes Investigation, 2011;2:490-496	Comparison of effects of azelnidipine and trichlormethiazide in combination with olmesartan on blood pressure and metabolic parameters in	Yoshii H	代謝内分泌学講座
541	Nat Chem Biol, 2011;8:170-178	Primary amines protect against retinal degeneration in mouse models of retinopathies.	Maeda A	代謝内分泌学講座
542	PLoS ONE, 2011;6:e26911	Association of new loci identified in European genome-wide association studies with susceptibility to type 2 diabetes in the Japanese.	Ohshige T	代謝内分泌学講座
543	PLoS ONE, 2011;6:e20467	Increased Systemic Glucose Tolerance with Increased Muscle Glucose Uptake in Transgenic Mice Overexpressing RXRgamma in Skeletal Muscle.	Sugita S	代謝内分泌学講座
544	Biomed Res Trace Elements, 2011;22:76	膵β細胞から分泌された亜鉛がインスリン分泌と肝臓でのインスリンクリアランスを制御する: Slc30a8/ZnT8欠損マウスを用いた解析。	藤谷与士夫	代謝内分泌学講座
545	糖尿病, 2011;54:344-348	2型糖尿病の強化インスリン療法におけるNPHインスリンからインスリンデテムルへの切り替え効果 18ヵ月間の長期観察の検討。	佐藤淳子	代謝内分泌学講座
546	日本内分泌学会雑誌, 2011;87:279	膵β細胞における遊離脂肪酸誘導性オートファジーのメカニズム解析。	小宮幸次	代謝内分泌学講座
547	日本内分泌学会雑誌, 2011;87:280	膵β細胞特異的ZnT8ノックアウトマウスでは、膵からのインスリン分泌が亢進しているにもかかわらず、末梢血中のインスリン濃度は低く、耐糖能が悪化する。	田壽基行	代謝内分泌学講座
548	日本内分泌学会雑誌, 2011;87:279	妊娠期の膵β細胞増殖とセロトニン。	豊福優希子	代謝内分泌学講座
549	日本内分泌学会雑誌, 2011, 87: 545	急激な腫瘍増大が疑われた亜急性甲状腺炎合併甲状腺微小乳頭癌の1例	榊澤政広	代謝内分泌学講座
550	日本内分泌学会雑誌, 2011, 87: 528	緩徐進行性1型糖尿病を発症した、Basedow病再燃の1例	祢津昌広	代謝内分泌学講座
551	Eur J Neurosci, 2011; 34: 1189-1199	Applying independent component analysis to detect silent speech in magnetic resonance imaging signals	Abe K	脳神経外科学講座
552	Neuro Med Chir (Tokyo), 2011; 51: 140-143	Possible neuro-Sweet disease mimicking brain tumor in the medulla oblongata	Akiba C	脳神経外科学講座
553	Childs Nerv Syst, 2011; 27: 1011-1014	Traumatic pseudoaneurysm arising from the anterior superficial temporal in a infant-case report	Hasegawa H	脳神経外科学講座
554	Acta Radiol, 2011; 8. [Epub ahead of print]	Utility of time-resolved three-dimensional magnetic resonance digital subtraction angiography without contrast material for assessment of intracranial dural	Hori M	脳神経外科学講座
555	J Craniofac Surg, 2011; 22: 269-272	Whole cranial vault expansion by continual occipital and fronto-orbital distraction in syndromic craniosynostosis	Komuro Y	脳神経外科学講座
556	Minim Invasive Neurosurg, 2011; 54: 207-213	Individualized pterional keyhole clipping surgery based on preoperative three-dimensional virtual osteostomy technique for unruptured middle cerebral artery	Mori K	脳神経外科学講座

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
557	J Neurosurg, 2011; 114: 1168—1175	Optimal cerebrospinal fluid magnesium ion concentration for vasodilatory effect and duration after intracisternal injection of magnesium sulfate solution in	Mori K	脳神経外科学講座
558	Neurol Med Chir (Tokyo), 2011; 51: 93—96	Surgical simulation of cerebral revascularization via skull base approaches in the posterior circulation using three-dimensional skull model with artificial brain and	Mori K	脳神経外科学講座
559	Acta Neurochir, 2011; 153: 1339—1346	Leucine-rich alpha-2-glycoprotein is a marker for idiopathic normal pressure hydrocephalus	Nakajima M	脳神経外科学講座
560	Internal Medicine, 2011; 50: 1227—1233	Reversible cerebral vasoconstriction syndrome presenting as subarachnoid hemorrhage, reversible posterior leukoencephalopathy, and cerebral infarct	Noda K	脳神経外科学講座
561	Journal of Neurotrauma 27: 1255—1263, 2010	Temporal and spatial profile of phosphorylated connexin43 after traumatic brain injury	Ohsumi A	脳神経外科学講座
562	Neurol Med Chir (Tokyo), 2011; 51: 784—788	Unexpected intraparenchymal hematoma caused by brain metastasis in a patient with neuroblastoma—case report	Okura H	脳神経外科学講座
563	Neuroscience & Medicine, 2011; 2	Mitogen-activated protein kinase pathways following traumatic brain injury	Otani N	脳神経外科学講座
564	Parkinsonism Relat Disord, 2011; 17: 189—193	Acute effects of bilateral subthalamic stimulation on decision-making in Parkinson's disease	Oyama G	脳神経外科学講座
565	Am J Otolaryngol, 2011; in press	Carotid cavernous sinus fistula caused by dental implant-associated infection	Shimizu Y	脳神経外科学講座
566	J Cereb Blood Flow Metab, 2011; 31: 1696—705	Exendin-4, a glucagon-like peptide-1 receptor agonist, provides neuroprotection in mice transient focal cerebral ischemia	Teramoto S	脳神経外科学講座
567	Neurosurgery, 2011; 68 (1 Suppl Operative): 250—253	Large aneurysm in a nonbifurcating cervical carotid artery: an aneurysm associated with a rare anomaly treated with radial artery graft bypass: case report	Tokugawa J	脳神経外科学講座
568	Journal of Neurotrauma, 2011; 28: 237—243	Effect of decompressive craniectomy on aquaporin-4 expression after lateral fluid percussion injury in rats	Tomura S	脳神経外科学講座
569	Childs Nerv Syst, 2011; 27: 2057—2066	The Virchow-robin spaces, delineation by magnetic resonance imaging with considerations on anatomofunctional implications	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
570	No Shinkei Geka, 2011; 39: 669—674	A case of intramedullary spinal cord metastasis from breast carcinoma	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
571	No Shinkei Geka, 2011; 39: 163—168	A case of calvarial fibros dysplasia presenting with cyst degeneration	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
572	Childs Nerv Syst, 2011; 27: 1045—1051	Idiopathic intervertebral disk calcification in childhood—A case report and review of literature	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
573	Neurosurgical Emergency 15: 189—193, 2010	Unusually dilated Virchow-Robin spaces	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
574	Neurosurg Emerg, 2011; 16: 151—154	Glioblastoma multiforme associated with recurrent intracerebral hemorrhage	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
575	Journal of Neuroendovascular Therapy, 2011; 5: 15—22	Clinical and angiographic effects of endovascular coil embolization of very small intracranial aneurysms	Yamamoto M	脳神経外科学講座
576	防衛医科大学校雑誌, 2011; 36: 132—133	当院における広範囲脳梗塞の減圧開頭術の治療成績	井中康史	脳神経外科学講座
577	Geriatric Neurosurgery 24, in press	高齢者の腰部脊髄管狭窄症に対する片側進入顕微鏡下開窓術: 80歳以上の手術成績	屋田 修	脳神経外科学講座
578	第12回日本正常圧水頭症研究会記録集, 2011; 17	特発性正常圧水頭症シャント術後の短中期経過観察 (ガイドライン以降)	屋田 修	脳神経外科学講座
579	機能的脳神経外科, 2011; 50: 82—83	パーキンソン病の脳深部刺激療法後hypersexualityが出現した患者に対する看護介入の一考察	落合聖乃	脳神経外科学講座
580	脳神経外科ジャーナル, 2011; 20: 278—288	脳神経外科領域における医療訴訟の解析	桑原博道	脳神経外科学講座
581	神経外傷 33: 127—132, 2010	神経外傷と医療訴訟	島 克司	脳神経外科学講座
582	Neurosurgical Emergency, 2011; 16: 91—96	日本の脳神経外科救急医療の現状と診療ガイドラインおよびPNLSの必要性	島 克司	脳神経外科学講座
583	未病と抗老化 (Pre Symptomatic Medicine and Anti Aging), 2011; 20: 39—42	認知症疾患に対する髄液シャントがもたらすアミロイドβオリゴマーのクリアランス効果についての検討	中島 円	脳神経外科学講座
584	機能的脳神経外科, 2011; 50: 72—73	αシヌクレイン遺伝子重複をもつ家族性パーキンソン病に対する脳深部刺激療法の適応	中島 円	脳神経外科学講座
585	Neurotraumatology 33: 79—82, 2010	感染性硬膜下血腫の1乳児例	堤佐斗志	脳神経外科学講座

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
586	脳神経外科ジャーナル, 2011; 20: 524-530	削開可能な頭蓋底骨モデルを用いた頭蓋底外科手術練習用モデルの作製方法	森健太郎	脳神経外科学講座
587	脳卒中の外科, 2011; 39: 89-95	Tailor-made keyhole clipping術による安全な未破裂脳動脈瘤の治療	森健太郎	脳神経外科学講座
588	脳神経外科ジャーナル, 2011; 20	経上眼窩裂硬膜外前床突起切除術-3次元立体頭蓋底モデルを用いた解説を中心に-	森健太郎	脳神経外科学講座
589	Geriatric Neurosurgery, 2011; 23: 105-109	後期高齢者頸椎症に対する頸椎前方手術の臨床的検討	安本幸正	脳神経外科学講座
590	脳神経外科ジャーナル, 2011; 20: 734-740	被核出血における機能予後改善を目指す内視鏡下血腫除去術	山本拓史	脳神経外科学講座
591	J Dermatol Sci, 2011; 61:136-138	New insight into genotype / phenotype correlations in ABCA12 mutations in harlequin ichthyosis.	Umemoto H	皮膚科学講座
592	J Dermatol Sci, 2011; 61: 142-144	A neuroendocrine antimicrobial peptide, catestatin, stimulates interleukin-8 production from human keratinocytes via activation of mitogen-activated	Aung G	皮膚科学講座
593	J Dermatol, 2011; 38: 151-154	Langerhans cell histiocytosis treated with narrow-band ultraviolet B.	Aihara M	皮膚科学講座
594	J Dermatol Sci, 2011; 62: 64-71	Topical application of emollients prevents dry skin-induced intraepidermal nerve growth in acetone-treated mice.	Kamo A	皮膚科学講座
595	J Dermatol, 2011; 38: 321-334	Long-Term study of infliximab in Japanese patients with plaque psoriasis, psoriatic arthritis, pustular psoriasis and psoriatic erythroderma.	Torii H	皮膚科学講座
596	J Dermatol Sci, 2011; 62: 91-97	Inhibitory effects of UV-based therapy on dry skin-inducible nerve growth in acetone-treated mice.	Kamo A	皮膚科学講座
597	J Deamatol Sci, 2011; 62: 131-134	Viral infection induces Thymic stromal lymphopoietin (TSLP) in human keratinocytes.	Kawasaki J	皮膚科学講座
598	J Deamatol Sci, 2011; 62: 64-66	Topical application of emollients prevents dry skin-inducible intraepidermal nerve growth in acetone-treated mice.	Kamo A	皮膚科学講座
599	J Deamatol Sci, 2011; 63: 128-131	Elafin and secretory leukocyte protease inhibitor stimulate the production of cytokines and chemokines by human keratinocytes via MARK/ERK and NF-KB	Aung G	皮膚科学講座
600	J Dermatol, 2011; 38: 607-609	Pityriasis rosea showing unilateral localization.	Osawa A	皮膚科学講座
601	J Deamatol Sci, 2011; 64: 108-118	Human catestatin enhances migration and proliferation of normal human epidermal keratinocytes.	Hog	皮膚科学講座
602	J Invest Dermatol, 2011; 131: 2105-2112	Matrix Metalloproteinase-8 Is Involved in Dermal Nerve Growth: Implications for Possible Application to Pruritus from In Vitro Models.	Tominaga M	皮膚科学講座
603	Arch Dermatol Res, 2011; 303: 659-667	Ameliorating effect of Yokukansan on the development of atopic dermatitis-like lesions and scratching behavior in socially isolated NC/Nga mice.	Funakushi N	皮膚科学講座
604	J Invest Dermatol, 2011; 131: 2205-2212	Extracellular Double-Stranded RNA Induces TSLP via an Endosomal Acidification- and NF-kB-Dependent Pathway in Human Keratinocytes.	Vu Anh T	皮膚科学講座
605	J Dermatol, 2011; 38: 1130-1134	Granulocyte and monocyte adsorption apheresis for generalized pustular psoriasis.	Shukuya R	皮膚科学講座
606	Biochem Biophys Res Commun, 2011; 412: 626-632	A novel splicing variant of CADM2 as a protective transcript of psoriasis.	Hiruma A	皮膚科学講座
607	Arch Dermatol, 2011; 147: 1167-1170	Use of sun-protective items by Japanese pedestrians: a cross-sectional observational study.	Ng W	皮膚科学講座
608	Acta Derm Venereol, 2011; 91: 387-391	Standardized, defined serum-free culture of a human skin equivalent on fibroblast-populated collagen scaffold.	Ng W	皮膚科学講座
609	Immunology, 2011; 132: 527-539	Catestatin, a neuroendocrine antimicrobial peptide, induces human mast cell migration, degranulation and production of cytokines and chemokines.	Aung G	皮膚科学講座
610	Int Arch Allergy Immunol, 2011; 155: 31-37	Flagellin induces the expression of thymic stromal lymphopoietin in human keratinocytes via toll-like receptor 5.	Le TA	皮膚科学講座
611	臨床皮膚科, 2011; 65(3): 269-273	キチマダニ刺咬症の1例	木村有太子	皮膚科学講座
612	皮膚科の臨床, 2011; 53: 670-671	手掌に生じた神経鞘粘腫の1例	服部真理子	皮膚科学講座
613	皮膚科の臨床, 2011; 53: 166-167	Plantar Fibromatosisの1例	飯田秀雄	皮膚科学講座
614	Medial Mycolgy Journal, 2011; 139-144	最近3年間に熊本の一診療所で経験された <i>Microsporum oains</i> 感染症25例の集計	榮仁子	皮膚科学講座



(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
615	Skin Cancer, 2011; No1:11-14	肛門部悪性黒色腫の1例	紺田衣里	皮膚科学講座
616	Visual Dermatology, 2011;10: 836-837	エキシマライト療法で著効がみられた円形脱毛症の2例	大月亜希子	皮膚科学講座
617	Visual Dermatology, 2011;10: 852-854	エキシマライト療法で改善した足部のPrimary cutaneous anaplastic large cell lymphoma (PALCL)	平澤祐輔	皮膚科学講座
618	皮膚病診療, 2011;33:925-928	腹部に生じた面皰母斑	古澤杏子	皮膚科学講座
619	皮膚病診療, 2011;949-952	左下眼瞼に生じたlinear basal cell carcinoma	市之川悠子	皮膚科学講座
620	漢方と免疫・アレルギー-24 THE29th Association of Kanpo and Immuno-allergy, 2011;26-	社会的ストレス飼育下でのNG/Ngaマウスに対する抑肝散の効果	舟串直子	皮膚科学講座
621	Aesthetic Dermatology, 2011; 21: 248-258	顔面の乾燥症状に対する低分子量ヒアルロン酸ナトリウム配合パッチ剤、およびパウダー剤の効果	根木治	皮膚科学講座
622	西日本皮膚, 2011;73 6(号): 573-580	難治性の尋常性天疱瘡に対する $\gamma$ -グロブリン大量静注療法の使用経験	奥村和子	皮膚科学講座
623	診療と新薬, 2011;vol 48 No10: 51-55	グリチルレチン酸含有軟膏の顔面皮膚炎に対する使用経験	山田裕道	皮膚科学講座
624	Health, 2011; 3(7): 432-436	The effect of mild-pressure hyperbaric therapy (Oasis O2) on fatigue and oxidative stress	Sungdo Kim	病院管理学研究室
625	Health, 2011; 3(7): 437-443	Effect of enpishin (press tack acupuncture needles) on autonomic function, WBC count and oxidative stress	Mitsunori Tsumaki	病院管理学研究室
626	Clinical Journal of sport medicine, 2011; 21(4):362-4	Premature osteoarthritis of the hip in unicyclists: two case reports.	Tomonori Baba	病院管理学研究室
627	Arch Dermatol Res, 2011; 303:659-667	Ameliorating effect of Yokukansan on the development of atopic dermatitis-like lesions and scratching behavior in socially isolated NG/Nga mice	Naoko Funakushi	病院管理学研究室
628	Health, 2011; 3: 300-303	The efficacy of ma-huang-tang (maoto) against influenza	Saita M	病院管理学研究室
629	European Journal of Pain, 2011; 15:1035-1039	Antinociceptive effect of paeoniflorin via spinal $\alpha 2$ -adrenoceptor activation in diabetic mice.	Lee K	病院管理学研究室
630	Health, 2011; 3: 93-98	Assessment of the effectiveness of standardized infusion devices for healthcare management.	Sugita S	病院管理学研究室
631	Health, 2011; 3: 304-311	Endogenous prostaglandin D2 synthesis inhibits e-selectin generation in human umbilical vein endothelial cells.	Negoro H	病院管理学研究室
632	Sportology, 2011; 1: 206-211	Effect of dynamic balance training using the caster boards on postural control in female university students.	Saga N	病院管理学研究室
633	順天堂医学, 2011, 57, 144-150	アミノ酸ダブルバッグ製剤の未開通防止装置の有用性に関する研究	會田 秀子	病院管理学研究室
634	順天堂医学, 2011; 57: 243-250	両頭針付き2ポート型ハーフキット生理食塩液の点滴調製作業時の利便性と無菌性に関する検証	李澤康雄	病院管理学研究室
635	順天堂医学, 2011; 57: 31-37	インシデントレポートの電子化による効果の検討	河畑力生	病院管理学研究室
636	脳外誌, 2011; 20: 278-288	脳神経外科領域における医療訴訟の解析	桑原博道	病院管理学研究室
637	Medical Sciences. in press, Jul 2011	Influence of image distortion due to nonlinearities of gradient fields on brain volumetry using voxel-based morphometry	Goto M	放射線医学講座
638	Radiol Phys Technol. 2011;4:185-8.	Accelerated hippocampal volume reduction in postmenopausal women: an additional study with Atlas-based method	Goto M	放射線医学講座
639	Korean Journal of Radiology. in press, Nov 2011.	Influence of signal intensity non-uniformity on brain volumetry using an atlas-based method.	Goto M	放射線医学講座
640	Neuroradiology. 2011;53:617-22.	Entorhinal cortex volume measured with 3T MRI is positively correlated with the Wechsler Memory Scale-Revised logical/verbal memory score for healthy	Goto M	放射線医学講座
641	J Digit Imaging 2011.	Repeatability of Measured Brain Volume by Atlas-Based Method Using T1-Weighted Image.	Goto M	放射線医学講座
642	Hum Brain Mapp Epub 2011 Apr 14.	Cognitive status correlates with white matter alteration in Parkinson's disease.	Hattori T	放射線医学講座
643	J Magn Reson Imaging 2011;33:803-807.	Posterior hypoperfusion in parkinson's disease With and without dementia measured with arterial spin labeling MRI.	Kamagata K	放射線医学講座

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
644	Hum Brain Mapp. 2011;32:1762-73.	Gray and white matter asymmetries in healthy individuals aged 21-29 years: a voxel-based morphometry and diffusion tensor imaging study.	Takao H	放射線医学講座
645	AJNR Am J Neuroradiol 2011 e-pub.2011,Nov.	Different Patterns of Fornix Damage in Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus and Alzheimer Disease	Hattori T	放射線医学講座
646	AJNR American Journal of Neuroradiology 2011; 32: 1681-1687	Altered Microstructure in Corticospinal Tract in Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus: Comparison with Alzheimer Disease and Parkinson Disease with	Hattori T	放射線医学講座
647	Acta Radiol 2011; 52: 808-12	Utility of time-resolved three-dimensional magnetic resonance digital subtraction angiography without contrast material for assessment of intracranial dural	Hori M	放射線医学講座
648	International journal of radiation oncology biology physics. 2011,Oct	Integration of Corticospinal Tractography Reduces Motor Complications After Radiosurgery	Koga T	放射線医学講座
649	Neurogenetics. 2011;12:259-61	Adult-onset leukoencephalopathies with vanishing white matter with novel missense mutations in EIF2B2, EIF2B3, and EIF2B5	Matsukawa T	放射線医学講座
650	British Journal of Neurosurgery 2011;25:197-202	Refined analysis of complex language representations by non-invasive neuroimaging techniques	Ota T	放射線医学講座
651	Acad Radiol. 2011;18:837-41.	A Comparison of Mean Displacement Values Using High b-Value Q-Space Diffusion-weighted MRI with Conventional Apparent Diffusion Coefficients in	Hori M	放射線医学講座
652	J Neuroimaging. 2011 Mar 29. doi: 10.1111/j.1552-6569.2011.00596.x. [Epub ahead	High b-Value q-Space Analyzed Diffusion-Weighted MRI Using 1.5 Tesla Clinical Scanner; Determination of Displacement Parameters in the Brains of Normal	Fatima Z	放射線医学講座
653	Acta Radiol. 2011;52:1155-8.	Mean displacement map of spine and spinal cord disorders using high b-value q-space imaging-feasibility study.	Hori M	放射線医学講座
654	Fertil Steril. 2011;95:2781-3.	Myomectomy reduces endometrial T2 relaxation times.	Yoshino O	放射線医学講座
655	J Minim Invasive Gyneool. Epub 2011 Nov 9.	Myomectomy Decreases Abnormal Uterine Peristalsis and Increases Pregnancy Rate	Yoshino O	放射線医学講座
656	Histopathology. 2011;58:467-476.	The predominant expression of hepatocyte nuclear factor 4 $\alpha$ (HNF4 $\alpha$ ) in thyroid transcription factor-1 (TTF-1)-negative pulmonary adenocarcinoma.	Kunii R	放射線医学講座
657	J Tokyo Wom Med Univ, 2011;81: 224-252	Pheochromocytoma: Analysis, categorization, and scoring based on dynamic CT features	Vasanthapriya S	放射線医学講座
658	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2011; 64:63-8	Imaging of the superficial inferior epigastric vascular anatomy and preoperative planning for the SIEA flap using MDCTA	Fukaya E	放射線医学講座
659	J Hepatobiliary Pancreat Sci, 2011;18:575-85	A non-smooth tumor margin in the hepatobiliary phase of gadoteric acid disodium (Gd-EOB-DTPA)-enhanced magnetic resonance imaging predicts microscopic portal	Arlizumi S	放射線医学講座
660	Brain Dev. 2011; Jun 24	High-density CT of muscle and liver may allow early diagnosis of childhood-onset Pompe disease	Ishigaki K	放射線医学講座
661	Int J Urol, 2011; 18: 718-22	Decompressive surgery in combination with preoperative transcatheter arterial embolization: Successful improvement of ambulatory function in renal	Suzuki H	放射線医学講座
662	Juntendo Medical J, 2011; 57: 377-386	A Phantom Study Evaluate an Optimum Acquisition Protocol for Coronary CTA in Patients with a Rapid Heart Rate: with Special Reference to Infants	Kogure Y	放射線医学講座
663	Jpn J Radiol, 2011; 29: 744-8	Questionnaires for examinations using iodinated contrast media and their grades of recommendation: Japan Radiological Society/Japanese College of	Hayashi H	放射線医学講座
664	Medicine (Baltimore), 2011; 90: 396-403	Usefulness of systemic computed tomography (CT) scanning in the detection of malignant lymphadenopathy.	Ichikawa K	放射線医学講座
665	J Radiat Res, 2011; 52:502-508	Effect of dose fractionation on pulmonary complications during total body irradiation.	Izawa H	放射線医学講座
666	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry, 2011; 35:1704-8	Improvements in both psychosis and motor signs in Parkinson's disease, and changes in regional cerebral blood flow after electroconvulsive therapy.	Usui G	放射線医学講座
667	Mov Disord. 2011;26:561-3	Visual grasping in frontotemporal dementia and parkinsonism linked to chromosome 17 (microtubule-associated with protein tau): a comparison of N-	Ogaki K	放射線医学講座
668	Jpn J Radiol, 2011 Apr;29(3):222-5. Epub 2011 Apr 26.	Full-dose capecitabine with local radiotherapy: one of the treatment options for inoperable T4 breast cancer.	Hirowatari H	放射線医学講座
669	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2012 Feb 1;82(2):799-802. Epub 2011 Jan 27.	Outcomes of diffusion tensor tractography-integrated stereotactic radiosurgery.	Koga T	放射線医学講座
670	超音波医学、巻:37 号:2 頁:189	Treatment of iatrogenic femoral artery pseudoaneurysms with US-guided low-dose thrombin injection	吉田茉莉子	放射線医学講座
671	平成22年度放射線医学総合研究所 重粒子線がん治療装置等共同利用研究報告書,2011:90-	重粒子線がん治療におけるポリADP-リボシル化関連酵素の役割と阻害剤の効果.	平井崇久	放射線医学講座
672	J Anesth. 2011;25(2):170-7	The effect of one-lung ventilation upon pulmonary inflammatory responses during lung resection	Sugasawa Y	麻酔科学講座

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
673	Anesth Analg. 2011 113(2):398-404	The macrophage-mediated effects of the peroxisome proliferator-activated receptor-gamma agonist rosiglitazone attenuate tactile allodynia in the early	Takahashi Y	麻酔科学講座
674	Int J Mol Med. 2011;28(2):187-92	Effects of sivelestat on bronchial inflammatory responses after esophagectomy.	Yamaguchi K	麻酔科学講座
675	Anesth Analg. 2011;113(4):941-6	Lidocaine attenuates the development of diabetic-induced tactile allodynia by inhibiting microglial activation.	Suzuki N	麻酔科学講座
676	J Pharmacol Exp Ther. 2011;338(2):579-87.	Pentazocine-induced antinociception is mediated mainly by $\mu$ -opioid receptors and compromised by $\kappa$ -opioid receptors in mice.	Shu H	麻酔科学講座
677	J Anesth. 2011;25(5):773-6.	Comparison of postoperative pharyngeal morbidity using the Macintosh laryngoscope or AirWay Scope after mastectomy.	Maruyama K	麻酔科学講座
678	Int J Mol Med. 2011 28:187-92.	Effects of sivelestat on bronchial inflammatory responses after esophagectomy.	Yamaguchi K	麻酔科学講座
679	J Anesth. 2011 25:170-7.	The effect of one-lung ventilation upon pulmonary inflammatory responses during lung resection.	Sugasawa Y	麻酔科学講座
680	Pain Medicine 2011; 12: 1112-1116	Replacement of Gabapentin with Pregabalin in Postherpetic Neuralgia Therapy	Masataka Ifuku	麻酔科学講座
681	日本ペインクリニック学会雑誌 2011;18:9-14	上肢の複合性局所疼痛症候群の治療の満足度.	井福正貴	麻酔科学講座
682	循環制御 2011;32:26-31	食道癌根治術後管理における動脈圧波形解析法の有用性について-1回拍出量変化を中心に-	笠置益弘	麻酔科学講座
683	麻酔 2011;60(1):5-13	“危機的出血への対応ガイドライン”と危機的出血の現状.	紀野修一	麻酔科学講座
684	漢方と診療 2011;2(3):194	帯状疱疹による運動神経麻痺に四逆散合香蘇散が奏功した1例	小松修治	麻酔科学講座
685	麻酔 2011;60:416-424	婦人科開腹手術における硬膜外併用プロポフォール麻酔でのストレスホルモンの比較	川越いづみ	麻酔科学講座
686	痛みと漢方 2011;21:147-149	ペインクリニック外来において心因性疼痛に漢方治療が奏功した2症例.	川越いづみ	麻酔科学講座
687	日本ペインクリニック学会誌 (1340-4903)18巻1号 Page9-14	上肢の複合性局所疼痛症候群の治療の満足度(原著論文)	井福正貴	麻酔科学講座
688	Masui. 2011 Sep;60(9):1086-9.	Anesthetic management of cardiac pheochromocytoma resection and coronary artery bypass grafting under cardiopulmonary bypass	渡邊朝香	麻酔科学講座
689	ペインクリニック学会誌. 18:9-14,2011.	上肢の複合性局所疼痛症候群の治療の満足度.	井福正貴	麻酔科学講座
690	Clin Rheumatol. 2012 Feb;31(2):251-7. Epub 2011 Jul 20	Single-center, retrospective analysis of efficacy and safety of tacrolimus as a second-line DMARD in combination therapy and the risk factors contributing to	Ogasawara M	膠原病内科学講座
691	Ther Apher Dial. 2011 Aug;15(4):355-9.	Effect of various anticoagulant agents on large-volume leukocytapheresis using new CellSORBA CS-180S Filter.	Hohtatsu K	膠原病内科学講座
692	Autoimmunity. 2011 Aug;44(5):357-62. Epub 2011 Feb 15.	Elevated serum level of circulating syndecan-1 (CD138) in active systemic lupus erythematosus.	Minowa K	膠原病内科学講座
693	Mod Rheumatol. 2011 Feb;21(1):43-50. Epub 2010 Sep 28.	Antineutrophil cytoplasmic antibodies against myeloperoxidase, proteinase 3, elastase, cathepsin G and lactoferrin in Japanese patients with rheumatoid	Kida I	膠原病内科学講座
694	Autoimmune Dis. 2011; 2011: 483642. Epub 2011 Jul 11	A case of thrombotic thrombocytopenia purpura associated with systemic lupus erythematosus: diagnostic utility of ADAMTS-13 activity.	Yamada R	膠原病内科学講座
695	J Dermatol. 2011 Mar; 39(3): 286-7	Generalized pustular psoriasis-like eruptions induced after the first use of adalimumab in the treatment of psoriatic arthritis.	Kimura U	膠原病内科学講座
696	Lupus 2011 Oct; 20(12): 1231-9	Possible role of the JAK/STAT pathways in the regulation of T cell interferon related genes in systemic lupus erythematosus.	Kawasaki M	膠原病内科学講座
697	Mod Rheumatol 2011 Apr; 22(2): 228-37	Regenerating gene (REG)1 alpha promotes pannus progression in patients with rheumatoid arthritis.	Fujishiro M	膠原病内科学講座
698	Clin Exp Rheumatol 2012; Jan-Feb 30 (1):145-6.	The detection of plasma levels of connective tissue growth factor in rheumatoid arthritis patients.	Fujishiro M	膠原病内科学講座
699	Immunopharmacol Immunotoxicol 2012 Mar 7 (Epub ahead of print)	Estrogen inhibits apoptosis and promotes CC motif chemokine ligand 13 expression on synovial fibroblasts in rheumatoid arthritis.	Yamaguchi A	膠原病内科学講座
700	SourceJ Hum Genet,2011; 56: 503-507	Cumulative association of eight susceptibility genes with systemic lupus erythematosus in a Japanese female population.	Koga M	膠原病内科学講座
701	Arthritis Res Ther,2011;13: R47	Anti-T cell immunoglobulin and mucin domain-2 monoclonal antibody exacerbates collagen-induced arthritis by stimulating B cells.	Kawamoto T	膠原病内科学講座

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
702	Arthritis Res Ther, 2011; 13: R41	TLR7 single-nucleotide polymorphisms in the 3' untranslated region and intron 2 independently contribute to systemic lupus erythematosus in	Kawasaki A	膠原病内科学講座
703	Arthritis Rheum, 2011; 63: 755-763	Association of a Functional Polymorphism in the 3' - Untranslated Region of SPI1 With Systemic Lupus Erythematosus.	Hikami K	膠原病内科学講座
704	Rheumatol Int, Oct 18,2011. [Epub ahead of print]	Effects of dialysis on the pharmacokinetics of salazosulfapyridine.	Inami Y	膠原病内科学講座
705	J Rheumatol. 38: 1258-1264, 2011.	Incidence and Risk Factors for Serious Infection in Patients with Rheumatoid Arthritis Treated with Tumor Necrosis Factor Inhibitors.	Komano Y	膠原病内科学講座
706	Modern Rheumatol 21:444-448, 2011.	The REAL database reveals no significant risk of serious infection during treatment with a methotrexate dose of more than 8 mg/week in patients with	Sakai R	膠原病内科学講座
707	J Rheumatol. 38: 2346 -54, 2011.	Anti-Ro/SSA antibodies are an independent factor associated with an insufficient response to tumor necrosis factor inhibitors in patients with rheumatoid	Matsudaira R	膠原病内科学講座
708	Mod Rheumatol. 2011 Dec 29 [Epub ahead of print]	A multicenter, open-label, efficacy, pharmacokinetic, and safety study of adalimumab in Japanese patients with ankylosing spondylitis.	Kobayashi S	膠原病内科学講座
709	Adv Otorhinolaryngol. 2011;72:79-82. Epub 2011 Aug 18.	Reactive arthritis induced by tonsillitis: a type of 'focal infection'.	Kobayashi S	膠原病内科学講座
710	Mod Rheumatol 2011 2154-65.	Clinicoepidemiological manifestations of RPGN and ANCA-associated vasculitides: an 11-year retrospective hospital-based study in Japan.	Suzuki Y	膠原病内科学講座
711	Rheumatology 2011 50: 1916-20	Comparison of the epidemiology of anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis between Japan and the U.K	Fujimoto S	膠原病内科学講座
712	Clin Nucl Med 2011;36(2):121-3.	F-18 FDP PET/CT provides the earliest findings of enthesitis in reactivearthritis	Taniguchi Y	膠原病内科学講座
713	医学と薬学(0389-3898)66巻5号 Page823-838	新しいANCA測定試薬ステイシアMEBLuxテストMPO-ANCAおよびPR3-ANCAの基礎性能および臨床的有用性の検討	松下雅和	膠原病内科学講座
714	日本老年医学会雑誌(0300-9173)48巻3号 Page282-288(2011.05)	高齢者肺炎死亡症例の臨床的検討	池田啓浩	膠原病内科学講座
715	日本内科学会雑誌(0021-5384)100巻6号 Page1645-1647(2011.06)	後腹膜病変を呈し、口唇生検が診断に有用であったIgG4関連疾患の1例	土江健太郎	膠原病内科学講座
716	医学と薬学(0389-3898)65巻4号 Page537-545	膠原病患者におけるユニキャップエリアを用いた自己抗体の測定	高崎芳成	膠原病内科学講座
717	日本脊椎関節炎学会誌3巻1号 Page35-41,2011.	強直性脊椎炎における骨リモデリング	田村直人	膠原病内科学講座
718	順天堂医学(0022-6769)57巻5号 Page477-487	Clinical Significance of Anti-U1 RNP Antibodies Recognizing The Conformation Structure on U1 RNA/70-kd Protein Complex in Patients with Mixed	縄田益之	膠原病内科学講座
719	日本内科学会雑誌 100(10):2942-2947,2011	膠原病・リウマチ性疾患の治療の現状と展望. II. 免疫抑制薬・抗リウマチ薬 7. シクロスポリン	山路健	膠原病内科学講座
720	日内会誌, 2011; 100: 736-742	全身性エリテマトーデス—最近の診断と治療の進歩—	高崎芳成	膠原病内科学講座
721	呼吸器内科, 2011; 19: 242-246	メトレキサート関連リンパ増殖性疾患.	高崎芳成	膠原病内科学講座
722	日本アフェシス学会雑誌30(2): 179-180, 2011	膠原病・リウマチ性疾患におけるアフェシスup date	山路健	膠原病内科学講座
723	臨床免疫学会会誌, 2011; 34(1):1-7	Fcγレセプターと全身性自己免疫疾患	天野浩文	膠原病内科学講座
724	日本脊椎関節炎学会誌3巻1号 Page51-56(2011.09)	脊椎関節炎の疾患活動性モニタリングにおけるFDG-PET/CT有用性の検討	有井薫	膠原病内科学講座
725	日本脊椎関節炎学会誌3巻1号 Page43-49(2011.09)	若年発症および高齢発症脊椎関節炎の臨床的特徴の検討	谷口義典	膠原病内科学講座
726	日本脊椎関節炎学会誌3巻1号 Page35-41(2011.09)	強直性脊椎炎における骨リモデリング	田村直人	膠原病内科学講座
727	日本脊椎関節炎学会誌3巻1号 Page17-20(2011.09)	扁桃炎に伴う反応性関節炎と扁桃摘出術の効果	小林茂人	膠原病内科学講座

計 727 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長 高崎 芳成
管理担当者氏名	各部署責任者 (馬場 子孝、堀越 正之、井田 豊太郎、大島 純子)

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院日誌類：管理課 入院診療録：診療録管理室(平成21年5月以降は電子カルテシステム内) 外来診療録、X線写真：医事課、カルテ室	病院日誌については、管理課において年度別に保管 手術記録を含む入院診療録については、患者別に保管(順次マイクロフィルム化) ただし、平成21年5月以降の入院診療録については、診療科別に医事課担当で保管
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事部人事課	主に所属別、診療科別
	高度の医療の提供の実績	事務部管理課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	学術・研究支援課 事務部管理課	
	高度の医療の研修の実績	事務部医事課	
	閲覧実績	事務部管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携室 事務部医事課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	事務部医事課 薬剤部		
第規一則号第一に掲げる十條第一項各号及び第九條の二十三	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室 ・順天堂医院医療安全マニュアル 他	・付則に基づき、年1回以上医療安全管理委員会の議題として取り上げ、改正を検討。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室 ・順天堂医院医療安全マニュアル 他	・毎月第3木曜日にRM全体委員会、第4水曜日に医療安全管理委員会を開催。また、隔月で危機管理・職業倫理委員会を開催。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	・順天堂医院医療安全マニュアル 他	・セーフティーレクチャー(医療安全研修会)で「医療安全」「健康管理」「医療機器安全管理」「医薬品安全管理」について講義。また、e-Learningを使用して基礎講習会を全職員が受講。
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	・順天堂医院医療安全マニュアル 他	・昨年度多く報告されたインシデント事例をRM委員会で検討し対策を立てて実施し、検証している。
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室 ・順天堂医院医療安全マニュアル 他	・重大事例は、医療安全管理委員会にて検討。
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室長 堀 賢、	

第一項		ICP3名、事務員1名	・医療安全管理室に属する管理内容は医療安全管理指針に準拠する。
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室 ・順天堂医院医療安全マニュアル 他	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	サービス課 「患者さんご相談コーナー」	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一條の十一第一項各号及び第九條の二十三第一項第一号に掲げる体制の確	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室 順天堂医院感染対策ガイドラインマニュアル2012、ポケットセーフティマニュアル、学内HP、医療情報端末IE
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室 順天堂規約集 規第平12-6
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室 年次ごとに作成（別紙参照）
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室 感染対策委員会にて報告・検討（日報、週報、月報） MRSA、MDRO、各種届出が必要な感染症、血液培養ラウンド、感染症ポケットマニュアル発行等
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部長 佐瀬 一洋
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部 (医薬品情報室) 年度ごとに開催日、出席者、研究内容を記録し、薬剤部にて今後の計画を含め一元管理
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 (医薬品情報室) 手順書については、薬剤部で作成・改定後、医療安全管理委員会にて承認の後、関連部門に配付 実施状況については各部署で実施後一元管理
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 (医薬品情報室) 学会・企業・行政・患者・院内各部署からの情報を薬剤部(医薬品情報室)において収集・解析・一元管理し、学会・企業・行政・患者・院内各部署へ発信
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学室長 代田 浩之
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室 年度ごとに開催日・機種・出席者・内容を記録・保管	

保 の 状 況	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室	年度ごとに計画し、実施記録を機器ごとに分類・保管
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学室	製造販売業者・厚生労働省・PMDA・JCQHC等からの情報を収集分析し、医療機器安全情報としてレター等で周知

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

平成23年度 院内職員研修会開催状況

	実施日	時間	研修会名	研修項目	開催場所	対象職種	参加人数
1	4月1日	150分	臨床研修医 オリエンテーション	当院における感染対策 手指衛生・PPEの基本動作習得/安全機材使用方法など	生物化学系実習室	臨床研修医	56
2	4月13日	60分	新入職看護師 オリエンテーション	当院の感染制御の考え方	有山記念講堂	新入職看護師	165
3	4月14日 ～15日	120分 ×3	新入職看護師 オリエンテーション	手指衛生・PPEの基本動作取得/鋭利物品の 取り扱い方法など	生物学系実習室	新入職看護師	164
4	4月19日	20分	セーフティレクチャー	順天堂医院の感染対策2011年度版	有山記念講堂	全職員	426
5	4月25日	20分	セーフティレクチャー	順天堂医院の感染対策2011年度版	有山記念講堂	全職員	359
6	5月19・23 日	各10分	新入職看護師 オリエンテーション	針刺し事故を防ぐために	有山記念講堂	新卒看護師	147
7	5月27日	20分	セーフティレクチャー	針刺し・切創・粘膜炎等事故防止について	有山記念講堂	全職員	466
8	6月20日 ～24日	9:00 ～17:00	医療看護学部 感染看護実習	感染症看護専門看護師 感染看護実習	院内	医療看護研究科 大学院生	1
9	6月27日	20分	セーフティレクチャー	針刺し・切創・粘膜炎等事故防止について	有山記念講堂	全職員	413
10	6月28日	25分	針刺し事故・ 粘膜炎等防止キャンペーン	針刺し事故を防ぐために	8号館2階 医学教育研究室	臨床研修医	32
11	6月28日	20分	放射線技師レクチャー	手指衛生について(講義)	1号館地下1階放射線部	放射線技師	15
12	7月7日	15分	放射線技師レクチャー	手指衛生について(演習)	1号館地下1階放射線部	放射線技師	14
13	7月28日	15分	セーフティレクチャー	旅行者感染症について 医師看護師の皆様へe-learning受講に関するお願い	有山記念講堂	全職員	327
14	8月31日	15分	セーフティレクチャー	食中毒について	有山記念講堂	全職員	283
15	9月5日 ～8日	9:00 ～17:00	医療看護学部 看護課題実習	臨床の場における感染予防の試みと看護	院内	医療看護学部 4年生	4
16	9月12日 ～15日	9:00 ～17:00	医療看護学部 看護課題実習	臨床の場における感染予防の試みと看護	院内	医療看護学部 4年生	4
17	9月30日	15分	セーフティレクチャー	手指衛生のタイミングについて	有山記念講堂	全職員	276
18	10月3日	90分	感染症予防実習	手指衛生・PPEの基本動作取得	生物学系実習室	医学部4年生	87
19	10月4日	20分	薬剤師レクチャー	手指衛生の基本	1号館薬剤部	薬剤師	39
19	10月7日	60分	理学療法士レクチャー	手指衛生・PPEの基本動作取得	2号館5・6階 リハビリテーション室	理学療法士	17
20	10月27日	15分	セーフティレクチャー	インフルエンザと針刺し事故について	有山記念講堂	全職員	259
21	11月4日	60分	看護助手 集合研修	手洗い講習・PPE着脱について	6号館2階 第3カンファレンスルーム	看護助手	53
22	11月29日	15分	セーフティレクチャー	インフルエンザと針刺し事故について	有山記念講堂	全職員	332
23	12月21日	15分	セーフティレクチャー	院内結核の予防について	有山記念講堂	全職員	222
24	平成24年 1月31日	15分	セーフティレクチャー	感染性胃腸炎・インフルエンザについて	有山記念講堂	全職員	292
25	2月21日 ～23 日	30分	委託清掃者研修会	個人防護具の脱ぎ方、アルコールゲルによる手洗いの演習	10号館8階 803カンファレンスルーム	委託清掃者	72
26	2月23日	15分	セーフティレクチャー	感染性胃腸炎・インフルエンザについて	有山記念講堂	全職員	145
27	3月21日	15分	セーフティレクチャー	感染性胃腸炎・インフルエンザについて	有山記念講堂	全職員	145



(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	各所属長、院長 高崎 芳成
閲覧担当者氏名	各所属長、堀越 正之(管理課長)、井田 豊太郎(医事課長)、 大島 純子(診療録管理室係長)
閲覧の求めに応じる場所	診療録閲覧室、会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	2件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 1件
	地方公共団体	延 1件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	52.85%	算定期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠	A:紹介患者の数		25,782人
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数		19,688人
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数		5,164人
	D:初診の患者の数		76,116人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 総則 2. 組織体制 3. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 4. 安全管理のための職員研修の実施 5. 医療事故発生時の対応方法 6. 患者相談窓口の設置 7. 安全な医療を提供するための院内規則・手順 8. 医療従事者と患者及びその家族間との情報共有 他	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年24回
・ 活動の主な内容：別紙マニュアル参照 I. 医療安全管理指針 P.1~P.20 II. 医療事故防止体制 P.21 VI. 医療安全に関する報告の流れ P.26	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年18回
・ 研修の主な内容： I. 医療安全管理指針 4. 安全のための職員研修の実施 P.14~P.15	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： I. 医療安全管理指針 3. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 P.10~P.14 II. 医療安全防止体制 P.21 VI. 医療安全に関する報告の流れ P.26	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(2名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(5名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員：専任(2)名 兼任(3)名 ・ 活動の主な内容： I. 医療安全管理指針 2. 組織体制P.2~P.10 2. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 P.10~P.14 4. 安全のための職員研修の実施 P.14~P.15 5. 医療事故発生時の対応方法 P.16~P.19	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

# I 医療安全管理指針

## 1. 総 則

### 1) 安全管理指針の目的

医療は、患者と医療従事者の信頼関係、医療に対する信頼の下で、患者の救命や健康回復を最優先として行われるべきものであり、患者を中心とした安全で質の高い医療を提供しなければならない。この実行のために全ての医療従事者は医療安全に取り組むものとする。このため本指針は、順天堂大学医学部附属順天堂医院における医療安全管理に関する基本方針を定めるとともに、院内の責任体制を明確にし、医療安全管理の具体的な推進方策について定めることを目的とする。

### 2) 医院における医療安全管理の基本方針

安全な医療を提供するためには、医療従事者一人ひとりが患者の安全を守る意識を持つことが不可欠ではあるが、近年の医療の高度化・複雑化等を背景に、医療従事者個人の努力に依存した医療安全管理は困難になってきている。このため、当院においては医療安全管理をシステム化し、院長、医療安全管理を統括する医療安全管理室室長、医療安全管理者、医療安全管理委員会、リスクマネジメント全体委員会を中心として有機的な体制を構築し、総合的管理の一環として組織横断的に取り組む。また、常により質の高い安全な医療提供体制を構築するのみならず、患者・家族に対する接遇に留意し、計画・実施・評価・改善の一連の過程において継続的な見直しを行うことにより、医療現場の状況の変化に適切かつ迅速に対応した医療安全管理を実施する。さらに、医療安全管理に資する情報を職員全体で共有し、組織における安全文化を醸成するため、発生した医療事故、ヒヤリ・ハット事例情報等の分析結果や、医療安全管理委員会等で検討・決定された事故予防対策等を、速やかに職員にフィードバックするとともに、各種の関連する研修会を通じて、医療安全管理に関する職員の教育や啓発に努めるものとする。

### 3) 医療安全管理における医院職員の責務

#### (1) 院長の責務

院長は、医院における最高責任者として、医療安全管理に必要な組織体制を整備し、これを指揮・監督する。具体的には、本指針に基づいて円滑かつ効果的に医療安全管理が遂行できるよう、医療安全管理活動の具体的目標や予算の策定、職員の能力や適性に応じた人事・処遇、職場環境の整備等を行い、医院を一つの組織体として適正に管理する。

#### (2) 個々の職員の責務

全ての職員は、患者の安全を最優先し、安全に医療を提供する責務があることを十分に認識して業務に当たる。このため、職員は医療従事者としての基本的な倫理観や知識・技術の継続的な習得を行い、患者の安全確保に努める。また、職員は、チーム医療の担い手としての役割と責任を果たすために、日ごろから緊密な協力体制を築き、本人の医療安全管理活動へ積極的かつ主体的に参加する。

## 2. 組織体制

医院における医療安全管理ならびに事故発生時の緊急対応について、医院の組織全体が効果的・効率的に機能するように、以下の役職および組織等を設置する。

### 1) 医療安全推進部(2007年4月組織変更)

病院の安全管理の強化のため、平成19年4月医療安全推進部が発足した。医療安全推進部は、医療安全管理室・感染対策室・健康管理室から構成されている。検討案件の性質により3室が適宜連携して組織横断的に問題解決にあたる。

#### (1) 医療安全推進部・各管理室の構成

① 医療安全推進部・各管理室には以下の各号に掲げる者とする。

- i 管理室長
- ii 管理室副室長
- iii 医療安全管理者(医療安全管理室)
- iv 事務職員
- v その他必要な職員

②室長、副室長、医療安全管理者は院長が任命する者をもって充てる。

③医療安全管理室、感染対策室、健康管理室の職員は院長が任命する。

## (2) 医療安全管理室の役割

医療安全管理室は、次に掲げる各号についてその役割を担う(感染対策室、健康管理室の役割の詳細は各室マニュアルに記載)。

①医療の安全を確保するための改善方策に関すること

- 「インシデントレポート」による情報の収集・分析
- 医療事故予防策、再発防止策の立案、実施、評価および見直し
- 安全な医療提供のためのガイドラインやマニュアルの策定に関すること
- 患者からの苦情・要望等の分析および医療安全管理への活用

②医療安全管理のための職員への企画・運営および院内広報等の企画・実施

③医療事故発生時の対応に関すること

- 診療録・看護記録等への記載状況についての確認・指導
- 患者への診療や説明等の対応状況についての確認・指導

④医療安全管理委員会の円滑な運営に関すること

- 医療安全管理委員会に対する議題の提案
- 医療安全管理委員会の資料作成、議事録作成等の庶務

⑤医療安全管理に関する院内の連絡調整

⑥その他医療安全管理に関する業務

## 2) 安全管理者の配置

### (1) 医療安全管理者

(医療安全管理者の役割)

医療安全管理者は、医師、薬剤師または看護師のいずれかの資格を有し、所定の医療安全管理研修を修了したものとす。

医療安全管理者は、医療の質・安全管理委員会の構成員

となり医療の安全管理に関する体制の構築に参画し、医療の質・安全管理室の業務に関する企画立案および評価、委員会等の各種活動の円滑な運営を支援する。また、医療安全に関する職員への教育・研修、情報の収集と分析、対策の立案、事故発生時の対応、再発防止策立案、発生予防および発生した事故の影響拡大の防止等に努める。そして、これらを通し、安全管理体制を組織内に根づかせ機能させることで本院における安全文化の熟成を促進する。

医療安全管理者は、医療安全対策の推進に関する業務を専ら従事し、医療安全部門の各組織ならびに各安全管理者と連携して、以下の業務を行う。

- ①安全管理部門の業務に関する企画立案および評価を行う。
- ②定期的に院内を巡回し各部門における医療安全対策の実施状況を把握・分析し、医療安全確保のために必要な業務改善等の具体的な対策を推進する。
- ③各部門における医療事故防止担当者への支援を行う。
- ④医療安全対策の体制確保のための各部門との調整を行う。
- ⑤医療安全対策に係る体制を確保するための職員研修を企画・実施する。
- ⑥相談窓口等の担当者と密接な連携を図り、医療安全対策に係る患者・家族の相談に適切に応じる体制を支援する。

## (2) 医療機器安全管理責任者(2007年4月、医療法改正により配置)

医療機器安全責任者1名を配置し、放射線担当者1名、医療機器担当者1名、医療材料担当者1名が協力して医療機器の安全使用に関する業務を担う。

### (医療機器安全管理責任者の役割)

医療機器安全管理責任者は、医療機器に関する十分な知識を有する医師、薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士のいずれかの資格を有する者とし、医療機器に関わる安全管理のための体制を確保するため、医療安全管理委員会や各安全管理者と連携し、以下の業務

を行う。

- ①教職員に対し、新しい医療機器を使用する際や安全操作の教育が必要な医療機器に関する研修を定期的実施し記録する。
- ②医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検を適切に実施し記録する。
- ③医療機器の添付文書、取扱説明書等の医療機器の安全使用・保守点検に関する情報整理と管理を行う。
- ④医療機器の不具合情報や安全性情報等を製造販売業者等から一元収集し、得られた情報を医療機器扱者に適切に提供している。
- ⑤管理している医療機器の不具合や健康被害等に関する内外の情報収集を関係法令に留意し、病院長に報告する。

### (3) 医薬品安全管理責任者(2007年4月、医療法改正により配置)

医薬品安全管理責任者1名を配置し、医薬品の安全使用に関わる業務を担う。

#### (医薬品安全管理責任者の役割)

医薬品安全管理責任者は、医薬品に関する十分な知識を有する医師、薬剤師または看護師のうちのいずれかの資格を有する者とし、医薬品に関わる安全管理のための体制を確保するため、医療安全管理委員会や各安全管理者と連携し、以下の業務を行う。

- ①医薬品の安全使用のための業務に関する手順書を作成し、管理する。
- ②教職員に対する医薬品の安全使用のための研修を実施し、記録する。
- ③医薬品の業務手順書に基づく状況を確認し、記録する。
- ④医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集、その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策を実施する。

### 3) 医療安全管理委員会

#### (目的)

医院における医療事故防止の取り組みを効果的に推進

し、医院全体および各部門における医療事故防止体制の整備を図るために必要な事項ならびに院長の諮問事項を審議献策し、医療従事者への周知を図るとともに実施状況を必要に応じて調査、見直しを行う。

(委員会の構成)

- ① 医療安全推進部長
- ② 医療安全管理室長
- ③ 感染対策室長
- ④ 医療安全管理室副室長
- ⑤ 医療安全管理者
- ⑥ 総医局長
- ⑦ RM 全体委員会委員長
- ⑧ 看護部長
- ⑨ 薬剤部長
- ⑩ 事務部長
- ⑪ その他委員会が必要と認めたもの若干名

(委員会の開催)

原則として月 1 回開催する。

(委員会の出席)

委員会へ出席できない場合は必ず代理出席をする。

(情報の取扱い)

- ① 委員は、その職務に関して知り得た情報について、既に公表されているものを除き、院長の許可なく他に漏らしてはならない。
- ② 委員は、患者のプライバシーを特に尊重しなければならない。
- ③ 情報の取扱いは関係する職員すべてに適用されるものとする。

#### 4) リスクマネジメント全体委員会

(目的)

医院全体の安全管理に関する連絡・意見交換を行い、各部門における医療安全活動および問題点の報告等により、適正かつ効率的に事故防止を図る。

(委員会の構成)

委員長：1 名

副委員長：医療安全管理者 他 2 名



RM 委員：医師、薬剤師、看護師、放射線・臨床検査技師、事務職員など、各診療科・部門より若干名とし、部門から選任された職員から責任者を置く。その他委員会が認めたもの若干名

(委員会の開催)

委員会は原則として月 1 回開催する。

(委員会の出席)

委員会へ出席できない場合は必ず代理出席をする。

(小委員会の設置)

委員会は必要に応じて小委員会を設置することができる。小委員会の委員長は委員会の委員長が任命する。

(小委員会の任務)

各診療科・部門から選任された RM 委員は、必ず小委員会に所属し、医療事故の原因、防止方法に関する検討・提言、医療安全管理委員会、委員会活動に対する提案を行う。

(RM 委員の役割と業務)

- ①部門から選任された RM 委員は、部門の管理者を補佐し、医療安全対策を推進する。
- ②部門における「医療安全に関する報告」の提出促進・収集・分析。
- ③部門の事故予防策、再発防止策の検討・推進。
- ④途中就任した医療従事者には、安全指針を周知する。
- ⑤病院全体の医療安全管理に関する事項を当該部門の委員会等に報告し、各医療従事者に周知する。周知状況を医療安全管理室に報告する。

## 5) 医療安全を推進する担当者(リスクマネジャー)

### (1) リスクマネジャーの配置

各部門・部署の管理者を補佐し、医療安全管理活動を推進する者として、各部門、部署にリスクマネジャーを配置する。リスクマネジャーは各部門・部署の責任者が任命する。

### (2) リスクマネジャーの役割

リスクマネジャーは、次に掲げる各号についてその役割を担う。

- ①各部門・部署における「インシデントレポート」の提出の促進・収集・分析。

②各部門・部署における事故予防策、再発防止策の検討・推進。

③医院全体の医療安全管理に関する各部門・部署の意見のとりまとめ、提案。

④各部門・部署の職員等への周知と周知状況の把握。

### (3) リスクマネジャー小委員会

医療安全管理委員会、医療安全管理室と連携して、各部門・部署における安全対策を円滑に進めるための討議を行うことを目的として、リスクマネジメント小委員会および全体委員会を定期的を開催する。

## 6) SE 対策チーム

(チームの構成)

委員長：医療安全推進部長

委員：医療安全管理室長、副室長、医療安全管理者、他1名

医師：内科系、外科系、精神・神経系若干名 その他、チームが必要と認めたもの 若干名

(チームの業務内容)

院長、関連診療科または部門の求めにより、医療事故等の原因究明が適切に実施されるよう早急に調査・分析を行い、患者や家族への診療や説明などの対応状況ならびに診療録や看護記録などへの記載状況について確認・指導する。

## 7) SE 対策委員会

(委員会の構成)

SE 対策チーム、関係診療科医局長、担当医、関係看護師長、看護師、管理課職員、その他随時

(委員会の開催)

重大な問題が生じた場合、または患者や家族からの苦情により、当該診療科・部門のみでは対応が難しい場合に随時開催する。

(委員会の審議)

事故等の原因究明、対応策等を策定し、必要があれば医療安全管理委員会で協議し、事例調査委員会に報告するとともに、医療安全対策への活用を行う。

## 8) 事例調査委員会

(委員会の構成)

委員長：院長

委員：副院長、総医局長、医療安全推進部長、医療安全管理室長、医療安全管理者、感染対策室長、事務部長、顧問弁護士、管理課長、その他随時

担当部署：教授、前任准教授、医局長、担当医、担当師長、その他随時

(委員会の業務内容)

- ①重大事故発生後、関連部署職員が集まり事故の概要、原因について時系列で詳細に分析し、患者・家族への対応、外部機関への対応を早急に検討する。
- ②事故発生の診療科等に医療事故防止の具体的指導を行う。

## 9) 外部調査委員会

(委員会の目的)

医療安全推進部長の進言に基づき、院長の求めにより、重大事故発生後、当院の外部から公正・中立かつ客観的な視座によって医療事故内容の検討と評価を行い、もって当院の医療安全管理体制および医療の質の向上に資することを目的とする。

(委員会の構成)

- ①発生した医療事故の医療行為が分析できる専門医
- ②事例調査委員会の調査手法、論点を客観的に評価できる弁護士・法律家など
- ③科学的に事故原因を究明できる薬剤師・看護師・臨床工学技士・診療放射線技師など
- ④医療事故を多角的方面より分析できるジャーナリストなど
- ⑤その他、病院長が指名した者

(委員会の業務内容)

- ①当該事例に関する情報の収集
- ②当該事例に関する医療内容の検討・評価
- ③当該事例に関する外部評価報告書の作成
- ④医療安全管理体制および医療の質の向上に関する提言

⑤その他、本委員会の目的を達成するために必要なこと

## 10) 危機管理・職業倫理委員会(2009年4月発足)

(委員会の構成)

委員長：病院管理学教授

委員：個人情報管理委員長、接遇マナー・職業倫理委員長、危機管理委員長、薬剤部長、看護部長、事務部長、総医局長、RM全体委員長、臨床研修センター運営委員長、感染対策室長、医事課長、サービス課長、本郷地区情報センター、警備課長、医療安全管理者

危機管理・職業倫理委員会は「個人情報管理委員会」「接遇マナー・職業倫理委員会」「危機管理委員会」の3委員会で構成され、それぞれに委員長と委員を配置する。

(委員会の開催)

「個人情報管理委員会」「接遇マナー・職業倫理委員会」「危機管理委員会」の各委員会は毎月1回、委員会を開催し、リスク情報の収集、病院への影響度の評価、対策等を行い、2ヶ月に1回、3委員会を統合した会議を開催する。

## 3. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策

医療の安全確保を図るためには、各々の業務を医療安全の観点から見直し、その結果に基づいて当院全体で医療安全管理に取り組むべき必要がある。標準化、統一化、規則化の推進、正確で効率的な情報管理を促進するとともに、策定された安全対策を計画・実施・評価という一連の過程から、さらなる改善活動を通じて常に見直していく必要がある。当院における医療事故等の報告体制は、こうした改善活動の一環として重要である。さらに、当院の医療安全管理活動を評価し、改善につなげていくために、内部評価、外部評価を実施する。

### 1) 医療事故等に関する報告制度

#### (1) 報告制度の目的

医院では、医療事故につながる可能性のある問題点を把

握して効果的な安全対策を講じるため、全職員を対象にインシデントレポート事例の報告を制度化し、その収集を促進するとともに、収集した情報を活用して組織全体で継続的な業務改善に取り組む。

## (2) 報告制度の対象とする事例

報告制度で対象とする事例は、以下のとおりとする。

### ① 医療事故(アクシデント)

医療に係わる場所で、医療の全過程において発生するすべての人身事故一切を包含し、医療従事者が被害者である場合や廊下で転倒した場合なども含む。

### ② ヒヤリ・ハット(インシデント)

日常診療の場で、誤った医療行為などが患者に実施される前に発見されたもの、あるいは、誤った医療行為などが実施されたが、結果として患者に影響を及ぼすに至らなかったもの。

## (3) 報告経路と報告方法

① 医療事故ならびにヒヤリ・ハット事例を体験または発見した職員は、その概要をインシデントレポートシステムに入力し、翌日までに上司および当該リスクマネジャーに報告する。

② 当該リスクマネジャーは、提出された報告の内容を確認し、当該部門・部署の管理者に報告する。

③ 部門・部署の管理者は必要に応じ、リスクマネジャーに調査・分析を指示する。

④ リスクマネジャーは、調査・分析の結果を部門・部署の管理者及び医療安全管理室に報告する。報告は 24 時間以内に行う。

⑤ 医療安全管理室は、一定期間内に提出されたインシデントレポートを集計し、所定の期日ごとに医療安全管理委員会およびリスクマネジャー全体委員会で報告する。

## (4) 重大な医療事故の場合の報告

重大な医療事故が発生した場合には、以下に定める手続きに従って報告を行う。

### ① 対象となる医療事故

- i 当該行為によって患者が死亡または死亡に至る可能性がある場合

- ii 当該行為によって患者に重大もしくは不可逆的傷害を与え、または与える可能性がある場合
- iii その患者等から苦情を受けた場合

## ②報告経路と報告方法

- i 重大な医療事故発生時には、直ちに当該リスクマネジャーに報告する。報告を受けたリスクマネジャーは、医療上必要な指示を与え、各部門・部署の責任者を經由して速やかに院長および医療安全管理室長に報告する。また、緊急を要する場合にはひとまず口頭で報告し救命措置の遂行に支障を来たさない範囲で遅滞なくシステムによる報告を行う。
- ii 患者の生死に関わる重大かつ緊急な場合は、上記経路を省略して院長に直接報告することができる。

## (5) インシデントレポートの分析

医療安全管理室は、報告されたインシデントレポートから当該部門・部署担当のリスクマネジャーと連携し、事例の分析・対処にあたる。複数部門・部署間に関連する問題、本院全体の医療の質に関わる問題などは医療安全管理室ならびに医療安全管理者が中心となって事例の分析にあたる。医療安全管理室は事例分析と策定した事故予防策案ならびに再発防止策案を医療安全管理委員会に報告する。

## (6) 事故予防策・再発防止策の検討と決定

医療安全管理委員会は医療安全管理室からの報告に基づいて、分析結果の妥当性、リスクの重大性、リスク予測の可否、システム改善の必要性、事故予防策ならびに再発防止策等について協議する。

## (7) 事故予防策・再発防止策の職員への周知徹底実施

医療安全管理室は、医療事故およびヒヤリ・ハット事例の分析・実施・評価結果や、医療安全管理委員会の協議に基づいて決定された事故予防策・再発防止策について、リスクマネジメント全体委員会で報告した後、各部門・部署の責任者およびリスクマネジャーを通じて全員に周知・徹底する。また、定期的な職員研修の実施、ニュースレター等により、周知徹底を図る。

## (8) 事故予防策、再発防止策の実施状況の調査・評価と継続的な改善活動

医療安全管理室は、事故予防策や再発防止策の実施状況を定期的に調査・評価し、必要に応じた見直しを継続的に行う。

なお、事故予防策や再発防止策の調査・評価結果や見直しに関する、医療安全管理委員会への報告等の手続きについては、「(5)インシデントレポートの分析」、「(6)事故予防策・再発防止策の検討と決定」に準ずる。

## (9) リスクマネジャーとの連携

医療安全管理室は、インシデントレポートの分析・評価、事故予防策・再発防止策の検討およびその実施状況の調査等にあたっては各部門・部署のリスクマネジャーと連携してこれを行う。

## (10) 診療録への記載

医療事故が発生した場合には、その内容と、患者や家族への説明など事故発生時の対応状況を診療録、看護記録等に正確に記載する。

## (11) 報告者の保護

インシデントレポート報告者に対し、報告があった事実のみで、正当な事由なく不利益な処分を行わない。

## (12) 守秘義務

医療事故やヒヤリ・ハット事例について本報告制度によって職務上知りえたものは、その内容を正当な事由なく他の第三者に告げてはならない。

## 2) 医療の安全確保を図るためのその他の方策

### (1) 標準化・規則化等の推進

医療の質の向上と安全性を高めるためには、医療行為等の作業手順の統一化、入院時診療計画(クリニカルパス)の活用、物品の保管や配置等の統一化等によって標準化を図るとともに、院内における業務活動については可能な限り規則化し、その遵守を徹底することが重要である。また、高度化・複雑化する医療において、適切な診療情報管理、情報伝達を行うため、情報管理手法の統一化や、情報システムの導入・活用を推進する。

医院では、業務活動の標準化、規則化等を推進するため、

各部門・部署における業務マニュアルを整備するとともに、医療安全管理にとって重要な規則や手順等は院内規則・手順として明記し、その内容の周知徹底を図る。また各業務マニュアルおよび院内規則・手順は、適宜評価・見直しを行い、現場の安全と医療の質をより向上させるものとしなければならない。

## (2) 医療安全管理活動の評価

### ① 内部評価活動

医療安全管理室は、医院における医療安全管理活動の成果を評価し、一層の改善を行うため、日常的な院内の巡回等を活用して、以下の事項について内部評価活動を行う。

- i 診療録や看護記録等の記載状況
- ii 業務マニュアル等の整備、見直し状況
- iii 本指針および各種マニュアルの遵守状況
- iv ヒヤリ・ハット、医療事故報告の活用状況

### ② 外部評価の活用

当院の安全管理上の問題点について、外部からの評価によって明らかにすることを目的として、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価、他の医療機関との相互評価など、第三者による評価を積極的に活用する。

## 4. 安全管理のための職員研修の実施

医療安全管理に関する基本的な考え方や、医療事故予防・再発防止の具体的な方策を職員に周知徹底することにより、個々の教職員の安全に対する意識を高め倫理意識や安全文化を醸成し、安全に業務を遂行するための能力の向上を図ることを目的として職員研修を実施する。

### 1) 医療安全管理室の役割

#### (1) 研修の実施

医療安全管理室は、医療安全管理に関する以下の研修を計画し、実施する。

##### ① 医療機関全体に共通する医療安全管理に関する研修

目的：医療安全管理に関する基本的な考え方を理解するとともに、リスク感性および医療安



全に関する個々の責務に関する啓発を図る。

受講対象：全職員

開催回数：年 11 回程度

### ②新規採用者に対する医療安全管理に関する研修

目的：病院の理念と医療安全管理に対する基本的な考え方を理解するとともに、医療安全を確保するために遵守しなければならない事項に関する知識を修得する。

受講対象：新規採用者

開催回数：年 3 回程度(新規採用者研修の全体研修の一部として実施)

### ③指導者の研修

目的：指導者の役割を理解し、具体的な活動を行う上での医療安全の知識、技能を修得する。

受講対象：指導者

開催回数：年 2 回程度

### ④臨床研修医の研修

目的：医師の業務を理解し、具体的な業務を行う上でのモラル、知識、技能を修得する。

受講対象：臨床研修医、医師

開催回数：年 3～4 回程度(全該当者が受講できるように調整)

## (2)各部門・部署への支援

医療安全管理室は、各部門・部署が医療安全管理に関する研修を実施する際には、必要に応じて研修計画への参加や講師派遣などの協力を行うとともに、各部門・部署における研修の実施状況を把握し、積極的な研修実施を促す。

### (3)研修参加の促進

医療安全管理室は、リスクマネージャーと連携し、研修への職員の積極的な参加を促す。

## 2)各部門・部署のリスクマネージャーの役割

### (1)研修の実施

各部門・部署は、その管理責任において、職員の職種、部門・部署、職位にふさわしい安全管理能力を得られるよう、以下のような研修を計画し、実施する。

### ①新人研修

新規採用者に対する研修に加え、新人に対しては、各部門・部署ごとに、医師、看護師などが専門業務を行う上で必要とされる基本的な知識・技術の実践を含めた研修を行う。

### ②各部門・部署単位での医療安全管理に関する研修

各部門・部署は、専門業務の理解、安全管理の徹底、業務改善への意識付けを行うための研修を実施する。配置転換に伴う転入者に対する研修を各部門・部署単位で必要に応じて実施する。

### (2) 外部研修への派遣

各部門・部署は、職員の職種、部門・部署、職位にふさわしい安全管理能力を得られるよう、必要に応じて外部研修の活用を行う。

## 3) 医療安全管理者、医療安全管理室職員の研修

院長は医療安全管理者、医療安全管理室職員が医療安全管理に必要な能力確保を図るために、外部研修の派遣など必要に応じて学習の機会を提供する。また医療安全管理者、医療安全管理室職員は、自ら医療安全管理に関する情報を幅広く収集し、院外での研修会等に積極的に参加することにより、知識・技能の向上に努める。医療安全管理者は、院内・外の研修や情報収集等により、医療事故やヒューマンエラーに対する正しい知識を持ち、安全管理に関わる病院の管理を適正に行うよう努める。

## 4) 研修の実施記録

医療安全管理室および研修を実施した部門・部署は、医療安全管理に係わる職員研修の実施内容を所定の方法で記録する。その記録は医療安全管理室で保管する。

## 5. 医療事故発生時の対応方法

医療事故発生時には、患者の救命を最優先して、誠心誠意治療に専念するとともに、事故の内容を明らかにし、医療従事者としての説明責任を適切に果たすために、患者・家族等に誠実に説明する。また、事故の再発防止策を早期に検討し職員に周知徹底する。

## 1) 初動対応

### (1) 患者の安全確保

医療事故が発生した場合は、患者の安全確保を最優先課題とし、医師、看護師等の連携の下、迅速な救命救急処置を行う。事故発生部署の職員だけでは十分に対応できない場合は早急に他の診療科や専門医の応援を求め、病院の総力をあげて対応する。他院への転送が必要な場合は、患者・家族に承認を得た上で速やかに転送する。

### (2) 患者に使用した薬剤・器具等の保管

事故発生前後に当該患者に使用した薬剤、注射器等は、事実確認および事故発生要因の検討に活用するために現状を保存しておく必要があるため、廃棄せず、保管する。また、使用した医療機器等の設定値についても、同様の理由により現状を保存する。現状保存の期間、方法については院長が医療安全管理者および事故発生部門・部署の責任者と相談し、決定する。

### (3) 事実経過の正確な記録

医療事故発生前後における事実経過については、事実確認および事故発生要因の検討に活用するため、診療録、看護記録等に正確に記録する。

## 2) 医療事故の報告

医療事故発生時の報告については、「3. 1) 医療事故等に関する報告制度」に定める手続きによる。

## 3) 患者・家族等への説明

### (1) 患者・家族等への説明

事故発生後、救命措置の遂行に支障を来さない限り可及的速やかに、患者本人・家族等への説明を担当する職員を決定し、事故の状況、現在実施している回復措置、その見通し等について、誠意を持って説明する。患者・家族等の要望および患者の状態の変化等に応じて、その時々状況が理解できるように追加説明を行う。尚、説明時は担当職員と記録者の2名以上で対応する。

### (2) 説明内容の記録

説明を行った事実および説明の内容については、説明を

行った者が診療録等に明記しておく。また、同席者が記録した「病状治療方針説明記録」は診療録に綴じる。

#### 4) 警察への届出

医療過誤により死亡または傷害が発生した場合、またはその疑いがある場合は、院長が所轄警察署(本富士警察署)に届出を行うことがある。

#### 5) 事故の再発防止

医療事故発生後、医療安全管理室、医療安全管理委員会等において、事故の再発防止について検討し、再発防止策を策定し、職員全員に徹底する。

#### 6) 事例調査委員会の設置・招集

院長は、自らまたは医療安全管理委員会の審議に基づき医療事故の事実調査、患者・家族等への対応、外部関係機関への対応、医事紛争への対応、再発防止策の検討等を目的として、必要に応じて事例調査委員会を設置・招集することができる。

#### 7) 重大事故発生時の施設内職員および他の患者への対応

重大事故発生後、速やかに組織としての方針を決定し、全職員に事故発生の実態と経過を説明することを基本とする。説明はあらかじめ準備した資料に基づいて行う。その際、部署・患者・事故当事者等が特定されないように十分留意する。

他の患者への対応は、説明する範囲(病室、当該部署、施設全体)と内容を組織の対応方針に基づき決定する。

#### 8) 重大な事故に関わった職員への対応

事故により重大な結果を招いた場合、当事者となった職員へは適切な配慮や長期的な支援が必要である。医療のプロセス・システムには、誰もが事故当事者となりうる危険性が潜んでいる。個人を責めるのではなく、医療のプロセス・システム全体に策を講ずることで再発防止を図る、という考え方を基本とする。重大事故に関わった職員は、院

長および所属長が必要と判断した場合にメンタルクリニックを受診ことができる。その後のサポートは人・組織・機能を活かした支援体制を整え、当事者の状況に応じた支援内容を検討し、実施する。

## **6. 患者相談窓口の設置**

患者から寄せられる苦情等について迅速に対応するとともに、患者の意見や要望を聞き、医院の医療安全管理に積極的に活用し、病院運営全般に反映させるため、医院の情報公開に資するため、相談窓口を設置し対応する。

### **1) 患者相談窓口の体制**

患者相談窓口を設置し、患者・家族等からの相談に対応する担当者を配置する。

### **2) 患者相談窓口の業務**

患者相談窓口の存在を患者・家族に徹底するとともに、相談を行ったことにより患者や家族などが不利益を受けないよう配慮しなければならない。

### **3) 患者相談窓口に関する院内掲示**

患者相談窓口担当者は、患者相談窓口の活動の趣旨、設置場所、対応時間等について、病院受付、待合室、病室等における掲示や、入院時の案内等を通じて、患者・家族等に幅広く案内するよう努める。

## **7. 安全な医療を提供するための院内規則・手順**

医院では安全管理のための重要な規則や手順を以下のように決定し周知している。チーム医療の中で、これらの規則・手順が尊重され守られ、また評価されることは、患者安全を確保する上で極めて重要である。

- 患者確認のルール
- 誤薬防止のための基本ルール
- 輸血に関する事故予防マニュアル
- 化学療法実施マニュアル
- インスリン指示の標準

- 転倒・転落事故予防マニュアル
- 静脈血栓塞栓症予防マニュアル

## 8. 医療従事者と患者およびその患者間との情報の共有

患者の病状、治療方針、リスクおよび合併症等を患者およびその家族等に必要かつ十分に説明をして同意を得ること。さらに説明を受けることを希望する患者および家族等に対しては、積極的に情報共有を行い、医療従事者と患者およびその家族等との情報共有を図ることに努める。

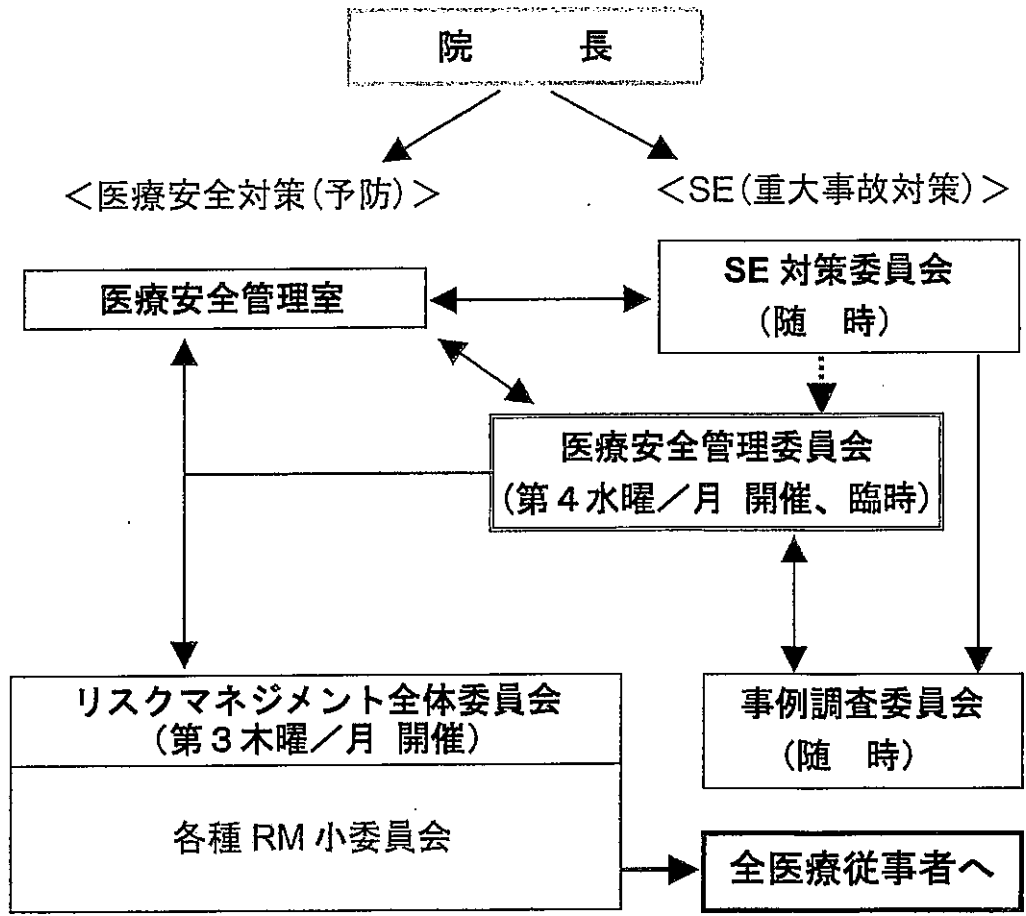
本指針は、患者および家族等から閲覧の求めがあった場合には、これに応じる。また、本指針についての照会には、医療安全管理室が対応する。

## 9. 付 則

医療安全管理委員会は、少なくとも毎年1回以上、本指針の見直しを議事として取り上げ、改正を検討する。

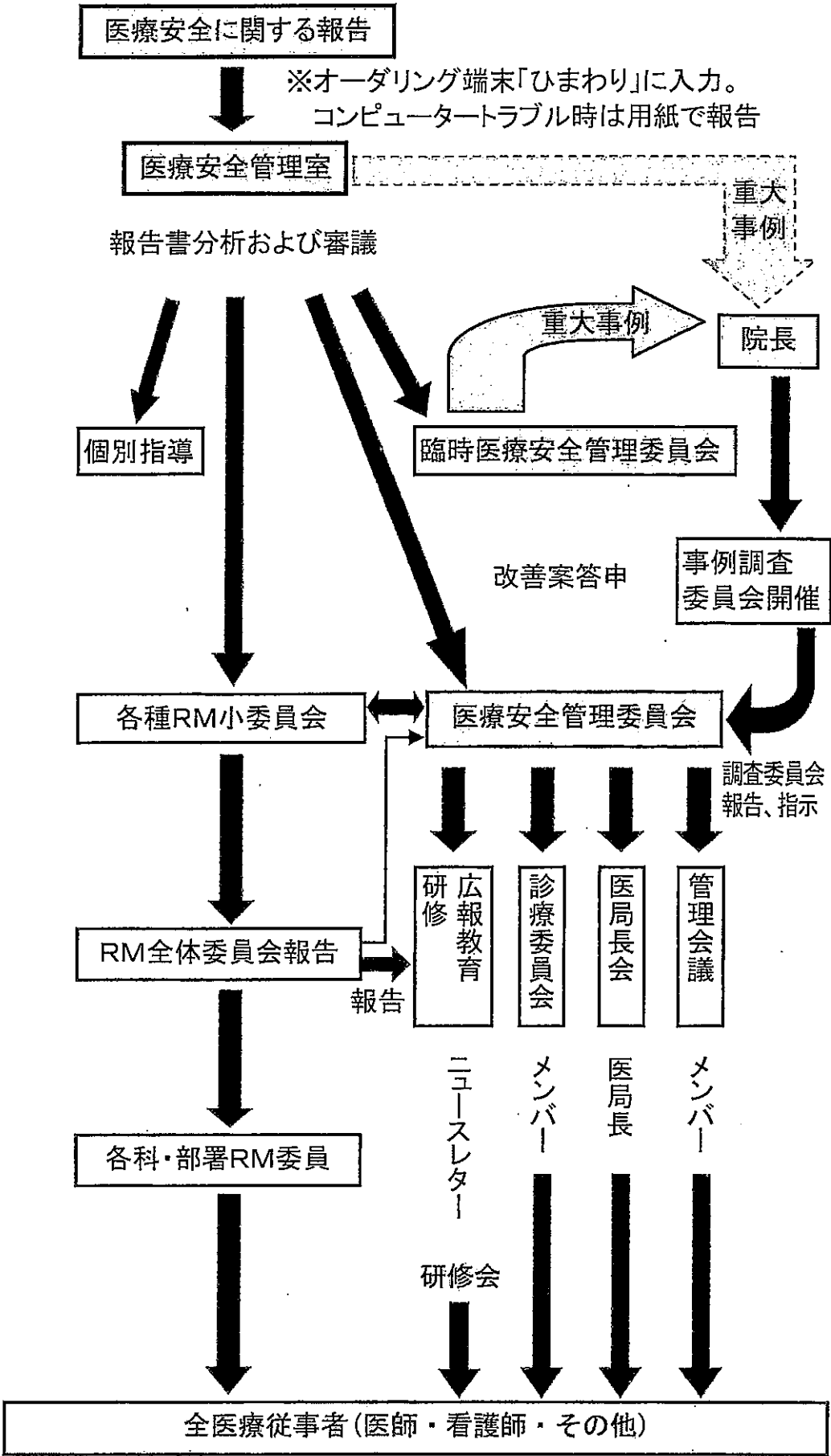
(2007.7.25) (2008.8.27) (2009.2.25) (2009.4.22)  
(2009.8.25) (2010.1.27) (2011.1.24) (2012.2.22)

## Ⅱ 医療事故防止体制



注)  
RM : Risk Manager or Risk Management  
SE : Sentinel Events

# VI 医療安全に関する報告の流れ





## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>2) 感染対策委員会の組織に関する基本的事項</li> <li>3) 「専任の院内感染対策を行うもの」(あるいは院内感染管理者)の配置</li> <li>4) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針</li> <li>5) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>6) 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>7) 患者等に対する当院の院内感染対策指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>8) その他の院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li> </ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病院内で発生した感染症の分布とその対応について、院内ガイドライン・マニュアルに従い、感染対策室からの現場指導を受けながら、有効性の確認や検証を実施</li> <li>2) 針刺し切創について、院内の届出書の集計結果を基に改善策を検討</li> <li>3) MRSA院内伝播数に応じて感染対策の実施と徹底を主体的に促すシステムを運営(レベルゼロシステム)、MRSAアウトブレイク発生対応</li> <li>4) 滅菌室から滅菌機の稼働状況やトラブルの原因・理由の報告を受け、改善策を検討</li> </ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年27回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>「手指衛生・個人防護具の基本動作」「当院の感染制御の考え方」「針刺し切創・粘膜曝露事故防止について」「インフルエンザ感染防止」「結核感染防止」など、感染対策の基本動作を中心に、患者-職員間での伝播のリスクが高いものに焦点を当てた内容にしている。また、旅行者感染症、インフルエンザや感染性胃腸炎など、季節性や時事の話題性のある疾患について適宜取り上げて注意を促している。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) 無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 選択的MRSA保菌者のスクリーニング検査</li> <li>2) 現場主導型のMRSA感染対策活動(レベルゼロシステム)と擦式手指消毒剤使用推進活動</li> <li>3) MDROサーベイランスとアウトブレイク対応</li> <li>4) BSIサーベイランスと改善の取り組み</li> <li>5) 抗菌薬委員会と連携した抗菌薬処方適正化活動</li> <li>6) 週1回のICTラウンドの実施</li> </ol>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 10回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新調剤システム説明会</li><li>・ 箱充填トライアル55品目の運用について</li><li>・ 調剤過誤の防止について</li><li>・ 医療法の遵守について</li><li>・ 緊急性のある浮腫(遺伝性神経血管浮腫)</li><li>・ 患者中心の薬剤師配置について</li></ul></li><li>・ 手洗い講習</li><li>・ 災害時に薬剤師ができること</li><li>・ 調剤室におけるSPD業務委託について</li><li>・ 抗がん剤調製の手技について</li><li>・ 第21回日本医療薬学会報告</li><li>・ 「平成23年度国公立大学病院医療技術関係職員研修」報告</li><li>・ 「平成23年度私立医科大学薬剤師実務者研修会」報告</li></ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 手順書の作成 (有・無)</li><li>・ 業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医薬品の採用・購入・管理業務</li><li>・ 医薬品情報業務</li><li>・ 教育業務</li><li>・ 調剤業務</li><li>・ 医療安全管理業務</li><li>・ 研修業務</li><li>・ 製剤業務(無菌・一般)</li></ul></li></ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医薬品情報の院内通知</li><li>・ 医薬品の副作用情報の収集</li><li>・ 診療科との情報共有</li></ul></li></ul>	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 53回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 人工心肺・補助循環装置</li><li>・ 人工呼吸器</li><li>・ 血液浄化装置</li><li>・ 除細動器</li><li>・ 閉鎖式保育器</li><li>・ 高エネルギー放射線装置</li><li>・ 輸液ポンプ・シリンジポンプ</li><li>・ 超音波ネブライザー</li></ul></li></ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 計画の策定 (有 無)</li><li>・ 保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 人工心肺・補助循環装置</li><li>・ 血液浄化装置</li><li>・ 人工呼吸器</li><li>・ 除細動器</li><li>・ 閉鎖式保育器</li><li>・ 高エネルギー放射線装置</li><li>・ 全身麻酔器</li><li>・ 輸液ポンプ・シリンジポンプ</li></ul></li></ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 無)</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 製造販売業者、厚生労働省、PMDA、JCQHC等からの情報をリスクマネジメントニュースレターで院内各部署に発信</li><li>・ 医療機器の安全使用について、セーフティレクチャーにて年3回研修会を開催</li></ul></li></ul>	